

【研究題名】セマンティック・タイポロジーによる
言語の等価変換と生成技術

【研究期間】平成13年12月～平成19年3月

意味類型パターン辞書ファイル
および
パターン検索プログラムファイル
説明書

【事業主体】独立行政法人科学技術振興機構（JST）

【事業名】戦略的基礎研究推進事業（CREST）

【研究領域】高度メディア社会の生活情報技術

平成19年3月31日

研究代表者：池原 悟（鳥取大学）

目 次

< 第 1 部 >

意味類型パターン辞書ファイル説明書

第 1 章 辞書ファイル形式と収録パターン数

- (1) 辞書ファイル形式
- (2) 収録パターン数

第 2 章 データ記述形式

第 3 章 インストールの方法

第 4 章 緒元

- 4 . 1 文種別毎のパターン数
- 4 . 2 標本文への適合性から見たパターンの分類
- 4 . 3 変数記号の使用頻度
 - (1) 単語レベル文型パターン
 - (2) 句レベル文型パターン
 - (3) 節レベル文型パターン

< 付属資料 1 > グループラベル一覧 (文種別 1)

< 付属資料 2 > グループラベル一覧 (文種別 3)

< 第 2 部 >

パターンパーサープログラムファイル説明書

<注意>本プログラムは、形態素解析プログラム ALTJAWS と連動する元のプログラムから、「茶釜」と連動するよう、品詞体系の違いなどを考慮してインターフェースを書き換えたものです。各説明書も大半がそれに沿って書き換えてありますが、まだ、正確でない点もありますので、ご利用の際は、ご承知おき下さい。

第 1 章 アルゴリズム説明書

1. はじめに
2. 処理フロー
3. アルゴリズム説明

第 2 章 機能仕様書

1. はじめに
2. 文型マップファイル
3. 関数マップファイル
4. 形態素ファイル
5. ALT-JAWS を使った携帯解析処理
6. 照合処理

第 3 章 インストールマニュアル

1. はじめに
2. メディア
3. インストール手順
4. ファイルの解凍
5. 実行プログラムの作成

第 4 章 操作マニュアル

1. はじめに
2. 処理の種類

- 3 . 処理とファイルの関係
- 4 . 形態素解析
- 5 . S 型マップの作成
- 6 . A 型マップの作成
- 7 . 文型マップの作成
- 8 . 照合処理

第 5 章 「簡易構造検索プログラム」利用説明

<注意> このプログラムでは、コマンド名の一部と別紙 1 , 別紙 2 のコード表に問題があり、今後改良される見込みです。

- 1 . はじめに
- 2 . 簡易構造検索プログラムインストール方法
- 3 . 茶釜形態素解析結果変換プログラムの設定ファイル、品詞対応表、意味辞書
- 4 . 茶釜形態素解析結果変換プログラムの入力と出力
- 5 . 茶釜形態素解析結果変換プログラム操作方法
- 6 . 簡易構造検索プログラムを使用した試験方法

参考資料: 品詞と活用のコード

< 第 3 部 >

パターン意味検索プログラムファイル説明書

<注意>本プログラムも、形態素解析プログラム ALTJAWS と連動する元のプログラムから、「茶釜」と連動するよう、品詞体系の違いなどを考慮してインターフェースを書き換えたものです。但し、品詞体系の違いから新たに作成しなければ動作しない機能などについては、作成されておりません。この説明書をご参考に、使用される形態素解析プログラムの仕様に合わせてプログラムを改造されることをお勧めします。

第 1 章 アルゴリズム説明書

- 1 . はじめに
- 2 . 意味検索プログラムの処理フロー
- 3 . モジュール毎のアルゴリズム概要
- 4 . 文章意味分類コード付与におけるアルゴリズムの詳細

第 2 章 機能仕様書

- 1 . はじめに
- 2 . 文型パターン意味検索プログラム構成
- 3 . 設定ファウル
- 4 . 機能仕様

第 3 章 インストールマニュアル

- 1 . はじめに
- 2 . メディア
- 3 . 収録ファイル
- 4 . インストール手順
- 5 . Mysql14.0 のインストール
- 6 . Perl5.8 のインストール
- 7 . ファイルの解凍
- 8 . 意味解析 PG 用 Perl ライブラリのコピー
- 9 . 実行プログラムの作成
- 10 . DB 構築

第4章 操作マニュアル

- 0 . はじめに
- 1 . 設定ファイル
- 2 . 意味検索プログラムによる検索 (imisearch)
- 3 . DB へのデータ登録
- 4 . 節間意味分類付与規則の変更

第5章 文法意味分類付与プログラム説明書

- 1 . はじめに
- 2 . ファイル構成
- 3 . 関数一覧
- 4 . 関数説明
- 5 . データファイル一覧
- 6 . データファイル記述形式

< 付属資料 1 > 設定及び検索条件等について

< 付属資料 2 > DB テーブル定義

第6章 DB 及び意味分類付与ルールの更新方法

- 1 . はじめに
- 2 . DB 更新方法
- 3 . 意味分類付与のチューニングについて

< 参考資料 3 > 意味類型パターンとDBの項目対応と登録方法

< 参考資料 4 > 意味分類付与におけるソース名と関数一覧

< 第 1 部 >

意味類型パターン辞書ファイル説明書

第 1 章 ファイル形式と収録パターン数

(1) 辞書ファイル形式

意味類型パターン辞書システム（提供版）ファイル形式は以下の通り。

《ファイル形式》

文 ID ^(*1) <tab>文種 ^(*2) <tab>パタン化フラグ ^(*3) 単語レベル日本語パターン ID ^(*4) :単語レベル日本語パターン<tab>単語レベル英語パ ターン ID ^(*4) :単語レベル英語パターン 句レベル日本語パターン ID ^(*4) :句レベル日本語パターン<tab>句レベル英語パターン ID ^(*4) :句レベル英語パターン 節レベル日本語パターン ID ^(*4) :節レベル日本語パターン<tab>節レベル英語パターン ID ^(*4) :節レベル英語パターン 文法的・意味的分類コード ^(*5) 英語構文タイプ ^(*6) <tab>英語構文キーワード ^(*6)
--

（注意 1）各レベルのパターンが存在しない場合は改行を挿入し、1 レコード 8 行の固定となっている。

(*1) 文 ID : 「ヘッダー（半角英字 2 桁）」 + 「ヘッダー内ユニーク番号（半角数字 6 桁）」 + 「半角ハイフン」 + 「枝番（半角数字 2 桁）」

（ ）日英原文がともに同一の文 ID は半角コロンの連結して記載

(ex.) AC000018-00、AD001204-00:AE000002-01

(*2) 文種：半角数字「1」～「5」

（ ）文種別コードについては「節間意味分類体系」参照

(*3) パターン化フラグ：単語レベル変数化フラグ（1 桁）+ 句レベル変数化フラグ（1 桁）+ 節レベル変数化フラグ（1 桁）の 3 桁フラグ

- ・ それぞれのレベルの変数化を行なった場合 = 「1」 行なっていない場合 = 「0」
 (例) 単語レベル、句レベルの変数化は行なったが、節レベルは行なっていない場合
 変数化フラグ = 「110」

(*4) パターン ID : 汎化レベル識別+言語識別+各レベル、言語パターン内での通し番号(6桁固定長)+ 「-00」

() 同一パターンには同一パターン ID が付与される。

- ・ 汎化レベル識別
 単語レベル : 「W」, 句レベル : 「P」, 節レベル : 「C」
- ・ 言語識別 = 日本語 : 「J」, 英語 : 「E」

(例) 単語レベル日本語パターンで、通し番号 = 1
 パターン ID = WJ000001-01

- ・ 言語パターン内での通し番号、「1」オリジンで付与される。

(*5) 文法的・意味的分類コード

【フォーマット】

文種別<tab>統語構造第1分類<tab>統語構造第2分類<tab>第1従属節の意味<tab>
 第2従属節の意味<tab>主節の意味<tab>第1節間の意味<tab>第2節間の意味<tab>
 第1節間 KW<tab>第2節間 KW

() 上記各コードについては「節間意味分類体系」を参照

(*6) 英語構文タイプ、及び英語構文キーワード

英語構文タイプ、英語構文キーワードについては「日本語重文複文に対応する英語構文体系」を参照

(*7) 日本語、英語グループラベル

日本語、英語パターンに対し構文体系的にグルーピングしたラベル。

付与したグループ一覧は下記の付属資料を参照

- < 付属資料 1 > グループラベル一覧[文種別 1]
- < 付属資料 2 > グループラベル一覧[文種別 3]

(2)収録パターン数

意味類型パターン辞書システム（提供版）ファイル収録したパターン数は下記の通り。

全標本文数：121,913 日英文対

パターン数（異なり）

パターン種別	日本語パターン数	英語パターン数
単語レベル	121,193	120,995
句レベル	79,100	78,945
節レベル	25,274	25,160
合計	225,567	255,100

日英パターン対数（異なり）

パターン種別	パターン数
単語レベル	121,904
句レベル	79,438
節レベル	25,475
合計	226,817

辞書ファイルは「Pat15.a.1-Imi6.1.0_LIMIT」で CD-R に収録。

第2章 データ記述形式

意味類型パターン辞書「提供版」ファイルはの文字コード、形式は次の通り。

【文字コード】EUC-JP

【ファイル形式】テキストファイル

意味類型パターン辞書ファイルで収録している項目及びデータ形式は以下の表の通り。

番号		項目名	データ形式	データ長
1	パターン情報部 (1行目～4行目)	文 ID	半角英数字記号	可変長
2		文種別	半角数字	1byte
3		パターン ID	半角英数字記号	11byte
6		日本語パターン	半角英数字記号及び全角 2バイト文字	可変長
7		英語パターン	半角英数字記号	可変長
8	文法意味分類情報部 (7行目)	種別	半角数字	1byte
9		統語構造第1分類	半角記号、数字1バイト または全角2バイト文字 1文字	可変長
10		統語構造第2分類	半角記号、全角2バイト 文字	可変長
11		第1従属節の意味	半角英数字記号	可変長
12		第2従属節の意味	半角英数字記号	可変長
13		主節の意味	半角英数字記号	可変長
14		第1節間意味	半角英数字記号	可変長
15		第2節間意味	半角英数字記号	可変長
16		第1節間KW	半角記号、全角2バイト 文字	可変長
17	第2節間KW	半角記号、全角2バイト 文字	可変長	
18	英語構文情報部 (8行目)	英語構文タイプ	半角英数字記号、全角2 バイト文字	半角英数字記号、全 角2バイト文字
19		英語構文KW	半角英数字記号、全角2 バイト文字	可変長
20	グループ情報部 (9行目)	パターングループ ラベル	半角英数字記号、全角2 バイト文字	可変長

第3章 インストールの方法

意味類型パターン辞書ファイルのインストール方法について説明する。
また、本書では辞書ファイルを LinuxOS へインストールする場合について説明する。

インストールは、辞書ファイルが圧縮されている場合と圧縮されていない場合の2通りあり、それぞれ以下の通り。

(1) 圧縮されている場合

圧縮されている場合、拡張子は「.tgz」としてCDに収録されている。

【インストール方法】

CDをマシンにセットし、任意のディレクトリにコピーする。

(例)CD=/mnt/cdrom 辞書ファイル名=XXX.tgz インストール先=/home/test
> cp /mnt/cdrom/XXX.tgz /home/test

tar コマンドにより、解凍を実行する。

> gtar xvozf XXX.tgz

(2) 圧縮されていない場合

圧縮されていない場合、拡張子は「.tgz」以外でCDに収録されている。

【インストール方法】

CDをマシンにセットし、任意のディレクトリにコピーする。

(例)CD=/mnt/cdrom 辞書ファイル名=XXX.dic インストール先=/home/test
> cp /mnt/cdrom/XXX.dic /home/test

第4章 緒元

4.1 文種別毎のパターン数

意味類型パターン辞書に収録されているパターンの種類とパターン数の関係は下表の通りである。

文種別	単語レベル	句レベル	節レベル	合計	
重文	文種別1	55,508	36,002	17,859	109,369
	文種別2	5,663	3,241	314	9,218
	小計	61,171	39,243	18,173	118,587
複文	文種別3	42,485	28,040	4,998	75,523
	文種別4	5,638	4,009	780	10,427
	小計	48,123	32,049	5,778	85,950
複重文	文種別5	12,610	8,146	1,524	22,280
合計		121,904	79,438	25,475	226,817

4.2 標本文への適合性から見たパターンの分類

すべてのパターンは、日英対訳文を汎化することによって作成されている。従って、いずれのパターンもその元となった例文には適合するはずであるが、パターンパーサの能力やパターン自身の汎化不要などによって適合しない場合も存在する。パターン辞書の被覆率は、パターンはその元となった例文以外の例文にどれだけ適合するがによって知ることができる。

そこで、パターン辞書がどのようなパターンによって構成されているかを示すため、以下にクロス照合実験の結果を示す。クロス照合実験とは、パターン作成の元となった標本文12万件を入力文として、パターン辞書との照合を行うもので、照合には、パターンパーサーを用い、変数の意味的制約条件を無視して適合するパターンを求めている。

以下では下記の用語を使用する。

自己パターン： 例文から見て、当該例文から作成されたパターンのことを言う。

他己パターン： 例文から見て、当該例文以外の例文から作成されたパターンを言う。

自己例文： パターンから見て、当該パターンの作成元となった例文を言う。

他己例文： パターンから見て、当該パターンの作成元でない例文を言う。

クロス照合実験と結果に基づき、パターンを以下の4種類に分類する。

【分類グループ】

分類	例文	文型パターン
第1グループ	適合パターンあり(A)	適合例文あり(X)
第2グループ	適合パターンあり(A)	適合例文なし(X)
第3グループ	適合パターンなし(B)	適合例文あり(Y)
第4グループ	適合パターンなし(B)	適合例文なし(Y)

(A)「適合パターンあり」とは、他己パターン、すなわち、当該例文そのものから作成されたパターン以外のパターンに適合する例文を意味する。

(B)「適合パターンなし」とは、他己パターンに適合しない例文を意味する。

(X)「適合例文あり」とは、他己例文(当該パターンの作成元となった例文以外の例文)に、適合するパターンを示す。

(Y)「適合例文なし」とは、自己例文以外の例文に適合しないパターンをいう。

上記のグループでは、パターンは以下の品質であると推定される。

パターングループ	パターンの品質
第1グループ	他己例文に適合するパターンを持つグループで、例文は、標準的であり、パターンも適切な汎化が行われている
第2グループ	他己例文に適合する例文であるので、入力文は、比較的標準的だと推定されるが、他己例文が適合しないので、うまく汎化されていない可能性が残る
第3グループ	例文は他己パターンに当たらないので、あまり標準的な例文でなく特殊な点があると推定されるが、そのパターンには、他己例文が適合するので、おかしい。入力文の特殊な部分が無理に汎化され、適合してはいけないような入力文に適合するようになってしまっている可能性がある。
第4グループ	適合パターンが無いから、再現性の少ない特殊な部分を持った例文であると考えられる。またその例文から作成したパターンは他の例文には適合しないから、特殊な部分が非線形要素として適切に処理されている可能性が高いと推定される。

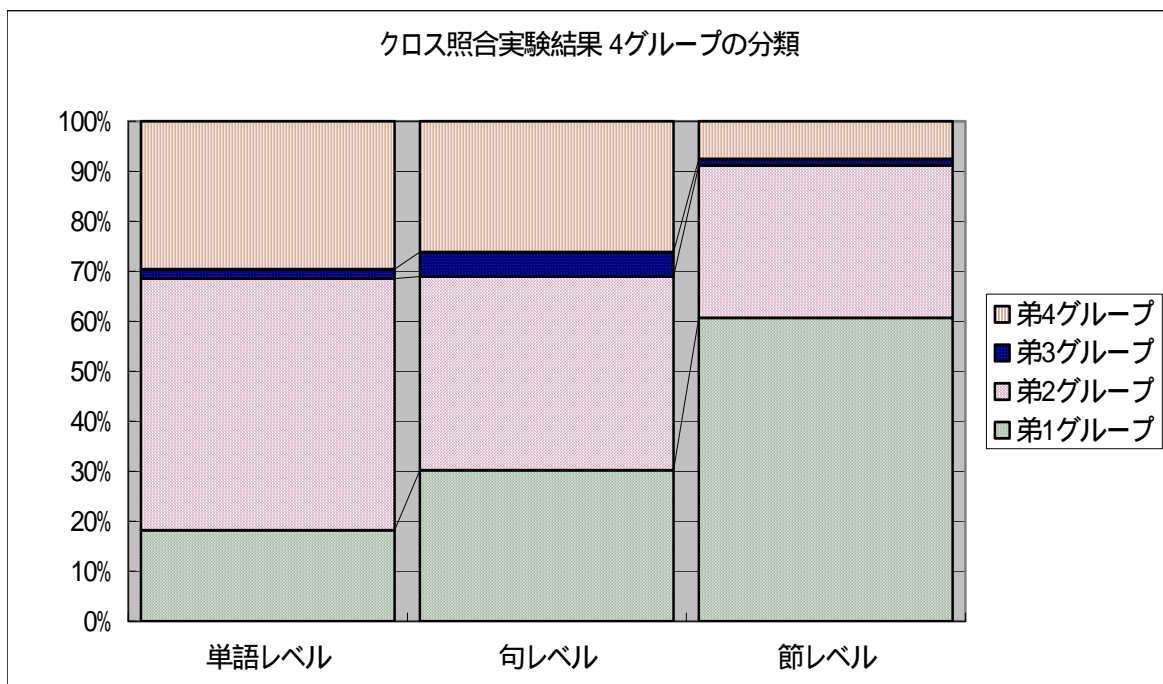
【分類結果】

パターンの分類結果を下表に示す。分類にあたって、句レベル、節レベルにおいては、その例文より作成された自己パターンが存在する例文の場合のみ、分類対象とした。

[単位：文]

種別	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	合計
単語レベル	22,512	61,308	2,257	36,642	122,719
句レベル	24,153	31,000	3,887	20,915	79,955
節レベル	15,538	7,799	334	1,932	25,603
合計	58,499	97,214	6,409	59,717	221,839

分類結果を図に示すと下図数の通りとなる。



上記の図表から、文型パターン辞書に収録されたパターンは、以下の品質を持つことが予想される。

1. 単語レベルのパターンについて
 - ・ 被覆率は約 70%であるが、これは、約 20%のパターンによって得られており、80%のパターンは、汎用性に乏しく、通常使用されないパターンである。

- ・ 約 50%のパターン（第 2 グループ + 第 3 グループ）は、汎化の適否について必ずしも保証されているとは言えない。
- ・ その内、1 ~ 2 %のパターン（第 3 グループ）は、汎化不良の可能性が高い。

2 . 句レベルのパターンについて

- ・ 被覆率は約 75%であるが、これは、約 30%のパターンによって得られており、70%のパターンは、汎用性に乏しく、通常使用されないパターンである。
- ・ 約 45%のパターン（第 2 グループ + 第 3 グループ）は、汎化の適否について必ずしも保証されているとは言えない。
- ・ その内、約 5 %のパターン（第 3 グループ）は、汎化不良の可能性が高い。

3 . 節レベルのパターンについて

- ・ 被覆率は約 90%であるが、これは、約 60%のパターンによって得られており、40%のパターンは、汎用性に乏しく、通常使用されないパターンである。
- ・ 約 30%のパターン（第 2 グループ + 第 3 グループ）は、汎化の適否について必ずしも保証されているとは言えない。
- ・ その内、約 1 %のパターン（第 3 グループ）は、汎化不良の可能性が高い。

4 . 3 変数・関数・記号の使用頻度

各レベルのパターンについて、変数、関数、記号の使用頻度を以下に示す。

(1) 単語レベル文型パターン

変数の出現頻度

変数	日本語	英語
ADV	16435	19957
AJ	13605	47161
AJV	13218	
ANY	205	207
GEN	16316	
N	260552	291310
ND	19583	
NUM	5470	5496
REN	5872	
TIME	11095	
V	117380	114174
DEF		8238
合計	479731	486543

関数の出現頻度（ドット関数）

言語	関数種類	頻度
日本語	.da	170
日本語	.dantei	1279
日本語	.darou	1
日本語	.dekiru	454
日本語	.desu	21
日本語	.gimu	693
日本語	.hitei	7599
日本語	.hougayoi	23
日本語	.joutaihenka	1576
日本語	.kaishi	216
日本語	.kako	39556
日本語	.kirezu	1
日本語	.masu	4427
日本語	.meireigo	1706
日本語	.nisuru	485
日本語	.noda	625
日本語	.rareru	2054
日本語	.rashii	122
日本語	.reru	6140
日本語	.sase	1408
日本語	.souda	374
日本語	.sugiru	370
日本語	.suitei	2483
日本語	.tai	966
日本語	.tearu	886
日本語	.teiku	461
日本語	.teinei	14
日本語	.teiru	11779
日本語	.tekudasai	1361
日本語	.tekureru	1083
日本語	.tekuru	1230
日本語	.temiru	456
日本語	.teoku	447
日本語	.teshimatta	1
日本語	.teshimau	1274
日本語	.teyaru	242
日本語	.teyoi	55
日本語	.utosuru	296
日本語	.yotei	77
日本語	.you	2917
日本語	^dekiru	454
日本語	^desu	529
日本語	^sase	1400
日本語	^sugiru	363
合計		95328

関数の使用頻度（ハット関数）

言語	関数種類	頻度
日本語	^katei	2810
日本語	^meirei	1706
日本語	^rentai	44851
日本語	^renyou	1302
合計		50669

英語パターン・ドット関数

言語	関数種類	頻度
英語	.adposs	120
英語	.begin	16
英語	.better	9
英語	.can	424
英語	.may	12
英語	.must	52
英語	.not	2893
英語	.seem	1
英語	.should	169
英語	.want	207
英語	.will	10
合計		3913

英語パターン・ハット関数

言語	関数種類	頻度
英語	^base	25157
英語	^ed	3625
英語	^er	1231
英語	^future	2890
英語	^grn	4052
英語	^ing	4743
英語	^obj	14450
英語	^passive	7525
英語	^past	41784
英語	^poss	25012
英語	^prog	2887
英語	^pron	5622
英語	^prp	642
英語	^psp	3301
英語	^reflex	1654
英語	^st	637
英語	品詞変換	49896

記号（日本語パターン）

記号の出現頻度			
言語	記号種類	頻度	
日本語	位置変更	36633	
日本語	順序任意	13523	
日本語	選択記号	148882	
日本語	対応型要素選択記号	14120	
日本語	任意記号	53712	
日本語	文節境界記号	72531	
日本語	補完要素記号	63194	
合計		402595	
日本語	離散記号	/c	1395
		/cf	216433
		/f	84177
		/fk	936
		/k	64469
		/tcfk	142463
		/tck	29340
		/tfk	1173
		/tk	42537
		/y	90957
		/yc	5417
		/ycf	16390
		/yf	17529
		/ytcfk	33773
		/ytck	26220
/ytfk	288		
/ytk	2768		
離散記号合計		776265	

記号（英語パターン）

言語	記号種類	頻度
英語	選択記号	19369
英語	対応型要素選択記号	13029
英語	任意記号	43941
英語	訳出要素選択記号	62639
英語	要素挿入記号	412
合計		139390

（２）句レベル文型パターン

変数

変数	日本語	英語
ADVP	282	474
AJP	2590	4965
AJVP	1359	
NP	37227	43078
VP	69901	62865
合計	111359	111382

（３）節レベル文型パターン

節変数頻度	
変数	頻度
CL	39,718

<参考資料1> グループラベル一覧[文種別1]

(1) グループラベルで用いる変数、記号一覧

	表記	説明
1	PRD	述部 (VP、AJP、AJVP、NPだ)、Predicateの略(PREDは長いので、PRDにしている。)
2	MDF	修飾要素、modifierの略
3	CMP	補語、complimentの略、(C一文字では弊害がありそうなのでCMPにしている。)
4	PP	前置詞句
5	CPP	複合前置詞句
6	~	特にどのような要素がきても良いことを示す。ANYを用いてもよいが、分かりやすくするため”~”にしている。
7	< 表記 >	[接続KW][モダリティG]などグループラベル中で、文法的なグループを指定する際に日本語のラベルに[]を付与して使用する。
8	変数(=)	変数内部の構造を指定する。日英共に使用。(ex. VP(= V N))
9	{ }	字面の表現そのものが重要な箇所を示す。日本語側では ([格助詞]PRD[接続KW]) のように文法的な構造を記述した範囲を指定し、対応する英語では ([複合前置詞G]) ([副詞相当表現G]) のように字面表現リストのグループ名を指定する。

(2) 制約付き英語用言の記述一覧

	表記	説明	使用骨格例
1	Va, PRDa	That節をとる動詞である。	~ Va that CL
2	Vb, PRDb	to不定詞をとる動詞である。	~ Vb to V^base
3	Vc, PRDc	原形不定詞をとる動詞である。	~ Vc V^base
4	Vd, PRDd	動名詞をとる動詞である。	~ Vd V^grn
5	Ve, PRDe	補語をとる動詞である。	~ Ve 補語
6	Vf, PRDf	疑問節をとる動詞である。	~ Vf when ~
7	Vg, PRDg	SVOO構文をとる動詞である。	~ Vg N[DO] N[IO]
8	Vh, PRDh	SVOC構文をとる動詞である。(C=形容詞、名詞、句)	~ Vh N[O] (N AJ 句)[C]
9	Vi, PRDi	SVOC構文をとる動詞である。(C=to不定詞)	~ Vi N[O] to V^base
10	Vj, PRDj	SVOC構文(知覚構文)をとる動詞である。(C=動詞原形、分詞)	~ Vj N[O] (V^base V^ing V^ed)
11	Vk, PRDk	SVOC構文(使役構文)をとる動詞である。(C=動詞原形、分詞)	~ Vk N[O] (V^base V^ing V^ed)
12	VI, PRDI	“~ V ~ as ~”という骨格をとる。(ex. consider)	~ VI ~ as ~
13	Vm, PRDm	“~ V ~ for ~”という骨格をとる。(ex. search)	~ Vm ~ for ~
14	Vn, PRDn	“~ V ~ from ~”という骨格をとる。(ex. prevent)	~ Vn ~ from ~

(3) グループラベル一覧

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1	[CL1(て から)] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	2	[CL1(ないで renyou)] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	3	[CL1(ながら ず)] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	4	[CL1(様(に) (は) (が)為(に))] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	5	[CL1(のに)] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	6	[CL1(ほど(に))] / CL2,	CL2 [and CL1].
1	7	CL1 [(う よう)として つもりで (が)為(に)] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	8	CL1 [(^renyou)ないで とともに] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	9	CL1 [(ず まま)ては] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	10	CL1 [(た 上)で 以上は] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	11	CL1 [(て の)で から] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	12	CL1 [(て から(は) と(直 く(に) 間も無く 途端に さっそく ただちに)] て	CL1 [and CL2].
1	13	CL1 [(と ば たら] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	14	CL1 [(ま でもなく ばかりにして] / CL2,	CL1 [and CL2].
1	15	CL1 [, / CL2],	CL1 [and CL2].
1	16	CL1 [が / CL2],	CL1 [and CL2].
1	17	CL1 [だけで / CL2],	CL1 [and CL2].
1	18	CL1 [て / CL2],	CL1 [and CL2].
1	19	CL1 [とともに / CL2],	CL1 [and CL2].
1	20	CL1 [反面 / CL2],	CL1 [and CL2].
1	21	N1は/AJ2もあり/AJ3もある。	N1 V(AJ2) [and] V(AJ3).
1	22	N1は/NP2でもあり/NP3でもある。	N1 be NP2 [and] NP3.
1	23	N1は/NP2もあれば/NP3もある。	N1 have NP2 [and] NP3.
1	24	N1は/PRD2(=NもPRD)し/PRD3(=NもPRD),	N1 PRD2 and PRD3.
1	25	N1は/PRD2ないし、N2も/(同じだ PRD2ない),	N1 PRD2.not and N2 PRD2.not neither.
1	26	N1は/VP2たり/VP3たりする。	N1 VP2 and VP3.
1	27	N1をする【ようでは】 / CL2,	N1, [and] CL2.
1	28	CL1 [て / CL2],	CL1 [and as a result CL2].
1	29	CL1 [(^renyou)し、[その上]] / CL2,	CL1 [and then CL2].
1	30	CL1 [(て から(は))ている内に かと思うと] / CL2,	CL1 [and then CL2].
1	31	CL1 [, / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	32	CL1 [が / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	33	CL1 [だけで / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	34	CL1 [たら / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	35	CL1 [て / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	36	CL1 [ながら / CL2],	CL1 [and then CL2].
1	37	NP1もあれば/NP2もある。	There be NP1 [and then,] there be NP2.
1	38	CL1 [が / CL2],	CL1 [and yet CL2].
1	39	CL1 [て / CL2],	CL1 [and yet CL2].
1	40	CL1 [ても / CL2],	CL1 [and yet CL2].
1	41	[CL1(て ば こそ ので)] / CL2,	CL2 [but CL1].
1	42	[CL1(^renyou)] / CL2,	CL2 [but CL1].
1	43	[CL1(だけで)] / CL2,	CL2 [but CL1].
1	44	CL1 [(う よう)として 様(に) (は))] / CL2,	CL1 [but CL2].
1	45	CL1 [(^renyou)ないで 代わりに] / CL2,	CL1 [but CL2].
1	46	CL1 [(が)もの のとは 言え] / CL2,	CL1 [but CL2].
1	47	CL1 [(ず に まま) / CL2],	CL1 [but CL2].
1	48	CL1 [(だけで 他には) / CL2],	CL1 [but CL2].
1	49	CL1 [(て から せい か) / CL2],	CL1 [but CL2].
1	50	CL1 [(て から(は))かと思うと] / CL2,	CL1 [but CL2].
1	51	CL1 [(ても たら) / CL2],	CL1 [but CL2].
1	52	CL1 [, / CL2],	CL1 [but CL2].
1	53	CL1 [が / CL2],	CL1 [but CL2].
1	54	CL1 [反面 / CL2],	CL1 [but CL2].
1	55	N1は/待てど暮らせど / CL2ない,	N1 waited and waited, but CL2.not.
1	56	N1は/ND2こそすれ、ND3はしない,	N1 V(ND2) but N1 can't V(ND3).
1	57	CL1 [(か し) / CL2],	CL1 [or CL2].
1	58	CL1 [なら / CL2],	CL1 [or CL2].
1	59	N1は/NP2もVP3ば/NP4もVP3,	N1 VP3 NP1 or VP3 NP2.
1	60	N1は/VP2たり/VP3たりする。	N1 VP2 or VP3.
1	61	[CL1(だけ(に))] / CL2,	CL2 [(as so) far as CL1].
1	62	[CL1(と ころでは)] / CL2,	CL2 [(as so) far as CL1].
1	63	[CL1(ば)] / CL2,	CL2 [(as so) far as CL1].
1	64	[CL1(ま で(は))] / CL2,	CL2 [(as so) far as CL1].
1	65	[CL1(限 り)] / CL2,	CL2 [(as so) far as CL1].
1	66	[NP1(なら)] / CL2,	CL2 [as far as NP1 be concerned].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	67	[どこを見ても] / CL2,	CL2 [as far as the eye can reach].
1	68	[CL1(=N(さえ)だけ)PRD]ば / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	69	[CL1(なら ても たら)] / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	70	[CL1(間まで(は))頃から] / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	71	[CL1(だけ(に))] / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	72	[CL1(のだから)] / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	73	[CL1(限り)] / CL2,	CL2 [(as)so long as CL1].
1	74	[CL1(たら と ても)] / CL2,	CL2 [after CL1].
1	75	[CL1(て 末(に)の)で] / CL2,	CL2 [after CL1].
1	76	[CL1(てから(は))と(直ぐ(に))間も無く(途端に さっそく ただちに)]て	CL2 [after CL1].
1	77	[CL1^renyou] / CL2,	CL2 [after CL1].
1	78	[CL1が] / CL2,	CL2 [after CL1].
1	79	[CL1(た上)] / CL2,	CL2 [after CL1].
1	80	[CL1(間)] / CL2,	CL2 [all the time CL1].
1	81	[CL1(が ものの とは 言え)] / CL2,	CL2 [although CL1].
1	82	[CL1(ても に せよ)] / CL2,	CL2 [although CL1].
1	83	[CL1が] / CL2,	CL2 [although CL1].
1	84	[CL1(だけで)] / CL2,	CL2 [although CL1].
1	85	CL1が / CL2,	CL1 [although CL2].
1	86	[CL1(た ら いつ でも 時(に)(は))] / CL2,	CL2 [any time CL1].
1	87	[CL1(たら)] / CL2,	CL2 [any time CL1].
1	88	[CL1((う よう)として 様(に)(は))] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	89	[CL1(と ば て は)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	90	[CL1(に 連れて ほど(に))] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	91	[CL1(の で から て)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	92	[CL1(ほど(に) だけ(に))] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	93	[CL1(時(に)(は) 度 に ている 内に)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	94	[CL1(様(に)(は) ながら ままに)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	95	[CL1^renyou] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	96	[CL1が] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	97	[CL1(の と同様)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	98	[CL1(事 よって)] / CL2,	CL2 [as CL1].
1	99	[N1(には あり がち のこと だが、)] / CL2,	CL2, [as N1 will [be]].
1	100	[どちら か と 言 え ば] / CL1,	[As between the two], CL1.
1	101	CL1(ながら ず) / CL2,	CL1 [as CL2].
1	102	CL1^renyou / CL2,	CL1 [as CL2].
1	103	CL1(が) / CL2,	CL1 [as CL2].
1	104	CL1(て) / CL2,	CL1 [as CL2].
1	105	[CL1(や 否 や)] / CL2,	CL2 [as fast as CL1].
1	106	N1(は 足 に 任 じ て) / VP2,	N1 VP2 [as fast as N1^poss legs could carry N1^obj].
1	107	[CL1(そう に)] / CL2,	CL2 [as if CL1].
1	108	N1(は N2と 同 じ く ら い) / PRD3,	N1 PRD3 [as if N1 were N2].
1	109	[CL1(様(に)(は) そう に)] / CL2,	CL2 [as if CL1].
1	110	[CL1(て)] / CL2,	CL2 [as if CL1].
1	111	[CL1(癖 に)] / CL2,	CL2 [as if CL1].
1	112	[CL1(だけ(に) ほど(に))] / CL2,	CL2 [as much as CL1].
1	113	[CL1(限 り)] / CL2,	CL2 [as much as CL1].
1	114	[CL1(様(に)(は))] / CL2,	CL2 [as much as CL1].
1	115	N1(は N2に 負 け な い で) / VP3,	N1 VP3 [as much as N2 do].
1	116	[CL1(と(直ぐ(に))間も無く(途端に さっそく ただちに))次第(に) 隙	CL2 [as soon as CL1].
1	117	[CL1(と たら ても)] / CL2,	CL2 [as soon as CL1].
1	118	[CL1^renyou] / CL2,	CL2 [as soon as CL1].
1	119	[CL1(て)] / CL2,	CL2 [as soon as CL1].
1	120	[CL1^renyou] / CL2,	CL2 [as though CL1].
1	121	[CL1(様(に)(は))] / CL2,	CL2 [as though CL1].
1	122	[CL1(時(に)(は) 直 後)] / CL2,	CL2 [at the time CL1].
1	123	[CL1(が)為(に)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	124	[CL1(から と い っ て が)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	125	[CL1(の で て から)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	126	[CL1(の で は た ら)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	127	[CL1(分 だけ(に))] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	128	[CL1^renyou] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	129	[CL1(か)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	130	[CL1(ず)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	131	[CL1(な ん て)] / CL2,	CL2 [because CL1].
1	132	CL1^renyou / CL2,	CL1 [because CL2].
1	133	[CL1((前 以 前(に)(は) な い 内 に ま で(は))] / CL2,	CL2 [before CL1].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	134	[CL1(て)から] / CL2,	CL2 [before CL1].
1	135	[CL1(ないで)renyou] / CL2,	CL2 [before CL1].
1	136	[CL1(には)為には] / CL2,	CL2 [before CL1].
1	137	[CL1(ままで)はずに] / CL2,	CL2 [before CL1].
1	138	[CL1(より)も)くらないなら] / CL2,	CL2 [before CL1].
1	139	[CL1(なんて) / CL2,	CL2 [before CL1].
1	140	[CL1(について) / CL2,	CL2 [before CL1].
1	141	[CL1(のに) / CL2,	CL2 [before CL1].
1	142	[気が付いたら] / CL1,	CL1, [before I knew it].
1	143	CL1(てから(は)ない内に)まで(は) / CL2,	CL1 [before CL2].
1	144	CL1(renyou) / CL2,	CL1 [before CL2].
1	145	CL1(が) / CL2,	CL1 [before CL2].
1	146	CL1(た上で) / CL2,	CL1 [before CL2].
1	147	CL1(て) / CL2,	CL1 [before CL2].
1	148	CL1(ほとんど)なく / CL2,	CL1 [before CL2].
1	149	N1は / [VP2(なければ)ないと)てからでない) / VP3ない],	N1 (must have to) [VP2 before VP3].
1	150	N1は / PRD2(て)からではなくては / PRD3ない],	N1 must PRD2 before N1 PRD3.
1	151	N1は / VP2ない内は / VP3ない],	N1 VP3.not before VP2.
1	152	[CL1(までに)時(に)(は)頃には] / CL2,	CL2 [by the time CL1].
1	153	[CL1(て) / CL2,	CL2 [by the time CL1].
1	154	[CL1(ば) / CL2,	CL2 [by the time CL1].
1	155	[CL1(と) / CL2,	CL2 [come 時 CL1].
1	156	[CL1(度に) / CL2,	CL2 [each time CL1].
1	157	[N1(が) / いく VP2しても,] / CL3,	CL3 [each time N1 VP2].
1	158	N1は / [よく VP2するが, / その都度] / CL3,	CL3 [each time N1 VP2].
1	159	[CL1((後)以後(に)(は)) / CL2,	CL2 [even after CL1].
1	160	[CL1(ても) / CL2,	CL2 [even after CL1].
1	161	[CL1(という)のに] / CL2,	CL2 [even as CL1].
1	162	[CL1(時(に)(は)) / CL2,	CL2 [even as CL1].
1	163	[CL1(通り(に)) / CL2,	CL2 [even as CL1].
1	164	CL1(とともに) / CL2,	CL1 [even as CL2].
1	165	[CL1(ても)にしても] / CL2,	CL2 [even if CL1].
1	166	[CL1(が) / CL2,	CL2 [even if CL1].
1	167	[CL1(ても)にしても] / CL2,	CL2 [even though CL1].
1	168	[CL1(のに)癪に] / CL2,	CL2 [even though CL1].
1	169	[CL1(て) / CL2,	CL2 [even though CL1].
1	170	[CL1(ても) / CL2,	CL2 [even when CL1].
1	171	[CL1(時(に)(は)) / CL2,	CL2 [even when CL1].
1	172	[(何回)何度(幾度)CL1(ても) / CL2,	CL2 [every time CL1].
1	173	[CL1(ては) / CL2,	CL2 [(every time everytime) CL1].
1	174	[CL1(と) / CL2,	CL2 [(every time everytime) CL1].
1	175	[CL1(度に) / CL2,	CL2 [(every time everytime) CL1].
1	176	CL1(て)其の都度 / CL2,	CL1 [(every time everytime) CL2].
1	177	[初めて(最初)CL1(時) / CL2,	CL2 [first time CL1].
1	178	[CL1(から)ので)て] / CL2,	CL2 [for CL1].
1	179	[CL1(と(直ぐ(に))間も無く)途端に)さっそく(ただちに))] / CL2,	CL2 [for CL1].
1	180	CL1(renyou) / CL2,	CL1 [for CL2].
1	181	N1は / VP2ないと / CL3,	N1 must VP2 [for] CL3.
1	182	N1は / [ND2を恐れて) / VP3,	N1 VP3 [for fear N1 should V(ND2)].
1	183	[たとえ CL1(ても) / CL2,	CL2 [granting that CL1].
1	184	[N1(が) / (何度)どんなに(何が)いつどこへ)どっちに)誰が)誰	CL2 [(how many times)(however no matter how) (whatever no matter
1	185	[CL1(から)ので)て] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	186	[CL1(て)こそ)だけで)は] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	187	[CL1(なんて)よう)では] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	188	[CL1(には)(が)為(に))] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	189	[CL1(ば)と)たら] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	190	[CL1(場合(に)(は)時(に)(は))と(直ぐ(に))間も無く)途端に)さっそく	CL2 [if CL1].
1	191	[CL1(代わりに)renyou] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	192	[CL1,] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	193	[CL1(が) / CL2,	CL2 [if CL1].
1	194	[CL1(から)には] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	195	[CL1(ない)までも] / CL2,	CL2 [if CL1].
1	196	[CL1(ば) / CL2,	CL2 [if CL1].
1	197	[CL1(まま) / CL2,	CL2 [if CL1].
1	198	[CL1(方が) / CL2,	CL2 [if CL1].
1	199	CL1(から)て) / CL2,	CL1 [if CL2].
1	200	CL1(が) / CL2,	CL1 [if CL2].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	201	N1が/PRD2(場合 たら と ば)/CL3	(Should N1 PRD2^base Had N1 PRD2^ed), CL3.
1	202	[CL1(たら ば なら)] /CL2.	CL2 [in case CL1].
1	203	[CL1(場合 (に) (は) たら直く (に) 時 (に) (は)))] /CL2.	CL2 [in case CL1].
1	204	[N1に備えて] /CL2.	CL2 [in case CL(N1)].
1	205	[CL1(様 (に) (は) (が)為 (に) (う)よう と)] /CL2.	CL2 [in order that CL1].
1	206	[CL1(て の で)] /CL2.	CL2 [just as CL1].
1	207	[CL1(時 (に) (は) 途端 (に) 寸前 (に)))] /CL2.	CL2 [just as CL1].
1	208	[CL1(様 (に) (は) ままに)] /CL2.	CL2 [just as CL1].
1	209	[CL1と] /CL2.	CL2 [just as CL1].
1	210	[CL1(から と 言 って)] /CL2(=PRDとは限らない PRDてはいけない).	CL2 [just because CL1].
1	211	[CL1(ばかりに)] /CL2.	CL2 [just because CL1].
1	212	[CL1(直前 (に) (前 以前 (に) (は)))] /CL2.	CL2 [just before CL1].
1	213	[CL1(時 (に) (は) 頃 から か と 思 う と)] /CL2.	CL2 [just when CL1].
1	214	[CL1(て)] /CL2.	CL2 [just when CL1].
1	215	[CL1(と)] /CL2.	CL2 [just when CL1].
1	216	[CL1(ない ように に て はい け ない から)] /CL2.	CL2 [(for fear in case lest) CL1.should].
1	217	N1は/[ND2を 恐 れて] /VP3.	N1 VP3 [lest N1should V(ND2)].
1	218	[今度/CL1(時 たら)] /CL2.	CL2 [the next time CL1].
1	219	[何 どこ でも い い から け ど)] /CL2.	CL2 [no matter (what where)].
1	220	[CL1(ず)] /CL2.	CL2 [no matter CL1].
1	221	[CL1(の に)] /CL2.	CL2 [no matter CL1].
1	222	[N1が/(何 度 ど ん な に 何 が い つ ど こ へ ど っ ち に 誰 が 誰)]	CL2 [(how many times (however no matter how) (whatever no matter
1	223	[N1が/(何 度 ど ん な に 何 が い つ ど こ へ ど っ ち に 誰 が 誰)]	CL2 [(how many times (however no matter how) (whatever no matter
1	224	[N1が/(何 度 ど ん な に 何 が い つ ど こ へ ど っ ち に 誰 が 誰 を)VP2]	CL2 [(how many times (however no matter how) (whatever no matter
1	225	N1は/NP2[なら 何 でも] /VP3.	[No matter what it is], N1 VP3 NP2.
1	226	N1は/NP2[で は な く] /NP3から /VP4.	N1 VP4 not because NP2 but because NP3.
1	227	[CL1(が)] /CL2.	CL2 [notwithstanding CL1].
1	228	[CL1(から て の で)] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	229	[CL1(ば と て は)] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	230	[CL1^renyou] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	231	[CL1(から に は)] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	232	[CL1(ば)] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	233	[CL1(序 で に)] /CL2.	CL2 [now that CL1].
1	234	[CL1(から て)] /CL2.	CL2 [on condition that CL1].
1	235	[CL1(なら ば)] /CL2.	CL2 [on condition that CL1].
1	236	CL1[から] /CL2.	CL1 [on condition that CL2].
1	237	[(一旦 一 度)CL1(たら と ば から に は)] /CL2.	CL2 [once CL1].
1	238	[CL1(と 直 く (に) 間 も 無 く 途 端 に さ っ そ く た だ ち に) た と こ ろ で)]	CL2 [once CL1].
1	239	[CL1^renyou] /CL2.	CL2 [once CL1].
1	240	[CL1(て /[初 め て])]	CL2 [once CL1].
1	241	かつては /CL1[が] /CL2	CL2 [once] CL1
1	242	[CL1(ば)] /CL2.	CL2 [only CL1].
1	243	[CL1(なら ば た ら)] /CL2.	CL2 [(provided providing) CL1].
1	244	[CL1(から に は)] /CL2.	CL2 [seeing that CL1].
1	245	[CL1(と は)] /CL2.	CL2 [seeing that CL1].
1	246	[CL1(の だ か ら)] /CL2.	CL2 [seeing that CL1].
1	247	[CL1(が)為 (に)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	248	[CL1(た き り な く)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	249	[CL1(た ら な ら と)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	250	[CL1(て か ら (は) 以 前 か ら た ば か り て)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	251	[CL1(の で か ら て)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	252	[CL1^renyou] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	253	[CL1(から に は)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	254	[CL1(に 連 れて)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	255	[CL1(の に)] /CL2.	CL2 [since CL1].
1	256	CL1[^renyou/CL2].	CL1 [since CL2].
1	257	[CL1(て も た ら に し て も)] /CL2.	CL2 [(suppose supposing) CL1].
1	258	[CL1(つ も り で)] /CL2.	CL2 [(suppose supposing) CL1].
1	259	CL1[(が)為 (に)] /CL2.	CL1 [that CL2].
1	260	CL1[て] /CL2.	CL1 [that CL2].
1	261	[CL1(間 中)] /CL2.	CL2 [the entire time CL1].
1	262	[CL1(と 直 く (に) 間 も 無 く 途 端 に さ っ そ く た だ ち に)] /CL2.	CL2 [the instant CL1].
1	263	[CL1(と)] /CL2.	CL2 [the instant CL1].
1	264	[この 前 /CL1(時 は)] /CL2.	CL2 [the last time CL1].
1	265	[CL1(と 直 く (に) 間 も 無 く 途 端 に さ っ そ く た だ ち に)] /CL2.	CL2 [the minute CL1].
1	266	[CL1(と 直 く (に) 間 も 無 く 途 端 に さ っ そ く た だ ち に) 時 か ら 時 点]	CL2 [the moment CL1].
1	267	[CL1(て)] /CL2.	CL2 [the moment CL1].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	268	[CL1と]/CL2.	CL2 [the moment CL1].
1	269	[CL1ながら]/CL2.	CL2 [the same time that CL1].
1	270	[CL1(と(直ぐ(に))間も無く(途端に)さっそく(ただちに))]/CL2.	CL2 [the second CL1].
1	271	[CL1(が)もの(の)いえども]/CL2.	CL2 [though CL1].
1	272	[CL1(で)だけで]/CL2.	CL2 [though CL1].
1	273	[CL1(でも)とはいっても]/CL2.	CL2 [though CL1].
1	274	[CL1(ままだに)ず]/CL2.	CL2 [though CL1].
1	275	[CL1が]/CL2.	CL2 [though CL1].
1	276	CL1 [が/CL2].	CL1 [though CL2].
1	277	CL1 [ても/CL2].	CL1 [though CL2].
1	278	[CL1(なければ)なくて(は)ないと(ない)事には(ない)なら(ない)限り(な]	CL2 [unless CL1].
1	279	[CL1(時以外)は]/CL2.	CL2 [unless CL1].
1	280	[CL1(て)から]/CL2.	CL2 [(until till) CL1].
1	281	[CL1(ま)で(は)ま)での間(ま)で(に)]/CL2.	CL2 [(until till) CL1].
1	282	[CL1(ほ)ど(に)]/CL2.	CL2 [(until till) CL1].
1	283	[CL1(限)り]/CL2.	CL2 [(until till) CL1].
1	284	CL1 [(て)挙(句)に(に)の)で]/CL2.	CL1 [(until till) CL2].
1	285	CL1 [(て)いる(に)に(前)以(前)に(に)は)]/CL2.	CL1 [(until till) CL2].
1	286	CL1 [^renyou/CL2].	CL1 [(until till) CL2].
1	287	CL1 [が/CL2].	CL1 [(until till) CL2].
1	288	CL1 [と/CL2].	CL1 [(until till) CL2].
1	289	N1は/[CL2(て/(初めて)ようやく)てから)]/VP3.	[(It was] not (until till) CL2 that] N1 VP3.
1	290	N1は/[CL2(て/(初めて)ようやく)てから)]/VP3.	N1 VP3 [.not until CL2].
1	291	N1は/VP2(なければ)てから(で)ない(と)ず(に)/VP3(ない).	N1 VP3.not until N1 VP2.
1	292	N1は/VP2(なければ)てから(で)ない(と)ず(に)/VP3(ない).	N1 VP3.not until after N1 VP2.
1	293	[N1(によ)らず]の(い)か(ん)を(問)わ(ず)]/CL2.	CL2 [whatever] N1 may be.
1	294	~1と(言)つ(た)ら/~1.	When I (say tell you) ~1, (I mean) ~1.
1	295	[CL1(が)癪(に)割(に)は)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	296	[CL1(て)の)で(か)ら]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	297	[CL1(て)は)ず(ま)ま]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	298	[CL1(と)た)ら(ば)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	299	[CL1(と)こ)ろ(で)に)は)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	300	[CL1(に)は)う)よう(と)して(が)為(に)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	301	[CL1(時(に)(は)場(合)に(に)(は)と(必)ず(い)つ(も)き(っ)つ(と)決(ま)つ(て))]	CL2 [when CL1].
1	302	[CL1^renyou]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	303	[CL1(て)こ)そ]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	304	[CL1(な)ん(て)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	305	[CL1(に)従(つ)て]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	306	[CL1(ば)]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	307	[CL1(方)が]/CL2.	CL2 [when CL1].
1	308	CL1 [(ず)に)ま)ま]/CL2.	CL1 [when CL2].
1	309	CL1 [(時(に)(は)際(に)に)途(中)で)]/CL2.	CL1 [when CL2].
1	310	CL1 [^renyou/CL2].	CL1 [when CL2].
1	311	CL1 [か/CL2].	CL1 [when CL2].
1	312	CL1 [が/CL2].	CL1 [when CL2].
1	313	CL1 [て/CL2].	CL1 [when CL2].
1	314	CL1 [と/CL2].	CL1 [when CL2].
1	315	CL1 [ない(に)]/CL2.	CL1.not [when] CL2.
1	316	[CL1(と(必)ず(い)つ(も)き(っ)つ(と)決(ま)つ(て))時(に)(は)と(直)ぐ(に)間(も)]	CL2 [whenever CL1].
1	317	[CL1(と)ば(た)ら)]/CL2.	CL2 [whenever CL1].
1	318	[CL1(て)]/CL2.	CL2 [whenever CL1].
1	319	[CL1(て)は]/CL2.	CL2 [whenever CL1].
1	320	[N1(が)/(何)度(ど)ん(な)に(何)が(い)つ(ど)こ(へ)ど(っ)ち(に)誰(が)誰(を)VP2]	CL2 [(how many times)(however no matter how) (whatever no matter
1	321	CL1 [て/CL2].	CL1 [whenever CL2].
1	322	[CL1(が)]/CL2.	CL2 [whereas CL1].
1	323	[CL1(の)に)たい(し)て]/CL2.	CL2 [whereas CL1].
1	324	CL1 [が/CL2].	CL1 [whereas CL2].
1	325	CL1 [(と(直)ぐ(に)間(も)無(く)途(端)に)さ(っ)そ(く)た(だ)ち(に)]/CL2.	CL1 [whereupon CL2].
1	326	[CL1(ば)]/CL2.	CL2 [wherever CL1].
1	327	[N1(が)/(何)度(ど)ん(な)に(何)が(い)つ(ど)こ(へ)ど(っ)ち(に)誰(が)誰(誰)]	CL2 [(how many times)(however no matter how) (whatever no matter
1	328	N1は/[她(を)嫌(わ)ず]/VP2.	N1 VP2 [wherever N1 goes].
1	329	N1は/[足(に)任(じ)して]/VP2.	N1 VP2 [whatever fancy leads N1^obj].
1	330	[N1N2(を)言(わ)せ(ず)を)論(ぜ)ず]の(別(な)く)]/CL3.	CL3, [whether N1 or N2].
1	331	[N1(が)/VP2(な)く(て)も]/CL3.	CL3, [whether N1 VP2 or not].
1	332	[N1(が)/ど(っ)ち(の)N2(を)/VP3(て)も]/CL4.	CL4, [whether N1 VP3 this N2 or that].
1	333	[N1(で)も/N2(で)も(い)い(か)ら]/CL3.	CL3, [whether N1 or N2].
1	334	[N1(と)/N2(と)/(か)か(わ)ら(ず)]/CL3.	CL3, [whether N1 or N2].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	335	[CL1((う)よう)として]/CL2.	CL2 [while CL1].
1	336	[CL1(が もの)/CL2.	CL2 [while CL1].
1	337	[CL1(たら ても 時でも)/CL2.	CL2 [while CL1].
1	338	[CL1(て から)ので]/CL2.	CL2 [while CL1].
1	339	[CL1(ながら 状態で)/CL2.	CL2 [while CL1].
1	340	[CL1(間に 間時(に)(は))]/CL2.	CL2 [while CL1].
1	341	[CL1(^renyou)/CL2.	CL2 [while CL1].
1	342	[CL1が]/CL2.	CL2 [while CL1].
1	343	[CL1限り]/CL2.	CL2 [while CL1].
1	344	[CL1(傍ら)/CL2.	CL2 [while CL1].
1	345	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [while CL2].
1	346	CL1 [が/CL2].	CL1 [while CL2].
1	347	CL1 [だけで/CL2].	CL1 [while CL2].
1	348	CL1 [て/CL2].	CL1 [while CL2].
1	349	CL1 [ながら/CL2].	CL1 [while CL2].
1	350	N1は/[どこへV2うと]/CL3.	[V2 whither N1 will], CL3.
1	351	[誰かが/VP1なら]/CL2.	[Whoever VP1], CL2.
1	352	[誰でもよいから]/CL2.	[Whoever it may be], CL2.
1	353	[N1が/(何度)どんなに 何が いつ どこへ どっちに 誰が 誰を]VP2	CL2 [(how many times)(however no matter how) (whatever no matter
1	354	CL1 [が/CL2].	CL1 [however CL2].
1	355	[CL1上に]/CL2.	CL2 [(beside besides) CL1].
1	356	[CL1(傍ら)/CL2.	CL2 [(beside besides) CL1].
1	357	CL1 [(し ^renyou[その上])/CL2].	CL1 [(beside besides) CL2].
1	358	N1は/N2ばかりでなく/N3もPRD4.	N1 PRD4 N3, (beside besides) N2..
1	359	CL1 [, /CL2].	CL1 [hence CL2].
1	360	[(そうでなかったら そうしなければ)/CL2.	[Otherwise,] CL2.
1	361	CL1 [だけで他に/CL2].	CL1 [, otherwise CL2].
1	362	N1は/VP2ないと/CL3.	N1 have to VP2, otherwise CL2.
1	363	CL1 (^renyo/(しかも その上)/CL2).	CL1 [plus CL2].
1	364	CL1 [し, その上/CL2].	CL1 [plus CL2].
1	365	[CL1(たくて ので)/CL2.	CL2 [so CL1].
1	366	[CL1(様(に)(は)たくないと)/CL2.	CL2 [so CL1].
1	367	[CL1たいのですか]/CL2.	CL2 [so CL1].
1	368	CL1 [(ので から て)/CL2].	CL1 [so CL2].
1	369	CL1 [, だから/CL2].	CL1 [so CL2].
1	370	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [so CL2].
1	371	CL1 [から/CL2].	CL1 [so CL2].
1	372	CL1 [たばかりで/CL2].	CL1 [so CL2].
1	373	CL1 [たら/CL2].	CL1 [so CL2].
1	374	CL1 [ばかりで/CL2].	CL1 [so CL2].
1	375	CL1 様(に)(は)/CL2.	CL1 [so CL2].
1	376	CL2 [といけないから]CL1.	CL2 [so] CL1.not.
1	377	[CL1(から て ので)/CL2.	CL2 [so that CL1].
1	378	[CL1(様(に)(は)(が)為(に)には)/CL2.	CL2 [so that CL1].
1	379	[CL1(^renyou)/CL2.	CL2 [so that CL1].
1	380	[CL1様(に)(は)/CL2.	CL2 [so that CL1].
1	381	CL1 [(ので から て)/CL2].	CL1 [so that CL2].
1	382	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [so that CL2].
1	383	CL1 [ば/CL2].	CL1 [so that CL2].
1	384	CL1 [(が もの)/CL2].	CL1 [then CL2].
1	385	CL1 [(て から(は)か)かと思うと]/CL2].	CL1 [then CL2].
1	386	CL1 [(と ば)/CL2].	CL1 [then CL2].
1	387	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [then CL2].
1	388	CL1 [て/CL2].	CL1 [then CL2].
1	389	CL1 [, /CL2].	CL1 [thence CL2].
1	390	CL1 [(て た(が)為(に))/CL2].	CL1 [thereby CL2].
1	391	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [thereby CL2].
1	392	CL1 [事で/CL2].	CL1 [thereby CL2].
1	393	CL1 (^renyou/CL2).	CL1 [therefore CL2].
1	394	CL1 [ので/CL2].	CL1 [therefore CL2].
1	395	[(こうして かくして)/CL1.	[Thus,] CL1.
1	396	CL1 [ので/CL2].	CL1 [thus CL2].
1	397	CL1 [が/CL2].	CL1 [yet CL2].
1	398	CL1 [て/CL2].	CL1 [yet CL2].
1	399	CL1 [ても/CL2].	CL1 [yet CL2].
1	400	[CL1(と(直ぐ(に)間も無く 途端に さっそく ただちに))/CL2.	CL2 [directly CL1].
1	401	[CL1次第(に)/CL2.	CL2 [immediately CL1].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	402	[CL1途端(に)] / CL2,	CL2 [instantly CL1].
1	403	N1は/[VP2/((う)よう)と(が)為(に)には] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	404	N1は/[VP2/(が)にしては] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	405	N1は/[VP2/(だけで)事によって] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	406	N1は/[VP2/(て)のでから] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	407	N1は/[VP2/(て)から(は)まで(は)している内に] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	408	N1は/[VP2/(と)ば] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	409	N1は/[VP2/(ながら)ずに(は)に] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	410	N1は/[VP2/方が] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	411	N1は/[N2(と)違ってを(を)除き(を)いいことに] /VP3,	[(Different from Excluding Taking advantage of) N2.] N1 VP3.
1	412	N1は/[VP2/^renyou] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	413	N1は/[VP2/が] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	414	N1は/[VP2/なんて] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	415	N1は/[VP2/に連れて] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	416	N1は/[VP2/ば] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	417	N1は/[VP2/限り] /VP3,	[VP2^ing.] N1 VP3.
1	418	N1は/[VP2/(^renyou)と同時に] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	419	N1は/[VP2/(て)ので(が)為(に)] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	420	N1は/[VP2/(ても)と] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	421	N1は/[VP2/(ながら)ないで(は)] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	422	N1は/[VP2/が] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	423	N1は/[VP2/(ほど)に] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	424	N1は/[VP2/まで(は)] /VP3,	N1 VP2, [VP3^ing].
1	425	[N1(が)の] /V*2(ところで)は(と)ころによると(と)ころによれば]	[N1 Va2 that] CL3.
1	426	[N1(は)気がつく(と)きがついたら] CL2,	[N1 (find realize) that] CL2.
1	427	[VP1(と)ば(の)で(よ)うでは] /CL2(こと)がわかる。	[N(VP1) (show mean be) that] CL2.
1	428	CL1 [(から)ので] /PRD2,	[N(PRD2) be that] CL1.
1	429	CL1 [とは] /N2だ。	[That] CL1 is N2.
1	430	N1は/[V*2(が)事には] /CL3,	N1 [Va2 that] CL3.
1	431	N1は/[V*2(ても)] /CL3,	N1 [Va2 that] CL3.
1	432	N1は/[CL2((と)ば)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	433	N1は/[CL2((と)ば(と)うに)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	434	N1は/[CL2((の)で(て)ず)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	435	N1は/[CL2(様(に)(は)(う)よう)と(つ)もりて] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	436	N1は/[CL2(^renyou)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	437	N1は/[CL2(か)のよう] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	438	N1は/[CL2(まで(は))] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	439	N1は/[VP2(と)あつて(た)事(の)だから] /VP3,	N1 VP3 [in that N1 VP2].
1	440	N1は/[PRD2(から)といつて(と)して] /VP3,	N1 VP3 [on the grounds that N1 PRD2].
1	441	N1は/[VP2/(て^renyou), その結果] /CL3,	N1 VP2 [with the (result consequence) that] N1 V3.
1	442	CL1 [(から)て] /PRD2,	[N(PRD2) be that] CL1.
1	443	N1は/[V*2(が)] /CL3,	N1 [Va2 that] CL3.
1	444	N1は/[CL2((て)なくて(の)で)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	445	N1は/[CL2((は)と(な)ら)] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	446	N1は/[CL2(た)つもりて] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	447	N1は/[CL2(と)は] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	448	N1は/[CL2(様(に)(は))] /V*3,	N1 [Va3 that] CL2.
1	449	N1は/[CL2(よ)うと] / (構(わ)ない)気(に)しない。	N1 don't care [if CL1].
1	450	[N1(が)VP2(た)と(こ)ろで] /N3(は)PRD4,	N3 PRD4, [whether N1 VP2 or not].
1	451	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2,	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	452	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	453	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	454	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	454	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	455	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	456	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	457	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	458	[N1(と)N2(と)を(を)比(べ)たら] /CL3,	CL3, [whether N1 or N2].
1	459	N1は/[(どう)い(くら)余(り)に(な)ん(と)何(を)ど(ち)ら(を)誰(と)誰(を)] /VP2(と)	N1 VPf3 [(how what which who) N1 VP2].
1	460	N1は/[CL2(様(に))] /VP3,	N1 VP3 [(such) (a way) that CL2].
1	461	[(この)よう(に)して(そ)う(や)つて)] /CL1,	[This is how] CL1.
1	462	[N1(が)PRD2(よ)う(に)通(り)に] /CL3,	CL3 [how N1 PRD2].
1	463	CL1 [(の)で(て)から] /PRD2,	CL1 [, which PRD2^cause].
1	464	CL1 (^renyou) /PRD2,	CL1 [, which PRD2^cause].
1	465	CL1 [が] /PRD2,	CL1 [, which PRD2^cause].
1	466	CL1 [なく] /PRD2,	CL1 [, which PRD2^cause].
1	467	N1は/[NP2(な)つて] /VP3,	[It is NP2 that] N1 VP3.
1	468	[もう]CL1 [(が)て(い)い(時)間(年)だ]。	[It is time that] CL1.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	469	N1は/PRD2〔(て)ので〕/PRD3〕。	[It PRD3 how] N1 PRD2.
1	470	CL1〔ても/構わない〕。	[It doesn't matter if] CL1.
1	471	CL1〔(て)から〕/PRD2〕。	[It PRD2 that] CL1.
1	472	CL1〔(ても)と〕/PRD2〕。	[It PRD2 that] CL1.
1	473	CL1〔^renyou/PRD2〕。	[It PRD2 that] CL1.
1	474	CL1〔とは/PRD2〕。	[It PRD2 that] CL1.
1	475	CL1〔方が/PRD2〕。	[It PRD2 that] CL1.
1	476	N1は/〔(何を)どう)どちらが)どこに)だれが)〕/PRD2〔うと)PRD3〕。	[It PRD3 (what which where who)] N1 PRD2.
1	477	[NP1(経って)経ってから)経たない内に)すれば)〕/CL2。	[It is NP1 before] CL2.
1	478	[NP1(経たないと)〕/CL2ない。	[It will take NP1 before] CL2.
1	479	CL1〔ように)見える〕。	[It would seem that] CL1.
1	480	[N1(と)言えば)の話で)思い出したが)〕/CL2。	[(Speaking Talking) of N1,] CL2.
1	481	[ADV1(言えば)言うと)言って)〕/CL1。	[ADV1 apeating,] CL2.
1	482	[N1には)〔(いつもの)ことだが)〕ありが)ちのことだが)〕/CL1。	[As is (usual often the case) with N1] CL2.
1	483	[N1(から)〔(見て)見ると)見れば)すると)〕の)見た)ところ)〕/CL2。	[From N1 point of view,] CL2.
1	484	[N1の)口ぶり)から)察して)〕/CL2。	[From N1^poss words,] CL2.
1	485	[N1だけ)あって)〕/CL2。	[Greatly to N1^poss credit,] CL2.
1	486	[N1に)加えて)〕/CL2。	[In addition N1,] CL2.
1	487	[N1と)同じ)ように)〕/CL2。	[In common with N1,] CL2.
1	488	[CL1)場合は)〕/CL2。	[In the event of NP(CL1),] CL2.
1	489	[N1(から)〔(判断)すると)判断して)見ると)見て)も)〕察)すると)類)推)する)〕/CL2。	[Judging from N1,] CL2.
1	490	[N1に)先)立)って)〕/CL2。	[Preliminary to N1,] CL2.
1	491	[N1を)終)え)ると)〕/CL2。	[Pursuant N1,] CL2.
1	492	CL1〔から)堪)らない〕。	[To make matters worse,] CL1.
1	493	[N1が)PRD2(こと)に)に)に)が)〕/CL3。	[To N1^poss N(PRD2),] CL3.
1	494	CL1〔(ので)て)N2は)PRD3〕。	[To N2^poss N(PRD3),] CL1.
1	495	[ADV1(言えば)言うと)申)せば)〕/CL2。	[To put it ADV1,] CL2.
1	496	[N1は)別)にして)〕/CL2。	[To say nothing of N1,] CL2.
1	497	N1は)NP2は)ない)〔し)NP3は)な)お)さら)無い〕。	N1 have no NP2, [to say nothing of NP3].
1	498	[N1の)VP2)と)ころ)では)〕/CL3。	CL3 [to the best of N1^poss N(VP2)].
1	499	[VP1〔しよう)として)〕/CL2。	[Up to N(VP1)] CL2.
1	500	〔(PRD1<接続KW>)〕/CL2。	〔(<前置き表現G>)〕 CL2.
1	501	[N1((と)に)な)ると)なら)〕/CL2。	[When it comes to N1,] CL2.
1	502	[N1に)ついて)言)え)ば)〕/CL2。	[With N1,] CL2.
1	503	[N1の)はず)であ)った)が)〕/CL2。	[Supposedly AJ(N1),] CL2.
1	504	[N1)だ)と)〕/CL2。	CL2 [according to N1].
1	505	[VP1)だ)け)に)〕/CL2。	CL2 [according to N(VP1)].
1	506	[VP1)と)ころ)に)よ)れ)ば)〕/CL2。	CL2 [according to N(VP1)].
1	507	[VP1(結果)で)挙)句)に)に)〕/CL2。	CL2 [as a result of N(VP1)].
1	508	[N1(なら)だ)が)〕/CL2。	CL2 [as for N1].
1	509	[VP1(ので)て)〔(た)が)為)に)に)〕/CL2。	CL2 [because of N(VP1)].
1	510	[VP1^renyou)〕/CL2。	CL2 [because of N(VP1)].
1	511	[VP1)ず)〕/CL2。	CL2 [because of N(VP1)].
1	512	[VP1)た)ら)〕/CL2。	CL2 [but for N(VP1)].
1	513	[N1を)し)て)は)N2に)反)する)〕。	N1 would be [contrary to N2].
1	514	N1は)〔(他)が)PRD2と)〕/PRD3。	N1 PRD3 [contrast to N(PRD2)].
1	515	[VP1(が)為)に)に)〕/CL2。	CL2 [due to N(VP1)].
1	516	[VP1(て)〔(が)為)に)に)〕/CL2。	CL2 [due to N(VP1)].
1	517	[VP1^renyou)〕/CL2。	CL2 [due to N(VP1)].
1	518	[VP1)と)〕/CL2。	CL2 [due to N(VP1)].
1	519	[VP1)ま)ま)〕/CL2。	CL2 [due to N(VP1)].
1	520	[VP1)ど)こ)ろ)か)〕/CL2。	CL2 [far from N(VP1)].
1	521	N1は)〔(N2を)達)する)に)は)先)が)遠)い〕。	N1 be [far from N2].
1	522	〔(い)くら)あ)れ)ほ)ど)あ)ん)な)に)VP1(ても)が)〕/CL2。	[For all NP(VP1),] CL2.
1	523	[N1 ((を)に)が)の)も)PRD<接続KW>)〕/CL2。	CL2 [(<慣用的句表現G>) N1].
1	524	[VP1(ても)に)し)る)〕/CL2。	CL2 [(in spite of despite) N(VP1)].
1	525	[VP1(にも)か)か)わ)ら)ず)癪)に)割)には)〕/CL2。	CL2 [(in spite of despite) N(VP1)].
1	526	[VP1)て)〕/CL2。	CL2 [(in spite of despite) N(VP1)].
1	527	[VP1(て)〔(が)為)に)に)〕/CL2。	CL2 [on account of N(VP1)].
1	528	[VP1^renyou)〕/CL2。	CL2 [on account of N(VP1)].
1	529	[VP1(〔(た)が)為)に)に)て)の)で)〕/CL2。	CL2 [owing to N(VP1)].
1	530	[VP1^renyou)〕/CL2。	CL2 [owing to N(VP1)].
1	531	[VP1((前)以)前)に)に)は)〕/CL2。	CL2 [previous to N(VP1)].
1	532	[VP1((前)以)前)に)に)は)〕/CL2。	CL2 [prior to N(VP1)].
1	533	[VP1)場)合)で)は)〕/CL2。	CL2 [regarding as N(VP1)].
1	534	〔(い)くら)ど)ん)な)ん)と)VP1)も)〕/CL2。	CL2 [regardless of N(VP1)].
1	535	[N1)か)ま)わ)ず)〕/CL2。	CL2 [regardless of N1].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	536	[VP1にもかかわらず]/CL2,	CL2 [regardless of N(VP1)].
1	537	[VP1(おかげで で の)]/CL2,	CL2 [thanks to N(VP1)].
1	538	N1は/[VP2(が)為(に)]/VP3,	N1 VP3 [enough to VP2].
1	539	N1は/[VP2(ほど(に) だけ(に) ほど(に)は)]/VP3,	N1 VP3 [enough to VP2].
1	540	N1は/[VP2でも]/VP3,	N1 VP3 [enough to VP2].
1	541	N1は/[VP2ないで]/VP3,	N1 VP3 [enough to VP2].
1	542	N1は/[VP2には]/VP3,	N1 VP3 [enough to VP2].
1	543	N1は/[VP2((て から の)]/VP3],	N1 VP2 [enough to VP3].
1	544	N1は/[VP2((ば ても)/VP3],	N1 VP2 [enough to VP3].
1	545	N1は/[VP2(^renyou/VP3],	N1 VP2 [enough to VP3].
1	546	N1は/[VP2[にも]/VP3],	N1 VP2 [enough to VP3].
1	547	N1は/[NP2(のためなら をねらって)]/VP3,	N1 VP3 [in order to VP2].
1	548	N1は/[VP2((が)為(に) 様(に) は) うようと)]/VP3,	N1 VP3 [in order to VP2].
1	549	N1は/[VP2(て の)]/VP3,	N1 VP3 [in order to VP2].
1	550	N1は/[VP2(為(に) は)]/VP3]なければならぬ NP3が必要	[In order to VP2,] N1 (have to need must) VP(VP3 NP3).
1	551	N1は/[VP2(^renyou)/VP3],	N1 VP3 [in order to VP2].
1	552	N1は/[VP2にあたって]/VP3,	N1 VP3 [in order to VP2].
1	553	N1は/[VP2様(に) は)]/VP3,	N1 VP3 [in order to VP2].
1	554	N1は/[VP2(^renyou/VP3],	N1 VP2 [in order to VP3].
1	555	N1は/[VP2[て]/VP3],	N1 VP2 [in order to VP3].
1	556	N1は/[VP2((て た きり た まま) 二度と それ っきり そのまま 再び]	N1 VP2 ^{past} [never to VP3].
1	557	N1は/[VP2[が]/VP3.kako],	N1 VP2 ^{past} [only to VP3].
1	558	N1は/[VP2[て]/VP3.kako],	N1 VP2 ^{past} [only to VP3].
1	559	N1は/[VP2[や 否 や]/VP3.kako],	N1 VP2 ^{past} [only to VP3].
1	560	N1は/[VP2(様(に) は) 為(に) じと)]/VP3,	N1 VP3 [so as to VP2].
1	561	N1は/[VP2から]/VP3,	N1 VP3 [so as to VP2].
1	562	N1は/[VP2ほど(に)]/VP3,	N1 VP3 [so as to VP2].
1	563	N1は/[VP2(の)]/VP3],	N1 VP2 [so as to VP3 ^{cause}].
1	564	N1は/[VP2((が)為(に) 様(に) は) うようと)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	565	N1は/[VP2(て の) たくて)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	566	N1は/[VP2(と は ようでは)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	567	N1は/[VP2(ば と ても)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	568	N1は/[VP2(時(に) は) までに まで(は)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	569	N1は/[VP2(様(に) は) ず(に)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	570	N1は/[VP2(^renyou)/PRD3],	N1 PRD3 [to VP2].
1	571	N1は/[VP2]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	572	N1は/[VP2から は)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	573	N1は/[VP2(し ように も)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	574	N1は/[VP2(て まで(も)]/PRD3],	N1 PRD3 [to VP2].
1	575	N1は/[VP2(と て)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	576	N1は/[VP2(に は)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	577	N1は/[VP2(ほど(に) は)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	578	N1は/[VP2(方 が)]/PRD3,	N1 PRD3 [to VP2].
1	579	N1は/[VP2(なければ ないと)/VP3ない],	N1 (have to must need to) VP2 [to VP3].
1	580	N1は/[VP2((て まで(も) 事 によって)/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	581	N1は/[VP2((と ても ば)/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	582	N1は/[VP2(ないで ながら ては)/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	583	N1は/[VP2(^renyou/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	584	N1は/[VP2[が]/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	585	N1は/[VP2[て]/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	586	N1は/[VP2[にも]/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	587	N1は/[VP2[ほど(に)]/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	588	N1は/[VP2(隙に)/VP3],	N1 VP2 [to VP3].
1	589	[N1(は が を)/VP2(て の)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	590	[N1(は が を)/VP2(と ば ても)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	591	[N1(は が を)/VP2(ま ま ず た 気に)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	592	[N1(は が を)/VP2(^renyou)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	593	[N1(は が を)/VP2(が)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	594	[N1(は が を)/VP2(から は)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	595	[N1(は が を)/VP2(中(で)]/CL3,	[With N1 C(VP2),] CL3.
1	596	CL1 [(て の)]/N2(は が を)/VP3],	CL1, [with N2 C(VP3)].
1	597	CL1 (^renyou/N2(は が を)/VP3],	CL1, [with N2 C(VP3)].
1	598	CL1 [が/N2(は が を)/VP3],	CL1, [with N2 C(VP3)].
1	599	CL1 [ながら/N2(は が を)/VP3],	CL1, [with N2 C(VP3)].
1	600	CL1 [時(に) は]/N2(は が を)/VP3],	CL1, [with N2 C(VP3)].
1	601	[N1(でなければ でなくては)]/PRD2,	(No one Nobody None) but N1 PRD2.
1	602	N1は/[PRD2(ず して)]/PRD3,	N1 PRD3 [but N(PRD2)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	603	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [but N(PRD2)].
1	604	N1は/[PRD2(て[未(に)から])/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	605	N1は/[PRD2(てから(は)と(直ぐ(に)間も無く)途端に)さっそく]ただ	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	606	N1は/[PRD2(と[たら]ば)]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	607	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	608	N1は/[PRD2が]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	609	N1は/[PRD2ずに]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	610	N1は/[PRD2た上で]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	611	N1は/[PRD2どおしで]/PRD3.	N1 PRD3 [after N(PRD2)].
1	612	N1は/PRD2[様(に)(は)/NP3(を に が)/PRD4].	N1 PRD2 [after NP3].
1	613	N1は/[PRD2(て[から])/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	614	N1は/[PRD2(と ば)]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	615	N1は/[PRD2(様(に)(は)(が)為(に) は)]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	616	N1は/[PRD2(様(に)(は)ながら)]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	617	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	618	N1は/[PRD2が]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	619	N1は/[PRD2として]/PRD3.	N1 PRD3 [as N(PRD2)].
1	620	N1は/PRD2[が/PRD3].	N1 PRD2 [as N(PRD3)].
1	621	N1は/PRD2[て/PRD3].	N1 PRD2 [as N(PRD3)].
1	622	N1は/PRD2[と/PRD3].	N1 PRD2 [as N(PRD3)].
1	623	N1は/[PRD2(前[以前](に)(は)ない内に)と(必ず)いつも]きつと]決	N1 PRD3 [before N(PRD2)].
1	624	N1は/[PRD2(と[ても]なら)]/PRD3.	N1 PRD3 [before N(PRD2)].
1	625	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [before N(PRD2)].
1	626	N1は/[PRD2ず]/PRD3.	N1 PRD3 [before N(PRD2)].
1	627	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD2 [before N(PRD2)].
1	628	N1は/PRD2[て/PRD3].	N1 PRD2 [before N(PRD3)].
1	629	N1は/PRD2[ば/PRD3].	N1 PRD2 [before N(PRD3)].
1	630	N1は/[PRD2(さえも)]/PRD3.	N1 PRD3 [even as N(PRD2)].
1	631	N1は/[PRD2((が)為(に)(う)よう)と(に)は)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	632	N1は/[PRD2(、[ば]と)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	633	N1は/[PRD2(^renyou[代わり]に)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	634	N1は/[PRD2(が[か])]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	635	N1は/[PRD2(て[の]で(た)(が)為(に))] /PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	636	N1は/[PRD2(なら[ても]ば)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	637	N1は/[PRD2(に)は]にも)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	638	N1は/[PRD2(の)に]しては]からって)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	639	N1は/[PRD2(ほど(に)ばかりに)ほど(に)は)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	640	N1は/[PRD2(間まで(は)場合(に)(は))] /PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	641	N1は/[PRD2(様(に)(は)ず]ながら)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	642	N1は/[PRD2(と)は)]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	643	N1は/[PRD2(事)で]/PRD3.	N1 PRD3 [for N(PRD2)].
1	644	N1は/PRD2[(て[から]の]で)/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	645	N1は/PRD2[(て[から]は)まで(は)]/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	646	N1は/PRD2[^renyou/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	647	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4].	N1 PRD2 [for NP3].
1	648	N1は/PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4].	N1 PRD2 [for NP3].
1	649	N1は/PRD2[が/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	650	N1は/PRD2[と/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	651	N1は/PRD2[ば/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	652	N1は/PRD2[ばかりに/PRD3].	N1 PRD2 [for N(PRD3)].
1	653	N1は/[PRD2(ながら)]/PRD3.	N1 PRD3 [notwithstanding N(PRD2)].
1	654	N1は/[PRD2(て[から]は)時]から)]/PRD3.	N1 PRD3 [since N(PRD2)].
1	655	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [since N(PRD2)].
1	656	N1は/[PRD2と]/PRD3.	N1 PRD3 [since N(PRD2)].
1	657	[(TIME1)になって[から]N1を経て]/(初めて[ようやく])/CL2.	[[It was] not (until)N1 that] CL2.
1	658	[(TIME1)になって[から]N1を経て]/(初めて[ようやく])/CL2.	CL2[.not (until)N1].
1	659	N1は/[PRD2(まで(は))]/PRD3.	N1 PRD3 [(until)N1].
1	660	N1は/PRD2[て/PRD3].	N1 PRD2 [(until)N1].
1	661	N1は/VP2ないと/VP3ない.	N1 PRD3 [(until)N1].
1	662	N1は/VP2ないと/VP3ない.	N1 VP3.until N1 VP2.
1	663	N1は/[PRD2(まで(は))]/PRD3.	N1 PRD3 [(until)N1].
1	664	N1は/[PRD2(と ば)]/PRD3.	N1 PRD3 [(beside)N1].
1	665	N1は/[PRD2(て)]/PRD3.	N1 PRD3 [(beside)N1].
1	666	N1は/[PRD2(て[だけ]あって[の]で)]/PRD3.	N1 PRD3 [like N(PRD2)].
1	667	N1は/[PRD2(様(に)(は)ず)]/PRD3.	N1 PRD3 [like N(PRD2)].
1	668	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [like N(PRD2)].
1	669	N1は/[N2と/同様]/PRD3.	N1 PRD3 [like N2].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	670	N1は/PRD2[と/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [like NP3].
1	671	N1は/[PRD2(て だけに)/PRD3]	N1 PRD3 [up to N(PRD2)].
1	672	N1は/[PRD2(時点で 時まで)に]/PRD3。	N1 PRD3 [up to N(PRD2)].
1	673	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [up to NP3].
1	674	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [up to N(PRD3)].
1	675	N1は/[PRD2と]/PRD3。	N1 PRD3 [next to N(PRD2)].
1	676	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [next to NP3].
1	677	N1は/[PRD2(て ので)/PRD3]	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	678	N1は/[PRD2(ても と ば)/PRD3]	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	679	N1は/[PRD2(には 様(に)(は)(が)為(に))]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	680	N1は/[PRD2(ほど(に)までに くらい)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	681	N1は/[PRD2(まで(は) た上で と 直ぐ(に) 間も無く 途端に さっそく	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	682	N1は/[PRD2(様(に)(は)なく)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	683	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	684	N1は/[PRD2が]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	685	N1は/[PRD2(まで も)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	686	N1は/[PRD2(に従って)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	687	N1は/[PRD2(の に たいして)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	688	N1は/[PRD2(限り)]/PRD3。	N1 PRD3 [to N(PRD2)].
1	689	N1は/PRD2[(て 過ぎて ので)/PRD3]。	N1 PRD2 [to N(PRD3)].
1	690	N1は/PRD2[(ながら 様(に)(は)に]/PRD3]。	N1 PRD2 [to N(PRD3)].
1	691	N1は/PRD2[^renyou/PRD3]。	N1 PRD2 [to N(PRD3)].
1	692	N1は/PRD2[(後 以後)(に)(は)に]/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [to NP3].
1	693	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [to NP3].
1	694	N1は/PRD2[と/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [to NP3].
1	695	N1は/PRD2[ながら/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [to NP3].
1	696	N1は/PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [to NP3].
1	697	N1は/PRD2[が/PRD3]。	N1 PRD2 [to N(PRD3)].
1	698	N1は/PRD2[と/PRD3]。	N1 PRD2 [to N(PRD3)].
1	699	N1は/[N2を/N3に]/PRD4。	N1 PRD3 [with AJ(N3) N2].
1	700	N1は/[PRD2((の)と同時に ている内に 度に)]/PRD3。	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	701	N1は/[PRD2(^renyou ととも)に]/PRD3。	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	702	N1は/[PRD2(が にも)]/PRD3。	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	703	N1は/[PRD2(て ので から)]/PRD3。	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	704	N1は/[PRD2(と ば ても)]/PRD3。	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	705	N1は/[PRD2(ながら なく 様(に)(は)に]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	706	N1は/[PRD2(に 連れて ほど(に)に)]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	707	N1は/[PRD2(事 だけで)]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	708	N1は/[PRD2]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	709	N1は/[PRD2が]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	710	N1は/[PRD2(ほど(に)に)]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	711	N1は/[PRD2(限り)]/PRD3]	N1 PRD3 [with N(PRD2)].
1	712	N1は/[N2を/除いて]/PRD3]	N1 PRD3 [with exception of N2].
1	713	N1は/PRD2[(て から)]/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	714	N1は/PRD2[(と ば ても)]/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	715	N1は/PRD2[^renyou/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	716	N1は/PRD2[が/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [with NP3].
1	717	N1は/PRD2[(が)為(に)/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [with NP3].
1	718	N1は/PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [with NP3].
1	719	N1は/PRD2[が/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	720	N1は/PRD2[にあたって]/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	721	N1は/PRD2[には/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	722	N1は/PRD2[にも/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	723	N1は/PRD2[ばかりに/PRD3]	N1 PRD2 [with N(PRD3)].
1	724	N1は/[PRD2(て ので)]/PRD3]	N1 PRD3 [about N(PRD2)].
1	725	N1は/[PRD2(と 直ぐ(に) 間も無く 途端に さっそく ただちに)]]	N1 PRD3 [about N(PRD2)].
1	726	N1は/[PRD2(と ても なら)]/PRD3]	N1 PRD3 [about N(PRD2)].
1	727	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3]	N1 PRD3 [about N(PRD2)].
1	728	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [about NP3].
1	729	N1は/[PRD2(ず)に]/PRD3]	N1 PRD3 [above N(PRD2)].
1	730	N1は/[PRD2(て)]/PRD3]	N1 PRD3 [above N(PRD2)].
1	731	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [across NP3].
1	732	N1は/[PRD2(て)]/PRD3]	N1 PRD3 [across N(PRD2)].
1	733	N1は/[PRD2(様(に)(は)に)]/PRD3]	N1 PRD3 [across N(PRD2)].
1	734	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [across NP3].
1	735	N1は/PRD2[(様(に)(は)ながら)/NP3(を に が)/PRD4]	N1 PRD2 [across NP3].
1	736	N1は/[PRD2(て から ので)]/PRD3]	N1 PRD3 [against N(PRD2)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	737	N1は/[PRD2様(に)(は)まいと べく]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	738	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	739	N1は/[PRD2ず]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	740	N1は/[PRD2てまで(も)]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	741	N1は/[PRD2(ても ば)]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	742	N1は/[PRD2ながら]/PRD3,	N1 PRD3 [against N(PRD2)].
1	743	N1は/[PRD2[^renyou/PRD3]].	N1 PRD2 [against N(PRD3)].
1	744	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [against NP3].
1	745	N1は/[PRD2[て/PRD3]].	N1 PRD2 [against N(PRD3)].
1	746	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [along N(PRD2)].
1	747	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3,	N1 PRD3 [along N(PRD2)].
1	748	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [along NP3].
1	749	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [alongside N(PRD2)].
1	750	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [amid N(PRD2)].
1	751	N1は/[PRD2ながらも]/PRD3,	N1 PRD3 [amid N(PRD2)].
1	752	N1は/[PRD2中(で)]/PRD3,	N1 PRD3 [amid N(PRD2)].
1	753	N1は/[PRD2つつ]/PRD3,	N1 PRD3 [amidst N(PRD2)].
1	754	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [amidst N(PRD2)].
1	755	N1は/[PRD2ても]/PRD3,	N1 PRD3 [amidst N(PRD2)].
1	756	N1は/[PRD2(ず ながら)]/PRD3,	N1 PRD3 [among N(PRD2)].
1	757	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [among N(PRD2)].
1	758	N1は/[PRD2と]/PRD3,	N1 PRD3 [among N(PRD2)].
1	759	N1は/[PRD2(てもと)]/PRD3,	N1 PRD3 [around N(PRD2)].
1	760	N1は/[PRD2(と(直ぐ(に) 間も無く 途端に さっそく ただちに))]	N1 PRD3 [around N(PRD2)].
1	761	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [around N(PRD2)].
1	762	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3,	N1 PRD3 [around N(PRD2)].
1	763	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [around NP3].
1	764	N1は/[PRD2[ながら/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [around NP3].
1	765	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [astride N(PRD2)].
1	766	N1は/[PRD2((う よう)と(の)に)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	767	N1は/[PRD2(ず 様(に)(は) ながら)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	768	N1は/[PRD2(だけでは ても 事により)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	769	N1は/[PRD2(て の だけで)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	770	N1は/[PRD2(ても と ば)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	771	N1は/[PRD2(時(に)(は)と(直ぐ(に) 間も無く 途端に さっそく ただ	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	772	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	773	N1は/[PRD2が]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	774	N1は/[PRD2(ところでは)]/PRD3,	N1 PRD3 [at N(PRD2)].
1	775	N1は/[PRD2[(に は が)為(に)]/PRD3],	N1 PRD2 [at N(PRD3)].
1	776	N1は/[PRD2[^renyou/PRD3]].	N1 PRD2 [at N(PRD3)].
1	777	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [at NP3].
1	778	N1は/[PRD2[(に は NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [at NP3].
1	779	N1は/[PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [at NP3].
1	780	N1は/[PRD2[て/PRD3]].	N1 PRD2 [at N(PRD3)].
1	781	N1は/[PRD2[ても/PRD3]].	N1 PRD2 [at N(PRD3)].
1	782	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [away from N(PRD2)].
1	783	N1は/[PRD2までに]/PRD3,	N1 PRD3 [away from N(PRD2)].
1	784	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3,	N1 PRD3 [away from N(PRD2)].
1	785	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [away from NP3].
1	786	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [back to N(PRD2)].
1	787	N1は/[PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]].	N1 PRD2 [back to NP3].
1	788	N1は/[PRD2((後 以後)(に)(は))]/PRD3,	N1 PRD3 [behind N(PRD2)].
1	789	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [behind N(PRD2)].
1	790	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [below N(PRD2)].
1	791	N1は/[PRD2ても]/PRD3,	N1 PRD3 [below N(PRD2)].
1	792	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [beneath N(PRD2)].
1	793	N1は/[PRD2と]/PRD3,	N1 PRD3 [beneath N(PRD2)].
1	794	N1は/[PRD2(て は ながら)]/PRD3,	N1 PRD3 [between N(PRD2)].
1	795	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3,	N1 PRD3 [between N(PRD2)].
1	796	N1は/[PRD2が]/PRD3,	N1 PRD3 [between N(PRD2)].
1	797	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [between N(PRD2)].
1	798	N1は/[PRD2間に]/PRD3,	N1 PRD3 [between N(PRD2)].
1	799	N1は/[PRD2(てもと)]/PRD3,	N1 PRD3 [beyond N(PRD2)].
1	800	N1は/[PRD2(ほど(に) までに くらい)]/PRD3,	N1 PRD3 [beyond N(PRD2)].
1	801	N1は/[PRD2て]/PRD3,	N1 PRD3 [beyond N(PRD2)].
1	802	N1は/[PRD2ず]/PRD3,	N1 PRD3 [beyond N(PRD2)].
1	803	N1は/[PRD2(たら直ぐ(に))]/PRD3,	N1 PRD3 [beyond N(PRD2)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	804	N1は/PRD2〔(て)から/NP3(を)に(が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [beyond NP3].
1	805	N1は/PRD2〔ても/NP3(を)に(が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [beyond NP3].
1	806	N1は/PRD2〔ても/PRD3〕。	N1 PRD2 [beyond N(PRD3)].
1	807	N1は/〔PRD2((う)よう)として〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	808	N1は/〔PRD2(て)ので(た)(が)為(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	809	N1は/〔PRD2(て)は(な)が(ら)ず〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	810	N1は/〔PRD2(と(直)ぐ(に)間も無く)途端に(さ)っ(そ)く(た)だ(ち)に)頃(に)〕。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	811	N1は/〔PRD2(と)ば(て)も〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	812	N1は/〔PRD2(事)によって(だけ)で(は)だけ)〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	813	N1は/〔PRD2^renyou〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	814	N1は/〔PRD2(か)ら(と)い(っ)て〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	815	N1は/〔PRD2(と)は〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	816	N1は/〔PRD2(に)も〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	817	N1は/〔PRD2(に)連(れ)て〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	818	N1は/〔PRD2(ば)〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	819	N1は/〔PRD2(ほ)ど(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [by N(PRD2)].
1	820	N1は/PRD2〔(た)ら(と)/PRD3〕。	N1 PRD2 [by N(PRD3)].
1	821	N1は/PRD2〔(て)ので/PRD3〕。	N1 PRD2 [by N(PRD3)].
1	822	N1は/PRD2〔^renyou/PRD3〕。	N1 PRD2 [by N(PRD3)].
1	823	N1は/PRD2〔(に)は/PRD3〕。	N1 PRD2 [by N(PRD3)].
1	824	N1は/PRD2(ない)と/PRD3〔(で)き(な)い〕。	N1 can PRD3 (by/through) N(PRD2).
1	825	N1は/〔PRD2(て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [down N(PRD2)].
1	826	N1は/〔PRD2(間)に(間)際(に)(は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [during N(PRD2)].
1	827	N1は/〔PRD2(て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [during N(PRD2)].
1	828	N1は/〔PRD2(と)〕/PRD3。	N1 PRD3 [during N(PRD2)].
1	829	N1は/〔PRD2(な)が(ら)〕/PRD3。	N1 PRD3 [during N(PRD2)].
1	830	N1は/〔N2(を)除(い)て(が)な(け)れ(ば)が(な)く(て)は(が)な(い)限(り)〕/PRD3。	N1 PRD3 [(except save) [for] N(PRD2)].
1	831	N1は/〔PRD2(だ)け(で)〕/PRD3。	N1 PRD3 [(except save) [for] N(PRD2)].
1	832	N1は/PRD2〔(が)〔(但)し〕/NP3(だ)け(は)/PRD2(な)い)ま(っ)び(ら)だ)〕。	N1 PRD2 [except for N3].
1	833	N1は/〔PRD2((後)以(後)(に)(は)〕/PRD3〕。	N1 PRD3 [following N(PRD2)].
1	834	N1は/〔PRD2(て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [following N(PRD2)].
1	835	N1は/〔PRD2(て)の(で)か(ら)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	836	N1は/〔PRD2(と)ば(て)も〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	837	N1は/〔PRD2(と)こ(ろ)で(は)と(こ)ろ(に)よ(る)と)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	838	N1は/〔PRD2(な)く(な)が(ら)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	839	N1は/〔PRD2(事)によって(だけ)で(は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	840	N1は/〔PRD2(時)か(ら)(後)以(後)(に)(は)〕と(必)ず(い)つ(も)き(っ)と(決)ま(る)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	841	N1は/〔PRD2(様)(に)(は)〕((が)為(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	842	N1は/〔PRD2^renyou〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	843	N1は/〔PRD2(が)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	844	N1は/〔PRD2(か)ら(し)て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	845	N1は/〔PRD2(だ)け(で)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	846	N1は/〔PRD2(ば)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	847	N1は/〔PRD2(ま)で(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from N(PRD2)].
1	848	N1は/PRD2〔(て)NP3(を)に(が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [from NP3].
1	849	N1は/PRD2〔(な)が(ら)NP3(を)に(が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [from NP3].
1	850	N1は/PRD2〔(て)〕/PRD3。	N1 PRD2 [from N(PRD3)].
1	851	N1は/PRD2〔(に)は/PRD3〕。	N1 PRD2 [from N(PRD3)].
1	852	N1は/〔PRD2(ま)で(は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from ~ to N(PRD2)].
1	853	N1は/〔PRD2(て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from ~ to N(PRD2)].
1	854	N1は/〔PRD2(と)〕/PRD3。	N1 PRD3 [from ~ to N(PRD2)].
1	855	N1は/PRD2〔(て)NP3(を)に(が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [from ~ to NP3].
1	856	N1は/〔PRD2((renyou)代(わり)に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	857	N1は/〔PRD2(が)割(に)は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	858	N1は/〔PRD2(ず)に(な)が(ら)様(に)(は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	859	N1は/〔PRD2(て)余(り)の(で)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	860	N1は/〔PRD2(と)ば(て)も〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	861	N1は/〔PRD2(に)は(が)為(に)(う)よう)と)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	862	N1は/〔PRD2(に)も(と)こ(ろ)で(は)に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	863	N1は/〔PRD2(事)で(だ)け(で)は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	864	N1は/〔PRD2(時)(に)(は)ない)内(に)た(上)で)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	865	N1は/〔PRD2(と)は〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	866	N1は/〔PRD2(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	867	N1は/〔PRD2(に)伴(っ)て)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	868	N1は/〔PRD2(ほ)ど(に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	869	N1は/〔PRD2(限)り〕/PRD3。	N1 PRD3 [in N(PRD2)].
1	870	N1は/PRD2〔(ず)ま(ま)〕/PRD3〕。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	871	N1は/PRD2〔てたくて〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	872	N1は/PRD2〔ても ば ては〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	873	N1は/PRD2〔(にも) は〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	874	N1は/PRD2〔(時 (に) (は) てから (は))〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	875	N1は/PRD2〔^renyou〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	876	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [in NP3].
1	877	N1は/PRD2〔ても/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [in NP3].
1	878	N1は/PRD2〔が〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	879	N1は/PRD2〔には〕/PRD3。	N1 PRD2 [in N(PRD3)].
1	880	N1は/〔PRD2ず〕/PRD3。	N1 PRD3 [in and out of N(PRD2)].
1	881	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [inside N(PRD2)].
1	882	N1は/〔PRD2(様 (に) (は) に は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [into N(PRD2)].
1	883	N1は/〔PRD2(まで (は) ところ (に) へ)て(直ぐ (に) 間も無く)〕	N1 PRD3 [into N(PRD2)].
1	884	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [into N(PRD2)].
1	885	N1は/〔PRD2ても〕/PRD3。	N1 PRD3 [into N(PRD2)].
1	886	N1は/〔PRD2にも〕/PRD3。	N1 PRD3 [into N(PRD2)].
1	887	N1は/PRD2〔(ても)と〕/PRD3。	N1 PRD2 [into N(PRD3)].
1	888	N1は/PRD2〔(様 (に) (は) ず して ながら)〕/PRD3。	N1 PRD2 [into N(PRD3)].
1	889	N1は/PRD2〔^renyou〕/PRD3。	N1 PRD2 [into N(PRD3)].
1	890	N1は/PRD2〔(て 過ぎて)/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [into NP3].
1	891	N1は/PRD2〔(と ば)/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [into NP3].
1	892	N1は/PRD2〔(ながら 様に して)/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [into NP3].
1	893	N1は/PRD2〔^renyou/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [into NP3].
1	894	N1は/PRD2〔て〕/PRD3。	N1 PRD2 [into N(PRD3)].
1	895	N1は/PRD2〔には〕/PRD3。	N1 PRD2 [into N(PRD3)].
1	896	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [near N(PRD2)].
1	897	N1は/〔PRD2ず〕/PRD3。	N1 PRD3 [next N(PRD2)].
1	898	N1は/〔PRD2なら〕/PRD3。	N1 PRD3 [of N(PRD2)].
1	899	N1は/〔PRD2際 (に) (は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [of N(PRD2)].
1	900	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [off N(PRD2)].
1	901	N1は/〔PRD2(と)ころでは〕/PRD3。	N1 PRD3 [off N(PRD2)].
1	902	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [off NP3].
1	903	N1は/PRD2〔と〕/PRD3。	N1 PRD2 [off N(PRD3)].
1	904	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [off ~ into NP3].
1	905	N1は/〔PRD2((う)よう)と(様 (に) (は) (が)為 (に))〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	906	N1は/〔PRD2(ず に ながら ては)〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	907	N1は/〔PRD2(だけ では 事)で〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	908	N1は/〔PRD2(て から)た事)で〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	909	N1は/〔PRD2(と ば ても)〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	910	N1は/〔PRD2(途中(で)と(直ぐ (に) 間も無く)途端に さっそく ただち	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	911	N1は/〔PRD2^renyou〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	912	N1は/〔PRD2が〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	913	N1は/〔PRD2(と)ころでは〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	914	N1は/〔PRD2(に 従って)〕/PRD3。	N1 PRD3 [on N(PRD2)].
1	915	N1は/PRD2〔(ず に ながら)〕/PRD3。	N1 PRD2 [on N(PRD3)].
1	916	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [on NP3].
1	917	N1は/PRD2〔が〕/PRD3。	N1 PRD2 [on N(PRD3)].
1	918	N1は/PRD2〔て〕/PRD3。	N1 PRD2 [on N(PRD3)].
1	919	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [onto NP3].
1	920	N1は/PRD2〔^renyou/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [onto NP3].
1	921	N1は/PRD2〔て〕/PRD3。	N1 PRD2 [onto N(PRD3)].
1	922	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [opposite N(PRD2)].
1	923	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [out NP3].
1	924	N1は/〔PRD2て〕/PRD3。	N1 PRD3 [out from N(PRD2)].
1	925	N1は/〔PRD2(ず に 様 (に) (は) ながら)〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	926	N1は/〔PRD2(て から (が)為 (に))〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	927	N1は/〔PRD2(と ても)〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	928	N1は/〔PRD2(様 (に) (は) (が)為 (に))〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	929	N1は/〔PRD2^renyou〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	930	N1は/〔PRD2(と)ころで〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	931	N1は/〔PRD2(ほ)ど (に)〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	932	N1は/〔PRD2(ま)で (は)〕/PRD3。	N1 PRD3 [out of N(PRD2)].
1	933	N1は/PRD2〔(様 (に) (は) ながら)〕/PRD3。	N1 PRD2 [out of N(PRD3)].
1	934	N1は/PRD2〔て/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [out of NP3].
1	935	N1は/PRD2〔ては/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [out of NP3].
1	936	N1は/PRD2〔(ながら 様に (は) ず)/NP3(を に が)/PRD4〕。	N1 PRD2 [out of NP3].
1	937	N1は/PRD2〔て〕/PRD3。	N1 PRD2 [out of N(PRD3)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	938	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [out of ~ into NP3].
1	939	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [out on N(PRD2)].
1	940	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [out onto NP3].
1	941	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [out to N(PRD2)].
1	942	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [out to NP3].
1	943	N1は/[PRD2ば]/PRD3。	N1 PRD3 [outside N(PRD2)].
1	944	N1は/[PRD2(て の で た 事 で)]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	945	N1は/[PRD2(ている 内に と 必ず いつも きつと 決まって)]時	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	946	N1は/[PRD2(と ば でも)]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	947	N1は/[PRD2(ながら ず に)]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	948	N1は/[PRD2が]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	949	N1は/[PRD2に連れて]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	950	N1は/[PRD2ほど(に)]/PRD3。	N1 PRD3 [over N(PRD2)].
1	951	N1は/PRD2[(て の で)/PRD3]。	N1 PRD2 [over N(PRD3)].
1	952	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [over NP3].
1	953	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [over to NP3].
1	954	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [over to N(PRD3)].
1	955	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [past N(PRD2)].
1	956	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [past NP3].
1	957	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [past N(PRD3)].
1	958	N1は/[PRD2(まで(は) 間)]/PRD3。	N1 PRD3 [pending N(PRD2)].
1	959	N1は/[PRD2のなら]/PRD3。	N1 PRD3 [per N(PRD2)].
1	960	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [round N(PRD2)].
1	961	N1は/[PRD2(たら ば)]/PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	962	N1は/[PRD2(て の で (た が)為(に))] /PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	963	N1は/[PRD2(ながら 様(に)(は) ではなくして)] /PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	964	N1は/[PRD2(時(に)(は) まで(は) ている 内に)] /PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	965	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	966	N1は/[PRD2事 で]/PRD3。	N1 PRD3 [through N(PRD2)].
1	967	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [through NP3].
1	968	N1は/PRD2[ながら/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [through NP3].
1	969	N1は/PRD2[に従って/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [through NP3].
1	970	N1は/PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [through NP3].
1	971	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [through N(PRD3)].
1	972	N1は/PRD2[様(に)(は)/PRD3]。	N1 PRD2 [through N(PRD3)].
1	973	N1は/[PRD2間]/PRD3。	N1 PRD3 [throughout N(PRD2)].
1	974	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3。	N1 PRD3 [(toward towards) N(PRD2)].
1	975	N1は/[PRD2(て の で)]/PRD3。	N1 PRD3 [(toward towards) N(PRD2)].
1	976	N1は/[PRD2(と たら)]/PRD3。	N1 PRD3 [(toward towards) N(PRD2)].
1	977	N1は/[PRD2に連れて]/PRD3。	N1 PRD3 [(toward towards) N(PRD2)].
1	978	N1は/PRD2[(ながら 様に して)/PRD3]。	N1 PRD2 [(toward towards) N(PRD3)].
1	979	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [(toward towards) NP3].
1	980	N1は/PRD2[ながら/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [(toward towards) NP3].
1	981	N1は/PRD2[^renyou/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [(toward towards) NP3].
1	982	N1は/[PRD2(^renyou と ともに)]/PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	983	N1は/[PRD2(て から の で)]/PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	984	N1は/[PRD2(と ても て は)]/PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	985	N1は/[PRD2(ながら ず)]/PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	986	N1は/[PRD2(時(に)(は) 場合(に)(は))] /PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	987	N1は/[PRD2ながら]/PRD3。	N1 PRD3 [under N(PRD2)].
1	988	N1は/PRD2[^renyou/PRD3]。	N1 PRD2 [under N(PRD3)].
1	989	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [under N(PRD3)].
1	990	N1は/PRD2[と/PRD3]。	N1 PRD2 [under N(PRD3)].
1	991	N1は/[PRD2^renyou]/PRD3。	N1 PRD3 [unlike N(PRD2)].
1	992	N1は/[PRD2ず]/PRD3。	N1 PRD3 [unlike N(PRD2)].
1	993	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [unlike N(PRD2)].
1	994	N1は/[N2と 違って]/PRD3。	N1 PRD3 [unlike N2].
1	995	N1は/PRD2[て/PRD3]。	N1 PRD2 [unto N(PRD3)].
1	996	N1は/[PRD2て]/PRD3。	N1 PRD3 [up N(PRD2)].
1	997	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [up NP3].
1	998	N1は/PRD2[ながら/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [up NP3].
1	999	N1は/PRD2[て/NP3(を に が)/PRD4]。	N1 PRD2 [up onto NP3].
1	1000	N1は/[PRD2(て から ただ け)]/PRD3。	N1 PRD3 [upon N(PRD2)].
1	1001	N1は/[PRD2(と(直ぐ(に) 間も無く 途端に さっそく ただちに)]時	N1 PRD3 [upon N(PRD2)].
1	1002	N1は/[PRD2(と ば たら)]/PRD3。	N1 PRD3 [upon N(PRD2)].
1	1003	N1は/[PRD2た 上 で]/PRD3。	N1 PRD3 [upon N(PRD2)].
1	1004	N1は/[PRD2と ばかり に]/PRD3。	N1 PRD3 [upon N(PRD2)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1005	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [via N(PRD2)].
1	1006	N1は/[PRD2(なら ば)]/PRD3.	N1 PRD3 [within N(PRD2)].
1	1007	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [within N(PRD2)].
1	1008	N1は/[PRD2ない内に]/PRD3.	N1 PRD3 [within N(PRD2)].
1	1009	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3.	N1 PRD3 [within N(PRD2)].
1	1010	N1は/PRD2[て/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [within NP3].
1	1011	N1は/[NP2も/なく]/PRD3.	N1 PRD3 [without NP2].
1	1012	N1は/[PRD2(ず に まま ては)]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1013	N1は/[PRD2(て の で なくて)]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1014	N1は/[PRD2(ない内に)と(直ぐ(に)間も無く)途端に さっそく ただ	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1015	N1は/[PRD2(なければ なくても ないと なかったら)]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1016	N1は/[PRD2*renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1017	N1は/[PRD2なく]/PRD3.	N1 PRD3 [without NP2].
1	1018	N1は/[PRD2のに]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1019	N1は/[PRD2までもなく]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1020	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3.	N1 PRD3 [without N(PRD2)].
1	1021	N1は/[{そ ろいも そ ろって}]/PRD3.	N1 PRD3 [without exception].
1	1022	N1は/PRD2[て/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [without NP3].
1	1023	N1は/PRD2[(て も と ば)/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [without NP3].
1	1024	N1は/PRD2[まま/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [without NP3].
1	1025	N1は/PRD2[(が もの)/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [without NP3].
1	1026	N1は/PRD2[だけで/NP3(を に)が]/PRD4.	N1 PRD2 [without NP3].
1	1027	N1は/PRD2[が]/PRD3.	N1 PRD2 [without N(PRD3)].
1	1028	N1は/PRD2[ずして]/PRD3.	N1 PRD2 [without N(PRD3)].
1	1029	N1は/[PRD2(た)が為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [on account of N(PRD2)].
1	1030	N1は/[PRD2((前 以前)(に)(は))] /PRD3.	N1 PRD3 [ahead of N(PRD2)].
1	1031	N1は/[PRD2(せいで)]/PRD3.	N1 PRD3 [along of N(PRD2)].
1	1032	N1は/[PRD2*renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [along with N(PRD2)].
1	1033	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [apart from N(PRD2)].
1	1034	N1は/[PRD2ても]/PRD3.	N1 PRD3 [apart from N(PRD2)].
1	1035	N1は/[PRD2ものの]/PRD3.	N1 PRD3 [apart from N(PRD2)].
1	1036	N1は/[PRD2上に]/PRD3.	N1 PRD3 [apart from N(PRD2)].
1	1037	N1は/[NP2((を に)が)の]PRD<接続KW>]/VP3.	N1 VP3 [(<複合前置詞G> NP2].
1	1038	N1は/[PRD2*renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [at the expense of N(PRD2)].
1	1039	N1は/[PRD2*renyou]/PRD3.	N1 PRD3 [at the prospect of N(PRD2)].
1	1040	N1は/[PRD2というので]/PRD3.	N1 PRD3 [at the prospect of N(PRD2)].
1	1041	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [by means of N(PRD2)].
1	1042	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [by reason of N(PRD2)].
1	1043	N1は/[PRD2(た)が為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [(by)in virtue of N(PRD2)].
1	1044	N1は/[PRD2事によって]/PRD3.	N1 PRD3 [(by)in virtue of N(PRD2)].
1	1045	N1は/[PRD2(ないように)かもしれないので]/PRD3.	N1 VP3 [for fear of N(PRD2)].
1	1046	N1は/[PRD2ので]/PRD3.	N1 PRD3 [for fear of N(PRD2)].
1	1047	N1は/[PRD2((が)為(に) つもりで)]/PRD3.	N1 PRD3 [for the purpose of N(PRD2)].
1	1048	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [for the sake of N(PRD2)].
1	1049	N1は/[PRD2((う よう)と)]/PRD3.	N1 PRD3 [in an attempt to N(PRD2)].
1	1050	N1は/[PRD2上に]/PRD3.	N1 PRD3 [in addition to N(PRD2)].
1	1051	N1は/[PRD2((う よう)として)]/PRD3.	N1 PRD3 [in an effort of N(PRD2)].
1	1052	N1は/[PRD2((う よう)として(が)為(に))] /PRD3.	N1 PRD3 [in an effort to N(PRD2)].
1	1053	N1は/[PRD2代わりに]/PRD3.	N1 PRD3 [in compensation for N(PRD2)].
1	1054	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [in consequence of N(PRD2)].
1	1055	N1は/[PRD2反面]/PRD3.	N1 PRD3 [in contrast to N(PRD2)].
1	1056	N1は/[PRD2ても]/PRD3.	N1 PRD3 [in defiance of N(PRD2)].
1	1057	N1は/[PRD2代わりに]/PRD3.	N1 PRD3 [in exchange for N(PRD2)].
1	1058	N1は/[NP2を/(止 めて 捨 てて)]/NP3(を 選 ぶ に する).	N1 VP3 [in favor of NP2].
1	1059	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [in (favor favour) of N(PRD2)].
1	1060	N1は/[PRD2(が て ら に)]/PRD3.	N1 PRD3 [in intervals of N(PRD2)].
1	1061	N1は/[PRD2に 従 って]/PRD3.	N1 PRD3 [in proportion to N(PRD2)].
1	1062	N1は/VP2[て/NP3((を に)PRD)].	N1 VP2 [(<複合前置詞G> NP3].
1	1063	N1は/[PRD2て]/PRD3.	N1 PRD3 [in the act of N(PRD2)].
1	1064	N1は/[PRD2((う よう)と(が)為(に))] /PRD3.	N1 PRD3 [in the hope of N(PRD2)].
1	1065	N1は/[PRD2(た く て)]/PRD3.	N1 PRD3 [in the hope of N(PRD2)].
1	1066	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [in the interest(s) of N(PRD2)].
1	1067	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [in preparation for N(PRD2)].
1	1068	N1は/[PRD2(ず)]/PRD3.	N1 PRD3 [in the presence of N(PRD2)].
1	1069	N1は/[PRD2(なら)]/PRD3.	N1 PRD3 [in the way of N(PRD2)].
1	1070	N1は/[PRD2様(に)(は)]/PRD3.	N1 PRD3 [in the way of N(PRD2)].
1	1071	N1は/[PRD2(ので)]/PRD3.	N1 PRD3 [in view of N(PRD2)].

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1072	N1は/[PRD2(たつもりです)]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1073	N1は/[PRD2(ではなく[ずに]代わりに)]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1074	N1は/[PRD2(どころか[より]も)]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1075	N1は/[PRD2(間に[暇に])]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1076	N1は/[PRD2(が)]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1077	N1は/[PRD2(とも)]/PRD3.	N1 PRD3 [instead of N(PRD2)].
1	1078	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [on behalf of N(PRD2)].
1	1079	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [on purpose to N(PRD2)].
1	1080	N1は/[PRD2(て)]/PRD3.	N1 PRD3 [on the basis of N(PRD2)].
1	1081	N1は/[PRD2(と)]/PRD3.	N1 PRD3 [on the rock of N(PRD2)].
1	1082	N1は/[PRD2(ばかりに)]/PRD3.	N1 PRD3 [on the verge of N(PRD2)].
1	1083	N1は/[PRD2(上)]/PRD3.	N1 PRD3 [on top of N(PRD2)].
1	1084	N1は/[PRD2(ほど(に)くらい)]/PRD3.	N1 PRD3 [to the point of N(PRD2)].
1	1085	N1は/[PRD2(て)]/PRD3.	N1 PRD3 [under the weight of N(PRD2)].
1	1086	N1は/[PRD2(つもりで)]/PRD3.	N1 PRD3 [with a view to N(PRD2)].
1	1087	N1は/[PRD2(うようと)]/PRD3.	N1 PRD3 [with an eye to N(PRD2)].
1	1088	N1は/[PRD2(他には)]/PRD3.	N1 PRD3 [with some exceptions to N(PRD2)].
1	1089	N1は/[PRD2(つもりで[うようと])]/PRD3.	N1 PRD3 [with the intention of N(PRD2)].
1	1090	N1は/[PRD2(が)為(に)]/PRD3.	N1 PRD3 [with the purpose of N(PRD2)].
1	1091	N1は/[(VP2<接続KW>)/VP3.	N1 VP3 [(副詞相当表現 G>)].
1	1092	N1は/[VP2 (<接続KW>/VP3)].	N1 VP2 [(副詞相当表現 G>)].
1	1093	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [ahead [NP3]].
1	1094	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [behind [NP3]].
1	1095	N1は/[N2 (を下って[入って]に沿うて)/PRD3].	N1 PRD3 [down N2].
1	1096	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [down [NP3]].
1	1097	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [in [NP3]].
1	1098	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [off [NP3]].
1	1099	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [on [NP3]].
1	1100	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [out [NP3]].
1	1101	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [over [NP3]].
1	1102	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [past [NP3]].
1	1103	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [through [NP3]].
1	1104	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [up [NP3]].
1	1105	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [apart [NP3]].
1	1106	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [away [NP3]].
1	1107	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [back [NP3]].
1	1108	N1は/[PRD2 (て[ながら]と[様]に[renyo])/[NP3を]PRD].	N1 PRD2 [upward [NP3]].
1	1109	[もう]VP1 [(ないと遅くなる)方がいい] [方がいい] [時間だ].	[It is time to] VP1.
1	1110	N1は/[PRD2(て)]/VP3.	[It PRDP2 to] VP3.
1	1111	N1は/[PRD2(なければ)]/VP3(ない)まい).	[It PRDP2 to] VP3.
1	1112	N1は/[PRD2(にも)]/VP3.	[It PRDP2 to] VP3.
1	1113	N1は/[VP2 (ず)様(に)(は)]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1114	N1は/[VP2 (だけで)だけでは]事で]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1115	N1は/[VP2 (て)だけで]ので]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1116	N1は/[VP2 (ても)て]は]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1117	N1は/[VP2 (なんて)よう]では]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1118	N1は/[VP2 ((には)為(には)様(に)(は)]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1119	N1は/[VP2 ((までに)まで(は)]/PRD3.	[It PRD3 to] VP2.
1	1120	N1は/[VP2 (^renyou)/PRD3].	[It PRD3 to] VP2.
1	1121	N1は/[VP2 (が)/PRD3].	[It PRD3 to] VP2.
1	1122	N1は/[VP2 (くらい)/PRD3].	[It PRD3 to] VP2.
1	1123	N1は/[VP2 (にも)/PRD3].	[It PRD3 to] VP2.
1	1124	N1は/[VP2 (方が)/PRD3].	[It PRD3 to] VP2.
1	1125	N1は/[VP2 (ても)て]は]/PRD3.	[It PRD3] VP2^grn.
1	1126	N1は/[VP2 (^renyou)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1127	N1は/[VP2 (こと)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1128	N1は/[VP2 (て)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1129	N1は/[VP2 (とは)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1130	N1は/[VP2 (のと同じ様に)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1131	N1は/[VP2 (のに)/PRD3].	[It PRD3] VP2^grn.
1	1132	[#4[N1が]/VP2(ても)て]は]/PRD3.	[#4[For N1] to VP2] PRD3.
1	1133	[#4[N1が]/VP2(て)]/PRD3.	[#4[For N1] to VP2] PRD3.
1	1134	[#4[N1が]/VP2(なんて)]/PRD3.	[#4[For N1] to VP2] PRD3.
1	1135	N1は/[VP2 (て)は]/PRD3.	N1 [PRD3(= V it CMP) to] VP2^base.
1	1136	N1は/[VP2 (方が)/PRD3].	N1 [PRD3(= V it CMP) to] VP2^base.
1	1137	[CL2(が)から]と[て]は]言え]/N1は/[VP3.	[N(CL2)] (be)V N(N1 VP3).
1	1138	[CL2(だけで)事によって]/N1は/[VP3.	[N(CL2)] (be)V N(N1 VP3).

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1139	[CL2(て[の]で[から]) / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1140	[CL2(と[必ず]いつもきつと決まって)場合(に)(は)時(に)(は)]	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1141	[CL2(と[ば]なら) / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1142	[CL2(^renyou) / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1143	[CL2とは] / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1144	[CL2には] / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1145	[CL2にも] / N1は / VP3,	[N(CL2)] (be V) N(N1 VP3).
1	1146	[VP2だけで] / N1は / VP3,	[The (very mare bare) N(VP2)] be N(N1 VP3).
1	1147	N1は / [NP2[の]こと]なら / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP2].
1	1148	N1は / [VP2(て[から]の]で) / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1149	N1は / [VP2(ば[ても]ては) / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1150	N1は / [VP2(通り(に)ず) / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1151	N1は / [VP2(^renyou) / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1152	N1は / [VP2が] / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1153	N1は / [VP2とて] / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1154	N1は / [VP2なんて] / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1155	N1は / [VP2限り] / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1156	N1は / [VP2方が] / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1157	N1は / [VP2様(に)(は) / PRD3,	N1 VP(PRD3) [NP(VP2)].
1	1158	N1は / 惜しまず / (VP3).	N1 be lavish of [NP(VP3)].
1	1159	PRD1しか / N2は / ない,	N(PRD1) be the only N2.
1	1160	N1は / [PRD*2ことなく] / VP3,	N1 [PRDb2 to] VP3.
1	1161	N1は / [PRD*2て] / VP3,	N1 [PRDb2 to] VP3.
1	1162	N1は / VP2[(て)たくて[の]で] / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1163	N1は / VP2[(て)は[ても]たら] / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1164	N1は / VP2[(様(に)(は)[う]よう)と]つもりで / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1165	N1は / VP2[/ PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1166	N1は / VP2[^renyou / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1167	N1は / VP2[が / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1168	N1は / VP2[ずに / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1169	N1は / VP2[なんて / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1170	N1は / VP2[まで(は) / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1171	N1は / VP2[方が / PRD*3,	N1 [PRDb3 to] VP2.
1	1172	[CL1(て[た]事[の]で) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1173	[CL1(と[ても]ば) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1174	[CL1(と[言]って[も]が) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1175	[CL1(事[に]より[だけ]で[は]だけ) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1176	[CL1(^renyou) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1177	[CL1(なんて) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1178	[CL1(には) / PRD2,	[VP(CL1)^grn] (be V) PRD2.
1	1179	N1は / [PRD*2が] / VP3,	N1 [PRDd2] VP3^grn.
1	1180	N1は / [PRD*2ずに] / VP3,	N1 [PRDd2] VP3^grn.
1	1181	N1は / [PRD*2て] / VP3,	N1 [PRDd2] VP3^grn.
1	1182	N1は / VP2[(て[た]事[の]で) / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1183	N1は / VP2[(ば[て]は[と] / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1184	N1は / VP2[(ほ(に)く(ら)い] / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1185	N1は / VP2[(様(に)(は)[う]よう)と]に / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1186	N1は / VP2[^renyou / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1187	N1は / VP2[から[と]いて / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1188	N1は / VP2[ずに / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1189	N1は / VP2[なんて / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1190	N1は / VP2[に / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1191	N1は / VP2[際(に)(は) / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1192	N1は / VP2[方が / PRD*3,	N1 [PRDd3] VP2^grn.
1	1193	N1は / [VP2(ずに[ま]ま[ま]に) / VP3,	N1 VP3 [C(VP2)].
1	1194	N1は / [VP2て] / VP3,	N1 VP3 [C(VP2)].
1	1195	N1は / VP2[(たら]と) / VP3,	N1 VP2 [C(VP3)].
1	1196	N1は / VP2[て / VP3,	N1 VP2 [C(VP3)].
1	1197	N1は / [VP2(う)よう)と]様(に)(は)為(に)は) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1198	N1は / [VP2(たくて[から]て) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1199	N1は / [VP2(ても]ば) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1200	N1は / [VP2(には)に] / NP3だ,	N1 be NP3 [to VP2].
1	1201	N1は / [VP2た]上で / NP3だ,	N1 be NP3 [to VP2].
1	1202	N1は / [VP2(なんて) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1203	N1は / [VP2(ほど(に) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1204	N1は / [VP2(様に)(は) / PRD3,	N1 PRD3(= V N) [to VP2].
1	1205	N1は / [VP2(にも)に]ために) / (何の手もない) はず術がない 元手	N1 (have can do) nothing to VP2.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1206	N1は/VP2[(て)から]なくて/VP3。	N1 VP2(= V N) [to VP3].
1	1207	N1は/VP2[^renyou/VP3]。	N1 VP2(= V N) [to VP3].
1	1208	N1は/VP2[ずに]VP3。	N1 VP2(= V N) [to VP3].
1	1209	N1は/VP2[たら]VP3。	N1 VP2(= V N) [to VP3].
1	1210	N1は/[VP2(て)から]/PRD3。	(N1 [VP2(^ed ^ing)] [VP2(^ed ^ing)] N1) PRD3.
1	1211	N1は/[VP2(と)ば]では]/PRD3。	(N1 [VP2(^ed ^ing)] [VP2(^ed ^ing)] N1) PRD3.
1	1212	N1は/[VP2^renyou]/PRD3。	(N1 [VP2(^ed ^ing)] [VP2(^ed ^ing)] N1) PRD3.
1	1213	N1は/[VP2が]/PRD3。	(N1 [VP2(^ed ^ing)] [VP2(^ed ^ing)] N1) PRD3.
1	1214	N1は/PRD2[(<接続KW>/PRD3)]。	N1 [(<モダリティG>)] N(PRD2).
1	1215	VP2[(ては)駄目だ]いけません)ないようにしなさい 止した方がい	[Don't] VP2^base.
1	1216	N1は/VP2[(<接続KW>/PRD3)]。	N1 [(<モダリティG>)] VP2^base.
1	1217	N1は/[見たところ]では]/PRD2。	N1 [look (like)] PRD2.
1	1218	N1は/PRD2[(<接続KW>/PRD3)]。	N1 [(<モダリティG>)] CMP(PRD2).
1	1219	N1は/VP2[(て)来る]ままになって いる に至る)]。	N1 VP2^prp.
1	1220	VP2[ようにしなさい (方)が]ばよい)]。	VP2^base.
1	1221	N1は/N2に/NP3を/VP*4て/(聞)かせる]よこす)。	N1 VPg4 N2^obj NP3.
1	1222	N1は/N2に/NP3を/残して/死んだ。	N1 left N2^obj NP3.
1	1223	N1は/N2に/VP*3て/VP4。	N1 VPg3 N2^obj N(VP4).
1	1224	VP2(て)の]だけで/N1は/VP3。	N(VP2) (give leave tell win bring gain earn) N1 N(VP3).
1	1225	VP2(と)必ず]いつも]きつ]と]決ま]て)/N1は/VP3。	N(VP2) (give leave tell win bring gain earn) N1 N(VP3).
1	1226	VP2(と)ば]たら/N1は/VP3。	N(VP2) (give leave tell win bring gain earn) N1 N(VP3).
1	1227	VP2^renyou/N1は/VP3。	N(VP2) (give leave tell win bring gain earn) N1 N(VP3).
1	1228	VP2事]で/N1は/VP3。	N(VP2) (give leave tell win bring gain earn) N1 N(VP3).
1	1229	(誰)の命令]であ]っても]誰]が何]と]言]って]も)/N2は/VP3ない)。	Nobody can (force persuade) N2 to VP3..
1	1230	N1は/N2(を)に]VP*3て/VP4。	N1 VPi3 N2 to VP4.
1	1231	N1は/N2(を)に]VP*3と/VP4。	N1 VPi3 N2 to VP4.
1	1232	N1は/N2(を)に]VP3(様)に]は]う]よう]と)/VP*4。	N1 VPi4 N2 to VP3.
1	1233	N1は/N2(を)に]VP3た]く/VP*4。	N1 VPi4 N2 to VP3.
1	1234	N1は/N2(を)に]VP3と/VP*4。	N1 VPi4 N2 to VP3.
1	1235	N1は/N2(を)に]VP3(様)に]は]/VP*4。	N1 VPi4 N2 to VP3.
1	1236	N1は/N2を/VP3て]は/困]る)。	N1 do not want N2 to VP3.
1	1237	N1は/N2をVP3ま]ま]に]す]る]ま]か]せ]る)。	N1 allow N2 to VP3.
1	1238	N1は/VP2(さ]る]を]得]な]い]よ]り]他]に]仕]方]が]な]い)。	N1 be forced to VP2.
1	1239	N1は/VP3(様)に]は]/VP*4ら]れ]る)。	N1 be VPi4^ed to VP3.
1	1240	N1は/VP3[ら]れ]て/VP4。	N1 be VPi3^ed to VP4.
1	1241	N1は/(気)が]つ]い]行]っ]読]ん]て]み]ると]た]時)/NP2はPRD3。	N1 (found find) NP2 C(PRD3).
1	1242	N1は/N2(を)に]VP*3が/VP4。	N1 VPh3 N2 C(VP4).
1	1243	N1は/N2(を)に]VP*3て/VP4。	N1 VPh3 N2 C(VP4).
1	1244	N1は/N2(を)に]VP*3と/VP4。	N1 VPh3 N2 C(VP4).
1	1245	N1は/N2(を)に]VP*3(様)に]は]/VP4。	N1 VPh3 N2 C(VP4).
1	1246	N1は/N2(を)に]VP3て/VP*4。	N1 VPh4 N2 C(VP3).
1	1247	N1は/N2(を)に]VP3と/VP*4。	N1 VPh4 N2 C(VP3).
1	1248	N1は/N2(を)に]VP3ま]ま]に/VP*4。	N1 VPh4 N2 C(VP3).
1	1249	N1は/N2(を)に]VP3(様)に]は]/VP*4。	N1 VPh4 N2 C(VP3).
1	1250	N1は/VP2て/VP*3。	N1 be VPh3^ed CMP(VP4).
1	1251	N1は/N2(を)に]VP3(て)の]で/VP4。	N1 VP3 N2 C(VP4).
1	1252	N1は/N2(を)に]VP3が/VP4。	N1 VP3 N2 C(VP4).
1	1253	N1は/N2(を)に]VP3ば]か]り]に/VP4。	N1 VP3 N2 C(VP4).
1	1254	N1は/N2が/VP3ま]で]は]/VP4。	N1 VP4 N2 C(VP3).
1	1255	N1は/VP2(て)過]ぎ]て/VP3。	N1 VP2 N1^reflex C(VP3).
1	1256	N1は/VP2(ま]で]は]ど)/VP3。	N1 VP3 N1^reflex C(VP2).
1	1257	N1は/VP2て/VP3。	N1 VP3 N1^reflex C(VP2).
1	1258	N1は/VP2て]は/VP3。	N1 VP2 N1^reflex C(VP3).
1	1259	N1は/N2(を)に]VP*3て/VP4。	N1 VPk3 N2 VP4.
1	1260	N1は/NP2を/VP3(て)置]く]て]ほ]お]っ]て]お]く]ま]ま]に]し]て]お]く)。	N1 (keep leave) NP2 VP3.
1	1261	N1は/VP*3(か]ら]て)/VP4^meirei)。	VPk3 N1 VP2.
1	1262	N1は/VP2と/VP3。	N(VP2) make N1 VP2.
1	1263	N1は/VP2(て)捕]ま]っ]た]見]つ]か]っ]た)。	N1 was caught V2^ing.
1	1264	N1は/VP2(後)以]後)に]は]/VP3。	N(VP2) (force impel compel cause drive) N1 to VP3.
1	1265	N1は/VP2(て)の]で]た]か]が]為]に]/VP3。	N(VP2) (force impel compel cause drive) N1 to VP3.
1	1266	N1は/VP2(と)たら]ば]/VP3。	N(VP2) (force impel compel cause drive) N1 to VP3.
1	1267	N1は/VP2(の]で]て]お]か]げ]で)/VP3。	N(VP2) (enable allow permit) N1 to VP3.
1	1268	N1は/VP2(ば]と]て]も)/VP3。	N(VP2) (enable allow permit) N1 to VP3.
1	1269	N1は/VP2事]によ]っ]て/VP3。	N(VP2) (enable allow permit) N1 to VP3.
1	1270	N1は/VP2(て)の]で]だけ]で/VP3。	NP(VP2) (make get have) N1 C(VP3).
1	1271	N1は/VP2(と)直]く]に]間]も]無]く]途]端]に]さ]っ]そ]く]た]だ]ち]に]て]か]ら	NP(VP2) (make get have) N1 C(VP3).
1	1272	N1は/VP2(と)たら]ば]/VP3。	NP(VP2) (make get have) N1 C(VP3).

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1273	N1は/VP2^renyou/VP3,	NP(VP2) (make get have) N1 C(VP3).
1	1274	N1は/VP2に連れて/VP3,	NP(VP2) (make get have) N1 C(VP3).
1	1275	N1は/VP2(て)だけで(の)で/VP3,	NP(VP2) (make set keep) N1 VP3.
1	1276	N1は/VP2(と)たら ば/VP3,	NP(VP2) (make set keep) N1 VP3.
1	1277	N1は/VP2^renyou/VP3,	NP(VP2) (make set keep) N1 VP3.
1	1278	N1は/VP2に連れて/VP3,	NP(VP2) (make set keep) N1 VP3.
1	1279	N1は/VP2(で)で/VP3できた。	NP(VP2) helped N1 VP3.
1	1280	N1が/VP2で/N3に/V4させない。	N1 VP2 N3 from V4.
1	1281	N1が/VP2ないように/気を/付けなさい。	Protect N1 from VP2.
1	1282	(い)かなる どんな)N1が/あっても/N2は/VP3,	Nothing shall (prevent disable keep discourage hinder) N2 from
1	1283	N1は/N2をVP3ないように/VP4,	N1 VP4 N2 from VP3^grn.
1	1284	N1は/VP2(て)から の)で/VP3(ない)ぬ かねる)。	NP(VP2) (prevent disable keep discourage hinder) N1 from VP3^grn.
1	1285	N1は/VP2(と)て は ば)VP3(ない)ぬ かねる)。	NP(VP2) (prevent disable keep discourage hinder) N1 from VP3^grn.
1	1286	N1は/VP2^renyou/VP3(ない)ぬ かねる)。	NP(VP2) (prevent disable keep discourage hinder) N1 from VP3^grn.
1	1287	N1は/VP2事で/VP3(ない)ぬ かねる)。	NP(VP2) (prevent disable keep discourage hinder) N1 from VP3^grn.
1	1288	N1は/VP2(が)から と って)と 言 つ ても)VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1289	N1は/VP2(て)の)で (た) (が)為 (に))VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1290	N1は/VP2(と)直(ぐ)に 間も無(く) 途端に さ(っ)す(た)だ(ち)に と 必(ず)	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1291	N1は/VP2(と)ば て)も)VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1292	N1は/VP2(に)は (が)為 (に))VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1293	N1は/VP2(事)で だけ)で は だけ)で)VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1294	N1は/VP2(様)に (は)ず な)が)ら)VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1295	N1は/VP2/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1296	N1は/VP2^renyou/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1297	N1は/VP2(を)を/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1298	N1は/VP2(で)で/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1299	N1は/VP2(と)と/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1300	N1は/VP2に連れて/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1301	N1は/VP2(に)に/VP3,	NP(VP2) VP3^cause N1.
1	1302	N1は/(ど)んなに ど)う)VP2(も)PRD3,	VP^base as N1 (might may), N1 PRD3.
1	1303	N1は/AJ2(が)と は)言)え)PRD3,	AJ2 as N1 be, N1 PRD3.
1	1304	N1は/AJ2(から)の)で)PRD3,	AJ2 as N1 be, N1 PRD3.
1	1305	N1は/AJ2(で)も であ)れ)PRD3,	AJ2 as N1 be, N1 PRD3.
1	1306	N1は/AJ2が)PRD3,	AJ2 as N1 be, N1 PRD3.
1	1307	N1は/PRD2(も)の)PRD3,	Much as N1 PRD2, N1 PRD3.
1	1308	N1は/[PRD2(て)の)で)VP3,	N1 [PRD2(so) as to] VP3.
1	1309	N1は/[PRD2(に)も)VP3,	N1 [PRD2(so) as to] VP3.
1	1310	N1は/[VP2(ほど)に ほ)ど(に)は ま)で)に)PRD3,	N1 PRD3 [(so) as to VP2].
1	1311	N1は/[VP2^renyou]PRD3,	N1 PRD3 [(so) as to VP2].
1	1312	N1は/[VP2(な)ん)て)PRD3,	N1 PRD3 [(so) as to VP2].
1	1313	N1は/[VP2(様)に (は))PRD3,	N1 PRD3 [(so) as to VP2].
1	1314	N1は/[ADV2(=ex. と)も)]PRD3(て)の)で)から)CL4,	N1 [PRD3(so) that] CL4.
1	1315	N1は/[ADV2(=ex. と)も)]PRD3(て)は た)ら)CL4,	N1 [PRD3(so) that] CL4.
1	1316	N1は/[ADV2(=ex. と)も)]PRD3^renyou]CL4,	N1 [PRD3(so) that] CL4.
1	1317	N1は/[ADV2(=ex. と)も)]PRD3(に)も)CL4,	N1 [PRD3(so) that] CL4.
1	1318	N1は/[CL2(ほ)ど(に) く)ら)い)PRD3,	N1 PRD3 [(so) that CL2].
1	1319	N1は/[CL2(様)に (は)ず)]PRD3,	N1 PRD3 [(so) that CL2].
1	1320	N1は/[PRD2(て)の)で)VP3,	N1 [PRD2(such) as to] VP3.
1	1321	N1は/[VP2(ほ)ど(に) PRD3,	N1 PRD3(such) [as to VP2].
1	1322	N1は/[CL2(ほ)ど(に) く)ら)い)PRD3,	N1 PRD3 [(such) that CL2].
1	1323	N1は/[PRD2(の)で)から)て)CL3,	N1 [PRD2(such) that] CL3.
1	1324	N1は/[PRD2^renyou]CL3,	N1 [PRD2(such) that] CL3.
1	1325	N1は/[PRD2(て)は)CL3,	N1 [PRD2(such) that] CL3.
1	1326	N1は/PRD2(て)過)ぎ)て)から)VP3ない,	N1 PRD2(too) to VP3.
1	1327	N1は/PRD2^renyou/VP3ない,	N1 PRD2(too) to VP3.
1	1328	N1は/VP2((う)よ)う)と)/AJ3[過)ぎ)る],	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1329	N1は/VP2(て)は/AJ3[過)ぎ)る],	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1330	N1は/VP2(な)い)ほ)ど)PRD3,	N1 PRD3(too) to VP2.
1	1331	N1は/VP2(に)は/AJ3[過)ぎ)る],	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1332	N1は/VP2(ほ)ど(に)/AJ3[過)ぎ)る],	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1333	N1は/VP2(場)合)に (は)/AJ3[過)ぎ)る],	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1334	N1は/い)く)つ)に)な)つ)て)も)VP2(こ)は)あ)る,	N1 be never too old to VP2.
1	1335	VP1(な)ん)て)/N2は/AJ3,	N2 be too AJ3 to VP1.
1	1336	N1は/PRD2(て)過)ぎ)て)から)VP3ない,	N1 PRD2(too) for VP3.
1	1337	N1は/PRD2^renyou/VP3ない,	N1 PRD2(too) for VP3.
1	1338	N1は/PRD2(て)は)VP3ない,	N1 PRD2(too) for VP3.
1	1339	N1は/VP2(も)も/AJ3[過)ぎ)る]ない)ぬ),	N1 be too AJ3 to VP2.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1340	N1は/VP2ないほど/AJ3.	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1341	N1は/VP2には/AJ3(過ぎる ない ぬ)。	N1 be too AJ3 to VP2.
1	1342	N1が/VP2(と直ぐに ない 内に)/CL3.	N1 had (hadly no sooner scarcely) VP2^ed (than before when) CL3.
1	1343	N1が/AJ2ように/N3は/N4に/AJV5.	N3 be as AJ5 to N4 as N(AJ2) is to N1.
1	1344	N1が/VP2ように/N3は/ましが なく/VP4.	N3 VP4, as sure as N1 VP2.
1	1345	N1がVP2のと/同様に、/N3も/VP2.	Just as N1 VP2, so does N3.
1	1346	N1は/(AJ2 NP2)でもあり(AJ3 NP3)でもある。	N1 be as (AJ3 NP3) as (AJ2 NP2).
1	1347	N1は/(いくら 幾ら 幾等)でも/NP2をN3にVP4で/上げる。	N1 will VP4 as many NP2 as N3 can.
1	1348	N1は/(いくら 幾ら 幾等)でも/NP2をVP3で/いい。	N1 can VP3 as many NP2 as N1 like.
1	1349	N1は/(できるだけ なるべく)PRD2ように/(する 努める 気をつけ	N1 PRD3(as) as (possible N1 can).
1	1350	N1は/(できるだけ なるべく)PRD2ように/VP3.	N1 PRD3(as) as (possible N1 can).
1	1351	N1は/AJ2が/それだけに/AJ3.	N3 be as AJ4 as N1 be AJ2.
1	1352	N1は/AJ2というより/むしろ/AJ3.	N1 be not so much AJ2 as AJ3.
1	1353	N1は/AJ2ようで/AJ2.	N1 be not so AJ2 as N1 seems.
1	1354	N1は/N2(に劣らず と変わらず)/AJ3.	N1 be as AJ3 as N2.
1	1355	N1は/N2が/VP3くらい/AJ4.	N1 be as AJ4 as N2 VP3.
1	1356	N1は/N2がVP3(ほど だけ)/PRD4.	N1 PRD4((as so)) as N2 VP3.
1	1357	N1は/N2と同じくらい/ADV3VP4.	N1 V4 as ADV3 as N2.
1	1358	N1は/N2と同じように/AJ3.	N1 be as AJ3 as N2.
1	1359	N1は/N2の/V3ように/AJ4.	N1 be as AJ4 as N2 V3 N1 be.
1	1360	N1は/N2も/AJ3/代わり/N4も/AJ3.	N1 have as AJ3 N4 as N2.
1	1361	N1は/N2も/AJ3が/N4も/AJ3.	N1 have as AJ3 N4 as N2.
1	1362	N1は/N2を/VP3くらい/AJ4する。	N1 make N2 as AJ3 as N1 VP4.
1	1363	N1は/NP2(に と)比べ(てると)/PRD3.	N1 PRD3(as) as NP2.
1	1364	N1は/NP2でもあるが/また/AJ3.	N1 be as NP3 as N1 be AJ2.
1	1365	N1は/NP2というの/N3は/NP4.	N3 be as NP4 as N1 be NP2.
1	1366	N1は/NP2を/可能な/かぎり/AJ3する。	N1 V(AJ4)(as) as N1 can.
1	1367	N1は/PRD2だが/N3は/さほどでもない。	N3 be not so PRD2 as N1 would suggest.
1	1368	N1は/PRD2だが/N3は/正反対に/PRD4.	N1 be as PRD2 as N3 be PRD4.
1	1369	N1は/VP2くらいなら/VP3.	N1 would as VP3 as VP2.
1	1370	N1は/VP2ように/AJ3.	N1 be as AJ3 as N2.
1	1371	N1は/VP2より/AJ3.	N1 be as AJ3 as VP2^grn.
1	1372	N1は/VP2限り/PRD3VP4.	N1 VP3 as PRD3 as (possible N1 can N1 permit).
1	1373	N1は/この/上も無く/AJV2.	N1 be as AJ2 as can be.
1	1374	N2は/N1が思うように/V3ない。	N2 V3.not as well as N1 would like.
1	1375	NP1は/N2ではなく、/N3に/N4がある。	N4 in N1 be not so much N2 as N3.
1	1376	NP1は/N2に/あらずして/N3に/ある。	N1 lie not so much in N2 as in N3.
1	1377	[CL1(の で から て か え て 一層 なおさら それだけ)]/CL2.	CL2 [all the (more better) (because CL1((for because of) N(CL1)))].
1	1378	N1は/N2(に と)比べ(てると)/PRD3(ex. Nが落ちる、Nが低い)。	N1 be inferior to N2.
1	1379	N1は/N2に/勝るとも劣らない。	N1 be inferior to N2.
1	1380	N1は(NP2は 扱置いて PRD2(どこ か ばかり か))/(NP3もV4ない	N1 (V4.not NP3 PRD3.not), let alone (NP2 PRD2).
1	1381	N1は/VP2(くらいなら よりは なら)/VP3(たい ほう が よい 方がまし	N1 (may might) as well VP3 as VP2.
1	1382	N1は/VP2方が/(よ き そう だ 宜 しか ろう)。	N1 (may might) as well VP2.
1	1383	N1は/VP2(が それでも が やはり い けれども にもか かわ らず ても	N1 be none the AJ(PR3)^er for N(VP2).
1	1384	N1は/VP2(が それでも が やはり い けれども にもか かわ らず ても	N1 VP3 none the less for N(VP2).
1	1385	[N1(以外なら を除き)]/CL2.	CL2 [other than N1].
1	1386	N1は/VP2([より 他 [に] 以外に)/[N3が]/ない。	N1 (have no N3 can't do) other than N(VP2).
1	1387	N1は/VP2([より 他 [に] 以外に)/[N3が]/ない。	There is no N3 other than to VP2.
1	1388	N1を 措いて 他に/N2はいない。	No one other than N1V(N2).
1	1389	N1は/VP2(くらいなら よりは なら)/VP3(たい ほう が よい 方がまし	N1 would rather VP3 than VP2.
1	1390	N1は/VP2でも/VP3たくない。	N1 would rather VP2 than VP3.
1	1391	N1は/PRD2を 通り 越して/PRD3.	N1 PRD3 rather than PRD2.
1	1392	N1は/VP2(くらいなら よりは なら)/VP3(たい ほう が よい 方がまし	N1 VP3 rather than VP2.
1	1393	N1は/VP2(どこ か という よりは [の] ではなく なく ても)/VP3.	N1 VP3 rather than VP2.
1	1394	N1は/VP2(ただ け て な あ)/(AJ3 AJV3)[なった]。	N1 be the AJ3^er for N(VP2).
1	1395	N1は/VP2(ただ け て な あ)/(AJ3 AJV3)[なった]。	N1 be the AJ3^er for VP2^grn.
1	1396	N1は/VP2(くらいなら よりは なら)/VP3(たい ほう が よい 方がまし	N1 would prefer N(VP3) to N(VP2).
1	1397	N1が/N2を/V3で 余り ある。	N1 more than V3 N2.
1	1398	N1が/PRD2と同様/N3も/PRD2.	N1 no more PRD3 than N3.
1	1399	N1が/VP2ほど/VP3.	N1 be more than N(VP2).
1	1400	N1が/思っていた(ほど 程)/N2は/N3では(ない 無い)。	N2 be less of N3 than N1 thought.
1	1401	N1なら/REN2/馬鹿な/まねは しない。	N1 know better than to do something like AJ2.
1	1402	N1には/N2が/(有 り 余 る 掃 いて 捨 てる)ほど/ある。	N1 have more than enough N2.
1	1403	N1は/(VP2ない NP2に 困 る)ほど/N3(が を)/V4.	N1 V4 more N3 than N1 V(VP NP)2.
1	1404	N1は/(こ う 見 えて も 見 か け によ らず)/PRD2.	N1 PRD2(= - AJ^er) than N1 look.
1	1405	N1は/(こ う 見 えて も 見 か け によ らず)/PRD2.	N1 PRD2^er than N1 look.
1	1406	N1は/(今 ま で に いつ に)なく/PRD2.	N1 be more AJ(PR2) than ever.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1407	N1は//VP2つもりで言うのではない。	Nothing is farther from N1^poss intention than to V2.
1	1408	N1は/AJ2(どこか というより むしろ)/AJ3,	N1 be more AJ3 than AJ2.
1	1409	N1は/N2(に と)比べ(てると たら)/AJ3,	N1 be AJ3 than N2.
1	1410	N1は/N2が/V3より/AJ4,	N1 be AJ4^er than N2 V3.
1	1411	N1は/N2と/同じように/AJ3,	N1 be no less AJ3 than N2.
1	1412	N1は/N2と/同じように/PRD3,	N1 be no more PRD3 than N2.
1	1413	N1は/N2に/N3では/勝るとも劣らない。	N1 be not less AJ(N3) than N2.
1	1414	N1は/N2に/劣らず/AJ3,	N1 be no less AJ3 than N2.
1	1415	N1は/N2の/ことが/死ぬほど/AJV3,	N1 V(AJV3) N2 better than anything in the world.
1	1416	N1は/N2は/(悪い わるい 悪い 悪い)が/N3は/それほどではない	N1 N2 be worse than N3.
1	1417	N1は/N2より/AJ3が、/それほどの/違いは/無い。	N1 be not AJ3 than N2 by much.
1	1418	N1は/NP2と同様/PRD3,	N1 be no AJ(PRD3)^er than NP2.
1	1419	N1は/PRD2と同様/PRD3,	N1 be no AJ(PRD3)^er than AJ(PRD2).
1	1420	N1は/PRD2にはならぬ/却って/PRD3,	N1 PRD3^er than PRD2.
1	1421	N1は/VP2(くらい よりは よりは)なら/VP3(たい ほうがよい)方がまし	It is better to VP2 than VP3.
1	1422	N1は/VP2が、/全く/N3なんて/ものでは/無い。	N1 VP2, worse than N3.
1	1423	N1は/VP2だけでは/足りない。	N1 deserves more than N(V2).
1	1424	N1は/VP2できない(ほど くらい)/N3(が を)VP4,	N1 VP4 more N3 than N1 can VP2.
1	1425	N1は/多すぎて/N2は/V3,	N1 be more than N2 can V3.
1	1426	N1も/PRD2が/N3の/方が/一層/PRD2,	N1 be not more PRD2 than N3 be.
1	1427	N1を/おいて/N2は/ない。	There is no better N2 than N1.
1	1428	NP1でも/PRD2よりは/ました。	N1 be better than N(PRD2).
1	1429	NP1には/N2も/多かったが/それ以上に/N3に/恵まれていた。	N1 have had more N(ADV3) than N2 in N1.
1	1430	NP1は/N2も/あるが、/N3の/方が/多い。	N1 have more N3 than N2.
1	1431	NP1は/NP2ではなくて/AJ3,	NP1 be much more AJ3 than NP2.
1	1432	VP1には/N2が一番だ。	Nothing is better than N2 than to VP1.
1	1433	VP1ほど/AJ2/N3は/無い。	Nothing can be AJ2^er than to VP1.
1	1434	VP2ないで/VP3^meirei,	It is better to VP3 than VP2.
1	1435	N1が/AJ2(ほど ばそれだけ と)/N3も/PRD4,	The AJ2^er N1, the AJ(PRD4)^er N3.
1	1436	N1が/AJ2ばAJ2ほど/N3も/PRD4,	The AJ2^er N1, the AJ(PRD4)^er N3.
1	1437	N1が/VP2につれて ば、/N3(も が)/VP4,	The AJ2^er N1 VP2, the AJ4^er N3 VP4.
1	1438	(たとえ 仮令)/N1であろうと/CL2,	N1 or no, CL2.
1	1439	N1は/N2N3(を問わず にこだわらず)/VP4,	N1 VP4, N2 or N3.
1	1440	N1は/PRD2(が renyo)/N3は/PRD4ない。	N1 PRD2, nor (do be) N3 PRD4.
1	1441	NP1は/PRD2(もなく でもなければ ない し ず)/PRD3(もない し な	N1 neither PRD2 nor PRD3.
1	1442	N1は/AJ2でAJ3,	N1 be both AJ2 and AJ3.
1	1443	N1は/N2もV3(した 上に)/N4(も まで)V3,	N1 V3 both N2 and N4.
1	1444	N1は/N2もVP3(ば し)/N4もVP3,	N1 VP3 either N2 or N4.
1	1445	N1は/VP2たり/VP3たりする。	N1 either VP2 or VP3.
1	1446	一つには/CL1(^shuushii)/(二つには また)/CL2,	For one thing, CL1; for another (thing), CL2.
1	1447	N1は/N2を/止して/N3に/した。	N1 decided not to take N2, but to take N3.
1	1448	N1は/NP2であって/NP3ではない。	N1 be not NP3 but NP2.
1	1449	N1は/NP2ではなく/NP3,	N1 be not NP2 but NP3.
1	1450	N1は/PRD2(では ありません ではない ない)、/PRD3,	N1 (never do not be not) PRD2 but PRD3.
1	1451	N1は/PRD2(ではなく の ではなく)/PRD3,	N1 (never do not be not) PRD2 but PRD3.
1	1452	N1は/PRD2(なくとも なくとも)、/PRD3,	N1 (never do not be not) PRD2 but PRD3.
1	1453	N1は/PRD2ばかりでなく/PRD3,	N1 (never do not be not) PRD2 but PRD3.
1	1454	N1は/VP2(=NはV)が/VP3(=NはV)。	N1 (never do not be not) VP2 but VP3.
1	1455	N1は/VP2ないで/VP3,	N1 (never do not be not) VP2 but VP3.
1	1456	VP2(と て)は/かえて/N1の/利益に/ならぬ。	N1 be acting, not for, but against, N1 interests.
1	1457	N1は/N2は しないが/N3もしない。	N1 do not VP2 neither will N1 VP3.
1	1458	一方では/NP1が/PRD2/また一方では/NP3が/PRD2,	NP1 PRD2 on one hand and NP2 on the other.
1	1459	N1が/V2様に/N3は/V4,	As N1 V2, so does N3 V4.
1	1460	N1がV2(と に連れて)/N3(は も)V4,	As N1 V2, so does N3 V4.
1	1461	N1がV2(と に連れて)/N3(は も)V4,	As N1 V2, so N3 V4.
1	1462	N1に呼応してN2はV3,	As N1 V3, so does N2.
1	1463	V2たら、今度はN1がV3,	As N1 V2, so will N3 V3 in turn.
1	1464	こんなに/AJ1N2が/いる/のに、/N3は/AJ4,	So AJ1 N2, AJ4 N3.
1	1465	NP1も/(い れば も あり も いた し)、/NP2も(い る)ある。	Some V(NP1), others V(NP2).
1	1466	或いは/NP1とし/或いはNP2,	Some V(NP1), others V(NP2).
1	1467	一部の人が/VP2一方/他の者がVP3,	Some VP1, others VP2.
1	1468	N1は/N2は/(扱 置いて 愚 か)/N3も/VP4,	N1 VP4 N3, not to (speak of mention say) N2.
1	1469	N1は/NP2とは 言 わ ない まで/PRD3,	N1 PRD3, not to (speak of mention say) NP2.
1	1470	N1は/AJV2かと/思うと/また/AJ3,	N1 be now AJ2, now AJ3.
1	1471	N1と同様に/N2も/PRD3,	N2 as well as N1 PRD3.
1	1472	N1は/N2(と同様のみでなく)/N4もV3,	N1 V3 N2 as well as N4.
1	1473	N1は/N2もPRD3(し が)/N4(も まで)PRD3,	N1 PRD3 N2 as well as N4.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1474	N1は/NP2(でもありだけでなく)/NP3でもある。	N1 be as NP3 as NP2.
1	1475	N1は/PRD2(と同時に)と共に同じように、(又)その上 さら	N1 PRD2 as well as PRD3.
1	1476	N1は/N2であり、/又/N3でもある。	N1 be N3 not only N2.
1	1477	N1は/N2もVP3(ば)し/N4もVP3。	N1 VP3 not only N2 but N4.
1	1478	N1は/PRD2ばかりでなく/PRD3。	N1 not only PRD2 but also PRD3.
1	1479	N1は/VP2どころか、/VP3。	N1 not only VP2, but (also) VP3.
1	1480	N1は/VP2ばかりしていないで/VP3。	N1 not only VP2, but (also) VP3.
1	1481	[CL1(の)で から]/VP2^meirei,	V2 [, and CL1].
1	1482	[VP1(ば)たら と]/CL2。	[V1, and] CL2.
1	1483	[VP1(なければ)ない と]/CL2。	[V1, or] CL2.
1	1484	N1は/NP2(が)からでないと/V3ない。	N1 be AJ(V3) (by from) NP2 only.
1	1485	N1は/NP2(が)でないと/V3ない。	N1 be AJ(V3) (by from) NP2 only.
1	1486	N1は/いつに/なっても/V2。	N1 never V2.
1	1487	N2は/(いつ)何度/V3でも/(良い)飽きない 平気だ。	N never (tire of worse for) V3 N2.
1	1488	(いくら)何を どんなに 誰が/VP1でも/N2(は)を/V3ない。	(No Nothing No amount of Nobody) NP(VP1) V3^cause N2.
1	1489	N1が/N2何て/とんでもない。	N1 is no N2.
1	1490	N1でもなければ/VP2ものではなかった。	Nothing short of N1 could VP2^cause.
1	1491	NP1なら、/VP2は/しない。	No NP1 would VP2.
1	1492	N1は/NP2が/無い限り、/VP3。	N1 never VP2 without N(VP3).
1	1493	N1は/VP2(ば)と(必ず)いつも/VP3。	N1 (never cannot) VP2 without VP3^grn.
1	1494	N1は/VP2ことなしに/VP3ことはできない。	N1 never VP3 without N(VP2).
1	1495	N1は/VP2でから/V3。	N1 do not start N(V3) without V2.
1	1496	N1は/VP2と/VP3ずにはいられなかった。	N1 never VP2 without N(VP3).
1	1497	N1は/VP2なければ/VP3ない。	N1 never V3 without V2.
1	1498	N1は/VP2(ざるを得ぬ)ないではいられない。	N1 cannot but VP2.
1	1499	N1は/N2を見ると/何でも/V3。	N1 can not help N1^reflex from V3^grn N2.
1	1500	N1は/VP2(ざるを得ぬ)ないではいられない (より)で 仕方がない	N1 cannot help VP2^grn.
1	1501	N1は/VP2には/(NP3は欠かせない) VP3なくてはならない。	N1 cannot VP2 without VP3^grn.
1	1502	NP1は/VP2ば/(NP3を免れない) VP3に決まっている。	N1 cannot VP2 without (NP3 VP3^grn).
1	1503	N1は/VP2と/N3ばかり/する。	N1 never VP2 but N1 V(N3).
1	1504	N1は/N2を/忘れないでやる。	N1 never fail to V(N2).
1	1505	VP2と必ず/N3が/VP4。	NP(VP2) never fails to VP4^cause N3.
1	1506	N1が/VP2/ときは/たいてい/N3が/ある。	N1 seldom VP2 without N3.
1	1507	N1は/必ず/VP2で/VP3ことにしている。	N1 VP2 without fail to VP3.
1	1508	PRD1(から)といつても/必ず[しも]/PRD2とは限らぬ。	N(PRD1) (do be) not always PRD2.
1	1509	N1は/VP2(より)仕方がない (より)[他][N3が]無い しか[N3は]な	(There is no other way but to N1 have no N3 but to) VP2.
1	1510	N1は/(NP2でないと) VP2ないと/VP3ない。	Nothing but N(VP2 NP2) can VP3.
1	1511	N1は/VP2だけで/何も/できない。	N1 can do nothing but VP2.
1	1512	N1は/何を/V2でも/VP3。	N can VP3 nothing.
1	1513	N1は/(どんなに 幾ら)VP2でも/(困る)ことはない VP2過ぎることは	N1 cannot VP2 (enough too much).
1	1514	(いくら)VP2(たら)ば ても/きりが無い。	There is no (end limit) to N(V2).
1	1515	N1は/VP2(にも)の ために)/(何)の手も無い はず術がない 元手	There is nothing N1 can do to VP2.
1	1516	N1は/VP2とは/冥利に尽きる。	There is nothing that could make N1^obj happier than to VP2.
1	1517	N1は/VP2なんて/まっぴらだ。	There is no way N1 would ever VP2.
1	1518	VP1[より]ほかは/無い。	There is (nothing for it but no other way than) to VP1.
1	1519	VP1には/及ばない。	There is no need to VP1.
1	1520	VP2でも/(駄目だ)むだだ 仕方がない。	There is no (use sense) VP2^grn.
1	1521	VP2ば/いい。	There is no need to VP2.
1	1522	何があっても/N1は/VP2ない。	There is nothing on earth that could make N1 VP2.
1	1523	N1(が)を/V2ないように 様に/しなさい。	keep N1 AJ(V2)^(反対語)。
1	1524	N1を/V2では困る。	keep N1 AJ(V2)^(反対語)。
1	1525	NP1は/忘れずに/VP2。	N1 (remember make a mental note) to VP2.
1	1526	N1が/VP2たびに/N3はVP4。	Every N(VP2) VP4^cause N3.
1	1527	N1が/VP2たびに/N3はVP4。	N1 VP3 (at on for) every N(VP2).
1	1528	N1は/NP2と/見ると/VP3。	N1 V3 to every NP2 N1 meet.
1	1529	N1は/NUM2も/(残さ)の が 欠け)ずに/VP3。	N1 VP3 every N2.
1	1530	N1は/どう/VP2でも/仕方がない。	N1 (deserve merit) every N(V2).
1	1531	NP1なら/PRD2。	Every N1 PRD2.
1	1532	どうみても/V2。	N1 see every prospect of N(V2).
1	1533	どんなNP1でも/PRD2。	Every bit of NP1 PRD2.
1	1534	(何を)いくら あんなに あれ程)VP2(にも)ても/PRD3。	all N(VP2) PRD3.
1	1535	N1は/一人残らず/VP2。	All N1 VP2.
1	1536	N1を/問わず、/N2は/PRD3。	N2 of all N1 PRD3.
1	1537	N1は/VP2より(ほか)ほかに(仕方がない) 能が無い。	All N1 can do is to VP2.
1	1538	VP1には/VP2だけだ。	All that is required is to VP2 to VP1.
1	1539	N1は/VP2(ば)だけで(いい) 結構です。	All N1 have to do is to VP2.
1	1540	N1は/いつ/(見ても)行っても/PRD2。	N1 always PRD2.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1541	(どの/N1でもいくらでも/何でも)/(よい 宜しい 構わない)から	VP2^base (any N1 any sum anything).
1	1542	(誰 だれ どいつ どちら どっち どなた)が/VP2でも/おかしくない。	Anyone could VP2.
1	1543	N1は/(いくら 幾ら 幾等)/VP2(ても)でも/VP3ない。	N1 VP3.not any N(VP2).
1	1544	N1は/NP2なら誰でも/PRD3,	N1 PRD3 any NP1.
1	1545	N1は/いつ/V2でも/よしい。	N1 can V2 any time.
1	1546	NP1だったらなんでも/PRD2。	Any NP1 PRD2.
1	1547	NP1以後であればいつでも/N2に/都合がよい。	Any time after NP1 will suit N2^obj.
1	1548	いつでも/好きな時に/V2,	VP2 any old time.
1	1549	N1は/N2の(ほかなら ほかのことなら)/何でもV3,	N1 V3 anything but N2.
1	1550	N1は/どう(見ても 評しても)/N2とは言えない。	N1 is anything but N2.
1	1551	N1は/何でも/V2が/N3(だけ ばかりは)(V2ない ご免だ まっぴら	N1 will V2 anything but N3.
1	1552	N2と/呼ぶには/ほど遠い。	N1 be anything but N2.
1	1553	どこへでも/V2が/NP3へだけは/まっぴらだ。	N would V2 anywhere but NP3.
1	1554	N1は/V2たびに/V3,	N1 VP3 (at on for) each N(VP2).
1	1555	(どっち どちら)の/N1を/行っても/V3,	Either N1 will VP3^cause .
1	1556	(どっち どちら)の/N2でも/いいから/V3^meirei,	VP3 either N2.
1	1557	N2と/いえども/V3,	Even N2 V3.
1	1558	VP1だけでも/NP2,	Even V1^grn be N2.
1	1559	どんなにPRD2でも/V3,	Even N(PRD2) V3.
1	1560	N1は/誰かれ構わず/V2,	N1 VP2 every Tom.
1	1561	(どんな人 どんな物)でも/V2,	(Everyman Everything) VP2.
1	1562	(どこ 何処)(まで へ)/V2でも/CL3,	CL3 everywhere (I we you) V2.
1	1563	N1が/N2なんて/とんでもない。	N1 be the last person you could call AJ(N 2).
1	1564	N1にも/似合わず/NP2がある。	NP2 be the last thing I expected of N1.
1	1565	N1に限って/V2ない。	N1 be the last person to V2.
1	1566	N1は/(全滅する最後の1人になる)まで/V2,	N1 VP2 to the last man.
1	1567	N1は/1人残らず/V2,	N1 VP2 to the last man.
1	1568	N1は/NP2には及ばないが/それに一番近い。	N1 is the next best thing to N2.
1	1569	N1者は/N2を/入れて/NUM3でした。	NUM3 V(N1), N2 among the (rest number).
1	1570	NUM1/PRD2(て renyou)が/N3も/その/一人だ。	NUM1 PRD2, N3 among the (rest number).
1	1571	N2を/V3なければ/いけない。	N2 need V3^ing.
1	1572	N1を/(行く 上がる 下る 通る 登る 開ける)と/N2(がある に通じる)	N1 (lead open) to N2.
1	1573	N1は/N2から/(歩い 走っ)(て)ても/TIME3です。	N1 be N3' (walk run) from N2.
1	1574	N2から/TIME3(歩け 走れ)ば/N1に着く。	N1 be TIME3^poss (walk car ride) of N2.
1	1575	N1は(AJ2ては AJV2は)/いられないはずだ。	How can N1 remain (AJ2 AJV2)?
1	1576	NP1などと/言ってみて/何になる。	What price N1?
1	1577	VP2(ても たつて)/(しかたがない しょうがない 何にもならない 何	What is the use of VP2?
1	1578	VP2で/何になる。	What is the use of VP2?
1	1579	いつになったら/V2だ。	When will you VP1?
1	1580	N1は/NP2で/V3,	N2, N1 V3.
1	1581	N1は/NP2と/対照して/V3,	N1 VP3 contra N2.
1	1582	N1は/どこから/見ても/N2.da,	N1 be N2, every inch of N.
1	1583	VP1なくて/結構です。	Do not bother to V1.
1	1584	お願いですから/CL1,	CL1, please.
1	1585	どう/あつても/CL1,	On no consideration CL1^(倒置).
1	1586	一人一人を比べると、/CL1,	Man for man, CL1.
1	1587	CL1[(が もの)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1588	CL1[(から ので)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1589	CL1[(ても と)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1590	CL1[(ないで renyou)ではなく]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1591	CL1[(には 様(に) は)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1592	CL1[、]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1593	CL1[が]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1594	CL1[だけで]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1595	CL1[て]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1596	CL1[てから(は)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1597	CL1[どこるか]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1598	CL1[ないで]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1599	CL1[なく]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1600	CL1[なんて]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1601	CL1[のか]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1602	CL1[(て から ので)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1603	CL1[(ても ては ば)]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1604	CL1[(ないで renyou)ではなく]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1605	CL1[、]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1606	CL1[が]/CL2,	CL1[.] CL2.
1	1607	CL1[ずに]/CL2,	CL1[.] CL2.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
1	1608	CL1[だけで]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1609	CL1[^renyou ないで]/CL2,	CL1[---] CL2.
1	1610	CL1[から て]/CL2,	CL1[---] CL2.
1	1611	CL1[ば]/CL2,	CL1[---] CL2.
1	1612	CL1[^renyou のではなく ず]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1613	CL1[くらい]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1614	CL1[ず]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1615	CL1[て]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1616	CL1[の で]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1617	CL1[から の で]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1618	CL1[ず ではなく]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1619	CL1[,]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1620	CL1[^renyou]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1621	CL1[が]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1622	CL1[が]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1623	CL1[^renyou ないで の ではなく]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1624	CL1[から て の で]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1625	CL1[でも なら て は]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1626	CL1[,]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1627	CL1[が]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1628	CL1[し , (次に その上)]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1629	CL1[なく]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1630	CL1[ばかり で]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1631	CL1[ほど (に)]/CL2,	CL1[:] CL2.
1	1632	N1は/[PRD2[の]でなく ないで]/PRD3,	N1 PRD3[, not PRD2].
1	1633	N1は/PRD2[の]であって であり で]/PRD3ではない],	N1 PRD2[, not PRD3].
1	1634	N1は/PRD2[^renyou]/PRD3,	N1 PRD2[,] PRD3.
1	1635	N1は/PRD2[て]/PRD3,	N1 PRD2[,] PRD3.
1	1636	N1は/PRD2[という か]/PRD3,	N1 PRD2, [I mean,] PRD3.
1	1637	CL1[ば なら と]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1638	CL1[^renyou]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1639	CL1[だけ (に)]/CL2,	CL1[,] CL2.
1	1640	[(申し 訳ありません が お気の毒 ですが 残念 ながら)]/CL1,	(I am We are) sorry CL1.
1	1641	[(申し 訳ありません が お気の毒 ですが 残念 ながら)]/VP1,	(I am We are) sorry to VP1.
1	1642	CL1[(て ^renyou ず)すみません 申し 訳ありません 残念 だ],	(I am We are) sorry CL1.
1	1643	VP1[(て ^renyou)すみません 申し 訳ありません],	(I am We are) sorry for VP1^grn.
1	1644	VP1[(て ^renyou)ありがとうございます 感謝 します],	(I am We are) thank you for VP1^grn.
1	1645	VP1[(て ^renyou)ありがとうございます 感謝 します],	(I am We are) thank you to VP1.
1	1646	N1は/NP2が/PRD3^rentai/ところへ/(行った 来た),	N1 found NP2 CMP(PRD3).

<付属資料2> グループラベル一覧[文種別3]

(1) グループラベルで用いる変数、記号一覧

	表記	説明
1	PRD	述部 (VP, AJP, AJVP, NPだ)、Predicateの略(PREDは長いので、PRDにしている。)
2	MDF	修飾要素、modifierの略
3	CMP	補語、complimentの略、(C一文字では弊害がありそうなのでCMPにしている。)
4	PP	前置詞句
5	CPP	複合前置詞句
6	~	特にどのような要素がきても良いことを示す。ANYを用いてもよいが、分かりやすくするため”~”にしている。
7	< 表記 >	[接続KW][モダリティG]などグループラベル中で、文法的なグループを指定する際に日本語のラベルに[]を付与して使用する。
8	変数(=)	変数内部の構造を指定する。日英共に使用。(ex. VP(= V N))
9	{ }	字面の表現そのものが重要な箇所を示す。日本語側では([格助詞]PRD[接続KW])のように文法的な構造を記述した範囲を指定し、対応する英語では ([複合前置詞G]) ([副詞相当表現G])のように字面表現リストのグループ名を指定する。

(2) 制約付き英語用言の記述一覧

	表記	説明	使用骨格例
1	Va, PRDa	That節をとる動詞である。	~ Va that CL
2	Vb, PRDb	to不定詞をとる動詞である。	~ Vb to V^base
3	Vc, PRDc	原形不定詞をとる動詞である。	~ Vc V^base
4	Vd, PRDd	動名詞をとる動詞である。	~ Vd V^grm
5	Ve, PRDe	補語をとる動詞である。	~ Ve 補語
6	Vf, PRDf	疑問節をとる動詞である。	~ Vf when ~
7	Vg, PRDg	SVOO構文をとる動詞である。	~ Vg N[DO] N[IO]
8	Vh, PRDh	SVOC構文をとる動詞である。(C=形容詞、名詞、句)	~ Vh N[O] (N AJ 句)[C]
9	Vi, PRDi	SVOC構文をとる動詞である。(C=to不定詞)	~ Vi N[O] to V^base
10	Vj, PRDj	SVOC構文(知覚構文)をとる動詞である。(C=動詞原形、分詞)	~ Vj N[O] (V^base V^ing V^ed)
11	Vk, PRDk	SVOC構文(使役構文)をとる動詞である。(C=動詞原形、分詞)	~ Vk N[O] (V^base V^ing V^ed)
12	VI, PRDI	“~ V ~ as ~”という骨格をとる。(ex. consider)	~ VI ~ as ~
13	Vm, PRDm	“~ V ~ for ~”という骨格をとる。(ex. search)	~ Vm ~ for ~
14	Vn, PRDn	“~ V ~ from ~”という骨格をとる。(ex. prevent)	~ Vn ~ from ~

(3) グループラベル一覧

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
3	1	[N1が/V2あとの]/N3は/PRD4,	N3 PRD4 [after N1 V2].
3	2	N1は/V2^rentai/(翌朝 翌日 明るる月)/VP3,	N1 VP3 [(morning after the day after the month after) N1 VP2].
3	3	N1は/[VP2(ような そうな)ことを ことのように 風とばかり]/VP3,	N1 VP3 [as if N1 VP2].
3	4	N1が/PRD2^rentai/[のは/CL3からだ],	N1 PRD2 [because CL3].
3	5	N1が/PRD2^rentai/のは/CL3からだ,	Why N1 PRD2 is because CL3.
3	6	N1は/[CL2という(だけの)理由(から)で]/VP3,	N1 VP3 [(just) because CL2].
3	7	N1は/[CL2^rentai/前の]/N3だ,	N1 be N3 [before CL2].
3	8	N1は/CL2^rentai/[(前日 前年 NUM3(週間 日 分)前)/VP4],	N1 VP4 [(day before the year before NUM3 (weeks days minutes) before) CL2].
3	9	N1は/[CL2という(条件で こと ことを条件として 約束で)]/VP3,	N1 VP3 [on condition that CL2].
3	10	N1は/[CL2た拍子に]/VP3,	N1 VP3 [the moment CL2].
3	11	[CL1^rentai(時代 当時)]/CL2,	CL2 [when CL1].
3	12	N1が/PRD2^rentai/[のは/NUM3(の時 頃)だ],	N1 PRD2 [when N1 be NUM3].
3	13	N1は/[N2が/VP3^rentai/(と ところを ところへ)]/VP4,	N1 VP4 [[just] (as when while) N2 VP3].
3	14	CL1という/NP2だ,	NP2 (be be about have it run say) that CL1.
3	15	N1によれば/CL2(という)との/ことだ,	N1 (say report tell us) that CL2.
3	16	N1は/CL2^rentai/[(こと ところ)(が)を に]/PRD^3,	N1 [PRDa3 that] CL2.
3	17	N1は/CL2^rentai/[というものである],	N1 [be that] CL2.
3	18	N1は/CL2[(か)かどうか]/PRD3,	N1 [PRDa3 that] CL2.
3	19	NP1は/[CL2/ことだ],	NP1 be [that CL2].
3	20	[CL1という/点以外は]/CL2,	CL2, [except that CL1].
3	21	[CL1という/点(で)では において]/CL2,	CL2 [in that CL1].
3	22	[CL1という/(理由 根拠)で]/CL2,	CL2 [on the grounds that CL1].
3	23	N1は/[CL2という(意味 趣旨 旨)の]NP3を/VP4,	N1 VP4 NP3 [to the effect that CL2].
3	24	N1は/CL2^rentai/[ことにする],	N1 [(make sure pretend) that] CL2.
3	25	N1は/CL2/[と/VP^3],	CL2, N1 [VPa3].
3	26	N1は/～2(と)ように/V3,	N1 V3 "～2."
3	27	N1は/～2、と/V3,	N1 V3 "～2."
3	28	～ [CL1^rentai]/N2 ～,	～ N2 [lest CL1] ～.
3	29	～ [CL1^rentai]/N2 ～,	～ N2 [that CL1] ～.
3	30	[CL1^rentai/(こと ところ)(は)も]/PRD2,	[The (fact idea) that CL1] PRD2.
3	31	CL1^rentai/[に(違い ない)相違ない],	[There is no doubt that] CL1.
3	32	N1によれば/CL2という/ことだ,	N1 has it that CL2.
3	33	N1は/CL2^rentai/[(こと ところ)(を)に は]/PRD3,	N1 [PRD3(= V N) that] CL2.
3	34	N1は/CL2[(と)ように なんて]/VP3,	N1 [VP3(= V N) that] CL2.
3	35	～ [PRD1^rentai/(時間 時 日)] ～,	～ [(what time when when to) PRD1] ～.
3	36	N1が/[(PRD2か/PRD2ないか PRD2(か)かどうか)]PRD3,	[Whether (or not) N1 PRD2] PRD3.
3	37	N1は/[N2が/PRD3(か)かどうか]PRD^4,	N1 PRDf4 [(how if whether) N2 PRD3].
3	38	N3は/[N2が/PRD1(か)かどうか]ということだ,	N3 be [whether N2 PRD1].
3	39	～ [N1が/(いかに)どう 何を 誰が なぜ]PRD2という/(問題 疑問) ～,	～ [the (problem question) (of) (how what whether who why) N1 PRD2] ～.
3	40	[N1が/(どう)どんなに どうして いつ どこに なぜ]PRD2(か)の/PRD3,	[(how what when where why) N1 PRD2] PRD3.
3	41	N1が/[(どの)くらい いかに いつ どこまで]PRD2(か)の/PRD3,	N3 be [(how what when where why) N1 PRD2].
3	42	N1は/[VP2^rentai/(道 方法 仕方 秘訣 術 コツ)]を/VP^3,	N1 VPf3 [how to VP2^base].
3	43	N1は/[N2が/(どの)くらい いかに いつ どこまで]PRD3(か)の/PRD3,	N1 be [(how what when where why) N2 PRD3].
3	44	よく/PRD1^rentai/ものだ,	(I wonder It's a wonder) how PRD1.
3	45	N1は/[(なんと)何という なんて]実 ほん とに 全 PRD2^rentai/N3/(だ)を/PRD3,	[(What How) PRD2] N3 N1 (be PRD4).
3	46	N1は/[N2が/(どう)どんなに どうして いつ どこに なぜ]PRD3(か)という(こと)と	N1 PRDf4 [(how what when where why) N2 PRD3].
3	47	～ [PRD1^rentai]/N2 ～,	～ N2 [(that when where which who whom whose why how but as like) PRD1]
3	48	～ [(PRD1^rentai/(こと)もの)は何でも ところはどこでも 人は誰でも ものは誰	～ [(whatever whenever wherever whoever whosever) PRD1] ～.
3	49	[PRD1^rentai/(こと)の ところ]は/NP2が/NP3だ,	NP2 is NP3 [(that which) PRD1].
3	50	N1は/PRD2^rentai/(こと)の 人]は/(何)も/PRD3ない すべて/PRD3(か)の	N1 PRD3 (nothing everything anything) (which that who) PRD2.

文種別	通番	グループラベル[日本語]	グループラベル[英語]
3	51	PRD2^rentai/(こと ところ もの 人)は/(何も/PRD3ない すべて/PRD3)何でも	(Nothing Everything Anything) (which that who) PRD2 PRD3.
3	52	~ [PRD1^rentai/(こと の ところ もの) ~。	~ [what PRD1] ~.
3	53	[PRD1^rentaiは] /PRD2,	[(What Those who) PRD1] PRD2.
3	54	~ [PRD1^rentai/(こと の ところ) ~。	~ [(the place) where PRD1] ~.
3	55	~ [PRD1^rentai/(方法 時 場所 方 人 理由) ~。	~ [(how when where whither who why) PRD1] ~.
3	56	~ [PRD1^rentai/ための] /N2 ~。	~ N2 [(that which) PRD1] ~.
3	57	PRD1^rentai/((こと の ところ もの 人)は/ない,	There is ((nothing nobody) many few) (that which when who but) PRD1.
3	58	PRD1^rentai/のはNP2/(だ ただ だけ しか いない),	NP2 is the (only) one who PRD1.
3	59	[CL1^rentai/ことで] /PRD2,	CL1 [, which PRD2^cause].
3	60	PRD1^rentai/ [(の もの)は/NP2だ],	[It is NP2 (that which who whom)] PRD1.
3	61	PRD1^rentai [NP2だ],	[It is NP2 that] PRD1.
3	62	CL1^rentai/ [(時 時期 年 期間 ころ)/(だ が 来ている)],	[It is time that] CL1.
3	63	CL1^rentai/ [ものだ],	[It is (amazing a wonder) how] CL1.
3	64	N1が/ [(どう どんなに どうして いつ どこに なぜ)] PRD2 [(か の か)/PRD3],	[It PRD3 (how what when where which who why)] N1 PRD2.
3	65	CL1^rentai/ [(こと の)が/PRD2],	[It PRD2 that] CL1.
3	66	CL1^rentai/ [NP2(だ が)/PRD3],	[It PRD(NP2(だ が)/PRD3)] that] CL1.
3	67	CL1^rentai/ [ものだ],	[It is (a pity a wonder) that] CL1.
3	68	CL1 [(と ように なんて)/PRD2],	[It PRD2 that] CL1.
3	69	VP1 [に 違いない],	[It is certain that] CL1.
3	70	CL1^rentai/ [の は/PRD2],	[It PRD2 when] CL1.
3	71	CL1 [(か か)どうか]/PRD2],	[It PRD2 (if whether)] CL1.
3	72	CL1 [かどうかということ は/PRD2],	[It PRD2 whether] CL1.
3	73	N1が/VP2た/ [通りだ],	[It is as] N1 VP2.
3	74	CL1^rentai/ [(時 日)/も(もう すぐ だろ う 遠くない)],	[It won't be long before] CL1.
3	75	CL1^rentai/ [の(は に)/PRD2],	[It PRD2 before] CL1.
3	76	CL1^rentai/ [の は/NP2だ],	[It is NP2 since] CL1.
3	77	CL1^rentai/ [こと(が)/判明する を/思い出す],	[It (turn out down upon me) that] CL1.
3	78	CL1^rentai/ [(感じがする 気がする 様子だ 考えが浮かぶ)],	[It ((seems looks like) occurred to me) that] CL1.
3	79	CL1 [(と ように)/ (思われる 見える 感じられる)],	[It (seems appears looks like) that] CL1.
3	80	CL1^rentai/ [の は/NP2だ],	[It is NP2 when] CL1.
3	81	N1は/ [VP2^rentai/ためだ],	N1 be [due to N(VP2)].
3	82	N1は/ [VP2に 足る],	N1 be [enough to VP2^base].
3	83	N1は/ [VP2^rentai/ための] /NP3を/PRD4,	N1 PRD4 NP3 [in order to VP2^base].
3	84	N1は/ [VP2(に も)] /PRD4,	N1 PRD4 [to VP2^base].
3	85	N1は/ [VP2^rentai/ための] /NP3を/PRD4,	N1 PRD4 NP3 [to VP2^base].
3	86	N1は/ [VP2^rentai/目的で] /PRD4,	N1 PRD4 [to VP2^base].
3	87	N1は/N2に/PRD3 [(と ように)/V*4],	N1 [Vb4 (to for) N2 to] VP(PRD3)^base.
3	88	N1は/PRD2 [(と ように なんて)/V*3],	N1 [Vb3 to] VP(PRD2)^base.
3	89	N1は/VP2^rentai/ [(こと の ところ)(を に)/PRD*3],	N1 [PRDb3 to] VP2^base.
3	90	N1は/ [N2(がない か)がある か]がPRD3(か か)どうか か)]] /PRD4,	N1 PRD4 [for N2].
3	91	N1は/ [VP2^rentai/ための] /NP3を/PRD4,	N1 PRD4 NP3 [for (VP2^grn N(VP2))].
3	92	N1は/ [VP2た[という](かど 廉 点 理由)で] /PRD3,	N1 PRD3 [for (VP2^grn N(VP2))].
3	93	N1は/VP2^rentai [(ためだ ための ものだ)],	N1 [be for] (VP2^grn N(VP2)).
3	94	N1は/ [(PRD2ないように ND2を避けるように)] /PRD3,	N1 PRD3 [against (N(PRD2) ND2)].
3	95	N1は/ [NP2を曲がった/(と ころに あたりで)] /PRD4,	N1 PRD4 [(around round) N(VP2)].
3	96	N1は/ [NP2(を行った から離れた から入った)/と ころ(に へ)] PRD4,	N1 PRD4 [(back from down from off) N(VP2)].
3	97	N1は/ [VP2^rentai/(と ころ 所)(に で)] PRD4,	N1 PRD4 [(at in on) N(VP2)].
3	98	N1は/ [VP2^rentai/(点 で 点において 由)] PRD4,	N1 PRD4 [in N(VP2)].
3	99	N1は/ [VP2^rentai/ための] NP3/PRD4,	N1 PRD4 NP3 [for (VP2^grn N(VP2))].
3	100	N1は/ [VP2^rentai/時だ],	N1 be [(at in) N(VP2)].
3	101	N1は/ [VP2^rentai/前で] PRD4,	N1 PRD4 [in N(VP2)].

文種別	通番	グローバルレベル[日本語]	グローバルレベル[英語]
3	102	N1は/[NP2へ/向かう/途中だ]。	N1 be [on N1^poss way to NP2].
3	103	N1は/[VP2^rentai/由]PRD4。	N1 PRD4 [on N(VP2)].
3	104	N1は/[NP2の(及ばない)の届かない)の見えない)を越えた]/ところ(に へ)]PRD4。	N1 PRD4 [(out of outside beyond past) N(VP2)].
3	105	N1は/[VP2^rentai/中を]PRD4。	N1 PRD4 [within N(VP2)].
3	106	N1は/[VP2^rentai/方に]PRD4。	N1 PRD4 [(toward towards) N(VP2)].
3	107	N1は/[VP2^rentai/(ところ 所 程度)(に で を)]PRD4。	N1 PRD4 [within N(VP2)].
3	108	N1は/NP2が[(表われていないか あるか]様子がみられないか)/PRD3]。	N1 [PRD3 for the sign of] NP2.
3	109	N1は/VP2[も/同然だ]。	N1 [(virtually practically effectively)] VP2.
3	110	N1は/[NP2を(降りた 下 がった)/ところに]PRD4。	N1 PRD4 [NP2 down].
3	111	N1は/[(NP2を離れた NP2から遠い)/ところに]PRD4。	N1 PRD4 [(NP2 away far away from NP2)].
3	112	PRD1^rentai/[(時 時期 年 期間 ころ)/(だ が 来ている)]。	[It is time to] V(PRD1)^base.
3	113	PRD1^rentai/[(こと の と)ころが/PRD2]。	[It PRD2 to] V(PRD1)^base.
3	114	PRD1^rentai [N2(だ がある)]。	[It is PRD(N2(だ がある))] to] V(PRD1)^base.
3	115	PRD1 [と/PRD2]。	[It PRD2 to] V(PRD1)^base.
3	116	VP1 [に/PRD2]。	[It V(PRD2) to] VP1^base.
3	117	VP1 [かどうかは/N2(任せ 次第)だ]。	[It is up to N2 to] VP1^base.
3	118	VP1^rentai/[(こと の)が/PRD2]。	[It is PRD2] VP1^grm.
3	119	VP1^rentai/[N2(だ がある)]。	[It is PRD(N2(だ がある))] VP1^grm.
3	120	PRD1 [ようと/思い付く]。	[It occur to me to] V(PRD1)^base.
3	121	[VP1^rentai/(こと の)(が は)] /PRD2。	[To VP1^base] PRD2.
3	122	[VP1^rentai/(こと の)(が は)] /PRD2。	N(PRD2) be [to VP1^base].
3	123	[VP1^rentai]/NP2(だ がある)を担う を受ける)。	NP2 be [to VP1^base].
3	124	N1は/[VP2^rentai(ためだ ためのもの)だ]。	N1 be [to VP2^base].
3	125	N1は/[VP2^rentai/(ことだ ことに)ある]。	N1 be [to VP2^base].
3	126	N1は/N2は/PRD3[と/V4]。	N1 [V4(= V it CMP) to] VP(PRD3)^base.
3	127	N1は/VP2^rentai/[(こと の と)ころ(に して いる)を決めている を常として いる)]PRD4。	N1 [(make it a (practice rule point) like) to] VP2 .
3	128	N1は/VP2^rentai/[(こと の と)ころ(を が は)]/PRD3]。	N1 [PRD3(= V it CMP) to] VP2^base.
3	129	N1は/VP2[に 忍びない]。	N1 [could not find it in N1^poss heart to] VP2^base.
3	130	NP1は/[VP2^rentai/もの]だ]。	NP1 be [to VP2^base].
3	131	~ [PRD2^rentai/(こと の と)ころ] ~。	~ [N(PRD2)] ~ .
3	132	[(誰 が どうして どの程度 なぜ いつ どう)/PRD2か]は/PRD3。	[N(誰 が どうして どの程度 なぜ いつ どう)/PRD2か)] PRD3 .
3	133	[PRD2(か かどうか)]は/PRD3。	[N(PRD2)] PRD3 .
3	134	[PRD2(と ように なんて)] /PRD3。	[N(PRD2)] PRD3.
3	135	N1は/[(どう どの程度 なぜ どこに いつ なぜ)PRD2(か かどうか)] /PRD3。	N1 PRD3 [N(どう どの程度 なぜ どこに いつ なぜ)PRD2(か かどうか)].
3	136	N1は/[PRD2(か かどうか)]を/PRD3。	N1 PRD3 [N(PRD2)].
3	137	N1は/[PRD2(と ように なんて)] /V3。	N1 V3 [N(PRD2)].
3	138	N1は/[PRD2(に も)] /PRD3。	N1 PRD3 [N(PRD2)].
3	139	N1は/[PRD2(で はない かと)] /V3。	N1 V3 [N(PRD2)].
3	140	N1は/[どうして/VP2(よう かと)] /V3。	N1 V3 [N(PRD2)].
3	141	N1は/VP2^rentai [ためのもの]だ]。	N1 [be (designed meant supposed) to] VP2^base .
3	142	N1は/VP2[(に も)/PRD*4]。	N1 [PRDb4 to] VP2^base.
3	143	[VP^rentai/1(こと の)(が は)] /NP2だ]。	NP2 be [VP1^grm].
3	144	[VP1^rentai/(こと の と)ころ] (が は)] /PRD2。	[VP1^grm] PRD2.
3	145	[VP1] (が は)] /PRD2。	[VP1^grm] PRD2.
3	146	NP1は/[VP2^rentai/こと]だ]。	NP1 be [VP2^grm].
3	147	N1は/PRD2[(と ように なんて)/V*3]。	N1 [Vd3] VP(PRD2)^grm.
3	148	N1は/VP2^rentai/[(こと の と)ころ(が を に は)] /PRD*3]。	N1 [PRDd3] VP2^grm.
3	149	N1は/VP2[(に に も は)] /PRD*3]。	N1 [PRDd3] VP2^grm.
3	150	N1は/PRD2[(と ように)/V*3]。	N1 [Ve3] CMP(PRD2).
3	151	N1は/PRD2[(と ように なんて)/V*3]。	N1 [Vc3] VP(PRD2)^base.
3	152	N1は/VP2^rentai/[(こと の)(が を に)] /PRD*3]。	N1 [Vc(PRD3)] VP2^base.

文種別	通番	グルーブラベル[日本語]	グルーブラベル[英語]
3	153	～ [VP1^rentai/ための]/N2 ～。	～ N2 [to VP1^base] ～。
3	154	～ [VP1^rentai]/(こと ところ) ～。	～ (thing something) [to VP1^base] ～。
3	155	～ [VP1^rentai]/N2 ～。	～ N2 [to VP1^base] ～。
3	156	N1は/V2/【と/PRD3】。	N1 [PRD3(= V N) to] VP2^base.
3	157	N1は/PRD2^rentai/[(こと ところ もの 人)は/(何も/PRD3ない すべて/PRD3]	[N1 PRD3 (nothing everything anything)] to V(PRD2)^base.
3	158	N1は/VP2^rentai/[(こと の ところ)(を に)/PRD3]。	N1 [PRD3(= V N) to] VP2^base.
3	159	N1は/VP2[(と ように)/PRD3]。	N1 [PRD3(= V N) to] VP2^base.
3	160	N1は/VP2[(の が)を に は)/PRD3]。	N1 [PRD3(= V N) to] VP2^base.
3	161	PRD1^rentai/[(こと の ところ もの 人)は/ない]。	[There is (nothing nobody)] to V(PRD1)^base.
3	162	PRD1^rentai/【ことはない】。	[There is no (need reason) to] PRD1^base.
3	163	VP1^rentai/【のは/N2が/初めてだ】。	[N2 be the first time to] VP1^base.
3	164	～ [PRD1^rentai/ための]/N2 ～。	～ N2 [PP(PRD1)] ～。
3	165	N1は/[PRD2^rentai/(こと ところ もの 人)は/(何も/PRD3ない すべて/PRD3]	N1 [PRD3 (nothing everything anything) PP(PRD2)].
3	166	～ [PRD1^rentai/(時 際)の]/N2 ～。	～ N2 [(at in on) N(PRD1)] ～。
3	167	[PRD1^rentai/(ものはすべて 人はだれでも)]PRD2。	[(Everything Everyone) PP(PRD1)] PRD2.
3	168	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ N2 [PP(PRD1)] ～。
3	169	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ [N(PRD1) of] N2 ～。
3	170	PRD1^rentai/[(こと の ところ もの 人)は/ない]。	[There is (nothing nobody) of] N(PRD1).
3	171	～ [N1が/V2^rentai]/N3 ～。	～ [N1^poss] N3 ～。
3	172	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ [AJ(PRD1)] N2 ～。
3	173	～ [PRD1ての]/N2 ～。	～ [AJ(PRD1)] N2 ～。
3	174	～ [PRD1^rentai/ための]/N2 ～。	～ N2 [V(PRD1)(^ed ^ing)] ～。
3	175	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ N2 [V(PRD1)(^ed ^ing)] ～。
3	176	N1は/PRD2^rentai/[(こと ところ もの 人)は/(何も/PRD3ない すべて/PRD3]	[N1 PRD3 (nothing everything anything)] V(PRD2)(^ing ^ed).
3	177	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ N2 [AJ(PRD1)] ～。
3	178	[PRD1^rentai/人はだれでも]PRD2。	[Everybody AJ(PRD1)] PRD2.
3	179	N1は/[PRD2^rentai/(こと ところ もの 人)は/(何も/PRD3ない すべて/PRD3]	N1 [PRD3 (nothing everything anything) AJ(PRD2)].
3	180	PRD1^rentai/[(こと の ところ もの 人)は/ない]。	[There is (nothing nobody)] AJ(PRD1).
3	181	PRD1^rentai/【ことはない 起こらない】。	Nothing AJ(PRD1) (occur will come has happened).
3	182	～ [PRD1^rentai]/N2 ～。	～ [MDF(PRD1)] N2 ～。
3	183	N1は/VP2^rentai/[(ことができる できない)】。	N1 [(be able to can may) can not] VP2^base.
3	184	VP2^rentai/【のは/よそう】。	[Let's not] VP2^base.
3	185	N1は/VP2[【(に にも)が/PRD3】】。	N1 [【<モダリティ G>】] VP2.
3	186	N1は/VP2[【<様相表現>/(こと の ところ)/<格助詞>PRD4】】。	N1 [【<モダリティ G>】] VP2.
3	187	N1は/VP2[【<様相表現>/(と ように の ではないか)と/PRD3】】。	N1 [【<モダリティ G>】] VP2.
3	188	N1は/VP2^rentai[【(NP3(だ が ある ない))】】。	N1 [【<モダリティ G>】] VP2.
3	189	N1は/VP2^rentai[【(所 だ 頃 となった 覚えがある まだまだ 事がある に至った)】】。	N1 VP2 [^psp].
3	190	N1は/VP2^rentai[【(予定 だ 最中 だ 一方 だ ところ 事 となった)】】。	N1 [VP2^prog].
3	191	N1は/VP2[【ようと/思う】】。	N1 [VP2^prog].
3	192	N1は/VP2[【(ようにお願い 申し上げます がよい)】】。	[Please] VP2 [^base].
3	193	N1は/CL2[【かど/思う ほどだ】】。	N1 [feel as if] CL2.
3	194	N1は/VP2[【(よう な か の よう な そう な)^rentai/N1(だ がある をする)】】。	N1 [V(N1(だ がある をする)) as (if though)] N1 VP2.
3	195	N1は/PRD2^rentai/[【N1(だ がある をする)】】。	N1 [V(N1(だ がある をする))] like N1 PRD2.
3	196	N1は/VP2[【できないと/思う】】。	N1 [doubt if] VP2.
3	197	N1は/CL2[【(ない か)の ではない か ない ように)と/PRD3】】。	N1 [PRD3 lest] CL2.
3	198	N1は/CL2^rentai[【N1(だ がある をする)】】。	N1 [Va(N1(だ がある をする))] that CL2.
3	199	N1は/CL2[【(の ではない か と思う だろう と思う ではない と思う たい 思う)】】。	N1 [(be afraid expect deny wish)] that CL2.
3	200	N1は/[【(きつとも ちろん)】]CL2[と/思う】】。	N1 [(be sure take it for granted) that] CL2.
3	201	N1は/CL2[【(て は どうか)と/言う】】。	N1 [make the suggestion that] CL2.
3	202	N1は/CL2^rentai[【(気がする)】】。	N1 [have a feeling] that CL2.
3	203	N1は/NP2[【(に 応じた に 相応した)】]N1(だ がある をする)】】。	N1 [V(N1(だ がある をする))] according to NP2.

文種別	通番	グルーブラベル[日本語]	グルーブラベル[英語]
3	204	N1は/NP2に反する に反した N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))] contrary to NP2.
3	205	N1は/ [NP2という点から見た] /NP1は/PRD3。	N1 PRD3 [as regards NP2].
3	206	N1は/VP2^rentai/ [(ほどの <u>く</u> らいの だけの)(年ごろだ 身分だ 資格がある)。	N1 [be (old rich qualified) enough to] VP2.
3	207	N1は/V2 ない 運命だ。	N1 [be never to] V2.
3	208	N1は/VP2ような/ [N3(をする になる)。	N1 [V(N3)] so as to VP2^base.
3	209	N1は/VP2^rentai/ [(ことに する ことにしている)。	N1 [(decide like) make it a (practice rule point)] to] VP2.
3	210	N1は/VP2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [Vb(N1(だ がある をする))] to VP2^base.
3	211	N1は/VP2/ [(たい と思う ように 思う てくれ と言う)。	N1 [(want wish would like hope) (ask beg)] to VP2^base.
3	212	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))] PP(PR2).
3	213	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))] CPP(PR2).
3	214	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))] ADV(PR2).
3	215	N1は/N2(が 欲しい と言う をよこせ と言う が いる と思う を出す と言う がない)。	N1 [(ask for demand believe in offer deny)] N2.
3	216	N1は/N2 ((を に)/PRD2^rentai/N1(だ PRD3))。	N1 [(<述部表現 G>)] N2.
3	217	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))] N(PR2).
3	218	N1は/PRD2 [か かどうか]/PRD3。	N1 [PRD3] N(PR2).
3	219	N1は/PRD2 [てくれ 言う のではないかと 思う ように 言う ない と言う)。	N1 [(ask for suspect offer deny)] N(PR2).
3	220	N1は/VP2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [Vd(N1(だ がある をする))] VP2^grm.
3	221	N1は/VP2/ [(たい と思う ように 思う ない と言う)。	N1 [(think of think about insist on) deny]] VP2^ing.
3	222	N1は/VP2 [か かどうか]/VP3。	N1 [VPd3] VP2^grm.
3	223	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [Ve(N1(だ がある をする))] CMP(PR2).
3	224	N1は/VP2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [Vb(N1(だ がある をする))] VP2.
3	225	N1は/PRD2^rentai/ [N1(だ がある をする)。	N1 [V(N1(だ がある をする))](AJ(PR2))].
3	226	PRD1^rentai/ [の は/(だ れ い つ どんな N2 どちらの N2 だ れの N2)だ]。	[(Who When What N2 Which N2 Whose N2)] PRD1?
3	227	N1(は が)/PRD2^rentai/ [NP3だ]。	N1 PRD2 [PP(NP3)].
3	228	N1が/PRD2^rentai/ [(の こと)は/NP3だ]。	N1 PRD2 [PP(NP3)].
3	229	N1が/PRD2^rentai/ [(の こと)は/PRD3]。	N1 PRD2 [CPP(PR3)].
3	230	CL1/ [(に は)/PRD2]。	CL1 [(ADV(PR2))].
3	231	CL1/ [と/PRD2]。	CL1 [(ADV(PR2))].
3	232	CL1^rentai/ [(こと の と ころ)は/PRD2]。	CL1 [(ADV(PR2))].
3	233	CL1^rentai/ [N2(は が)/PRD3]。	CL1 [(ADV(N2(は が) - 3))].
3	234	CL1^rentai/ [N2だ]。	CL1 [(ADV(N2だ))].
3	235	N2(のうち で)/PRD1^rentai/ [の は/PRD3]。	[MDF(PR3)] N2 PRD1.
3	236	PRD1^rentai/ N2(は が) [PRD3]。	[MDF(PR3)] N2 PRD1.
3	237	PRD1^rentai/ [(こと ところ も の N2)が ある ない)。	[(Something Nothing)] PRD1.
3	238	PRD1^rentai/ [(人 者)が (ある いる) (ない いない))].	[(Somebody Someone) (Nobody None)] PRD1.
3	239	PRD1^rentai/ [の は/NP2だ]。	[NP2] PRD1.
3	240	N1は/VP2^rentai/ [(こと の)が(AJ3 JV3)]。	N1 be AJ3 N(VP2)(er ist).
3	241	~ [PRD1^rentai/N2] ~。	~ [N(PR1^rentai/N2)] ~。
3	242	((これは それは))/PRD2^rentai/N3だ。	((This That)) N3 PRD2.
3	243	N1は/PRD2^rentai/ [N3ことだ]。	N1 PRD2.
3	244	N1は/NP2が/PRD3(と ように の ではないかと)/VP^4。	N1 VPi4 NP2 to V(PR3)^base.
3	245	N1は/NP2が/PRD3^rentai/ (こと の)(を に)/VP^4。	N1 VPi4 NP2 to VP3^base.
3	246	N1は/NP2が/VP3^rentai/NP4(だ がある になる にする)。	N1 Vi(NP4(だ がある になる にする)) NP2 to VP3^base.
3	247	N1は/NP2に/VP3(^meirei たい い て ほしい ように もら おう と)/ように (て くれ)。	N1 VPi4 NP2 to VP3^base.
3	248	N1は/NP2に 'VP3(^meirei ように)と'/VP^4。	N1 VPi4 NP2 to VP3^base.
3	249	N1は/VP2^rentai/ (こと の と ころ)(を が は)/VP^3.rareru。	N1 be VP3^ed to VP2^base.
3	250	NP2はPRD3と/VP^4.rareru。	NP2 be VPi4^ed to V(PR3)^base.
3	251	N1は/NP2が/PRD3と/VP^4。	N1 VPh4 NP2 CMP(PR3).
3	252	N1は/NP2が/PRD3^rentai/ (こと の と ころ)(を に)/VP^4。	N1 VPh4 NP2 CMP(PR3).
3	253	N1は/NP2が/PRD3^rentai/NP4(だ が する をする)。	N1 Vh(NP4(だ が する をする)) NP2 CMP(PR3).
3	254	N1は/NP2に/VP3ように/VP^4。	N1 VPh4 NP2 CMP(VP3).

文種別	通番	グルーブラベル[日本語]	グルーブラベル[英語]
3	255	N1は/NP2(に)を/VP3ように/VP*4。	N1 VPk4 NP2 VP3^base.
3	256	N1は/NP2が/VP3^rentai/(の)こと(を)に/VP*4。	N1 VPk4 NP2 VP3^base.
3	257	N1は/NP2が/VP3^rentai/NP4(となる)をする。	N1 V _k (NP4(となる)をする) NP2 VP3^base.
3	258	N1は/NP2に/VP3(^meirei)たい てほしい ように/と/VP*4。	N1 VPk4 NP2 VP3^base.
3	259	N1は/VP2たいと/思う。	Let N1^obj VP2.
3	260	N1は/NP2(が)は/VP3/と/VP4。	N1 VPj4 NP2 VP3^ing.
3	261	N1は/NP2が/PRD3^rentai/(音 足音 声 匂い)がする が聞こえる。	N1 (hear listen to smell) NP2 VP(PR3)^ing.
3	262	N1は/NP2が/PRD3^rentai/(思い 気 気配)がする。	N1 feel NP2 VP(PR3)^ing.
3	263	N1は/NP2が/PRD3^rentai/N4(ex.(姿 様 気配 現場 シーン))が/VP*5(=知覚動詞)。	N1 VPj5 NP2 VP(PR3)^ing.
3	264	N1は/NP2が/VP3^rentai/(の)ところ(が)を/VP*4(=知覚動詞)。	N1 VPj4 NP2 VP3^ing.
3	265	N1は/VP2^rentai/NP3を/VP*4(=知覚動詞)。	N1 VPj4 NP3 VP2^ing.
3	266	N1は/NP2(が)は/PRD3^rentai/(の)が好き のが好きだ のを好む。	N1 (like prefer) NP2 CMP(PR3).
3	267	N1は/NP2が/PRD3と/VP*4。	N1 VP _h 4 NP2 VP(PR3)^ing.
3	268	N1は/PRD2^rentai/NP3(が好き が好きだ)を好む。	N1 (like prefer) NP3 CMP(PR2).
3	269	N1は/NP2が/VP3^rentai/(こと)の(ところ)を/VP*4。	N1 VP _n 4 NP2 from VP3^grn.
3	270	N1は/NP2が/PRD3と/(思う)わかる。	NP2 (strike prove) N1^obj as N(PR3).
3	271	N1は/NP2が/PRD3と/VP*4。	N1 VPi4 NP2 as N(PR3).
3	272	N1は/PRD3と/VP*4.rareru。	N1 be (AJ(VP4) VPi4^ed) as N(PR3).
3	273	N1は/NP2に/VP3/(て)くれと てくださいと 欲しいと てくれるように/VP*4。	N1 VP _m 4 NP2 for N(VP3).
3	274	N1(で)の結果/VP2に/至る。	N1 lead N(VP2).
3	275	N1は/N2(と同じ[くらい])にも負けない)/PRD3。	N1 is as PRD3 as N2.
3	276	N1は/N2と同じ[くらい]/(速さで 数のNP3を 分量のNP3を)/VP4。	N1 VP4 as (fast many NP3 much NP3) as N2.
3	277	N1は/V2[も/(同然だ)同じだ(等しい)]。	N1 [be as good as] AJ(V2).
3	278	NP1は/PRD2か/PRD3。	NP1 either PRD2 or PRD3.
3	279	NP1には/VP2[ない ことがある]。	NP1 [can not always] VP2.
3	280	NP1のない/N2は(無い いない)。	Every N2 have NP1.
3	281	VP1(ない いぬ)/N2は(無い いない)。	Every N2 VP1.
3	282	N1は/「~2」と/VP*3。	~ 2. N1 VP3.
3	283	N1は/なぜ/PRD2か、/VP3^meirei。	Why (be do) N1 PRD2? VP3^base.
3	284	~ [PRD1^rentai] /N2 ~。	~ N2 [-- PRD1] ~。
3	285	~ [PRD1^rentai] /N2 ~。	~ N2 [, PRD1] ~。
3	286	~ [PRD1^rentai] /N2 ~。	~ N2 [, PRD1] ~。
3	287	~ [PRD1^rentai] /N2 ~。	~ [PRD1,] N2 ~。

< 第 2 部 >

パターンパーサープログラムファイル説明書

第1章 アルゴリズム説明書

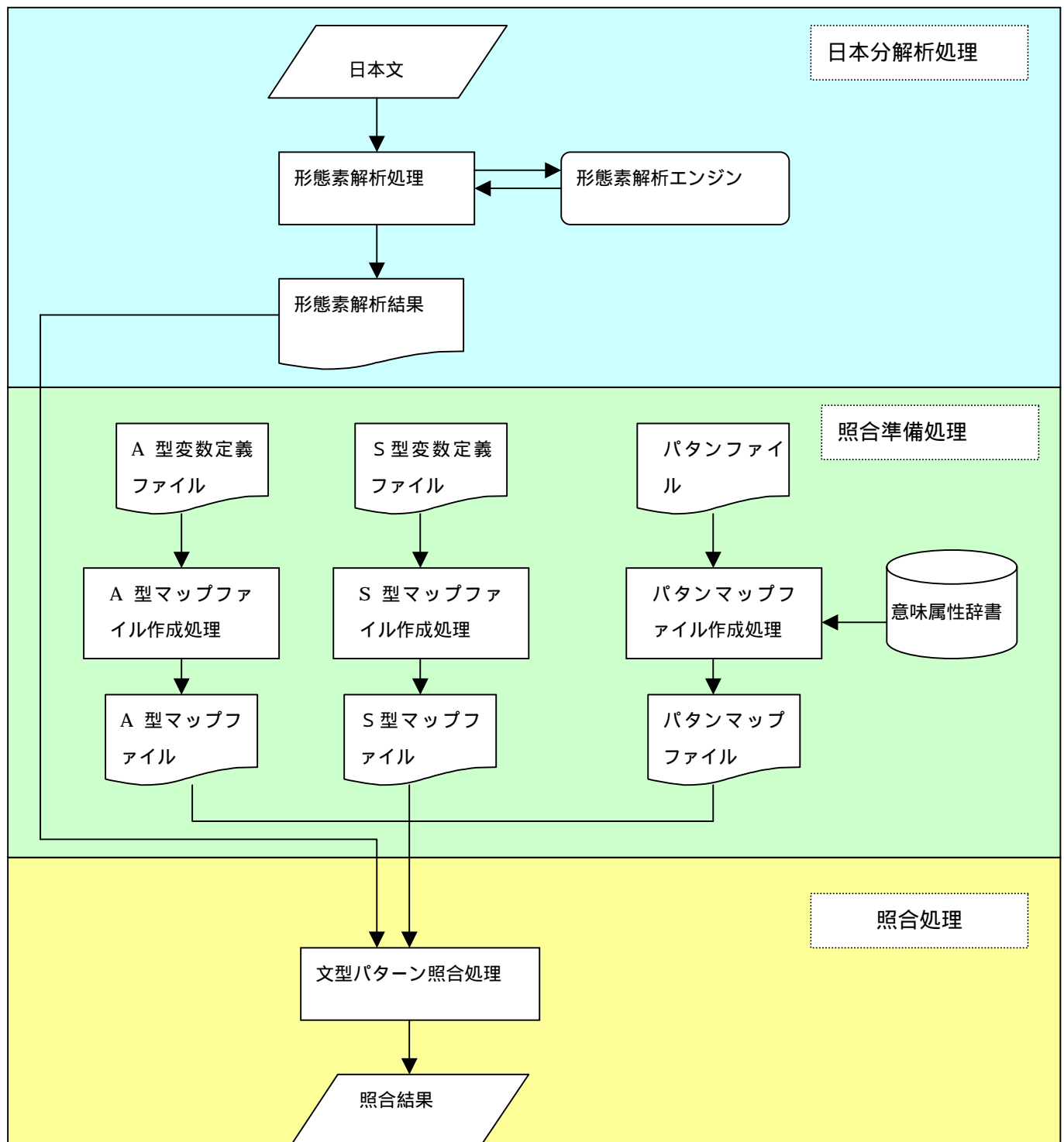
1 はじめに

パターンパーサープログラムは、データベースに登録された文型パターンのうち、入力文に適合する文型パターンをすべて検索し、適合の仕方をすべて出力するプログラムである。

本書では、パターンパーサープログラムのアルゴリズムについて説明する。

2 処理フロー

パターンパーサーは、日本語を形態素解析する「日本語解析処理」、あらかじめ人手により作成された照合ルールである定義ファイル、及び日本語との照合対象となる文型パターンファイルからマップファイルを作成する「照合準備処理」、そして、実際の日本語とパターンを照合する「照合処理」の大きく3つの処理を行う。各処理のフローは下図の通り。



3 アルゴリズム説明

パターンパーサーの3つの処理ごとにそのアルゴリズムの概要を説明する。

日本文解析処理

入力された日本文より、外部形態素エンジンを使用し、形態素解析結果を出力する。

照合準備処理

(A) 変数マップファイル作成処理

関数・変数・記号など、言語構造を定義した定義ファイルを解析し、パターンに使用される記述言語と形態素の照合を行うためのマップファイル作成を行う。

(B) パターンマップファイル作成処理

パターンに記述される記述言語の解釈をし日本語形態素と照合に必要なマップファイルを作成する。作成の際は、記述内容の誤り検知を行う。

照合処理

作成されたマップファイルを基に、入力された形態素とパターンの照合を行う。

照合はパターンの「字面」「変数」「様相」「離散記号」各々での判定が行われ、各々の場合で適合した場合、適合結果の多義として結果は出力される。

各処理機能の詳細については、「【別紙：3】機能仕様書」を参照。

以上

第2章 機能説明書

目次

1	はじめに.....	2
2	文型マップファイル.....	2
	(1) 収録されているデータの並び.....	2
	(2) パターン全体を管理する情報 (pBASE).....	2
	(3) 1つのパターンの情報 (pPATN).....	3
	(4) パターン内の1つの要素の情報.....	3
	(5) 分岐ノード情報 (pNODE).....	4
	(6) 語尾関数情報 (gFUNC).....	5
	(7) 意味属性情報 (pIMIZ).....	5
3	関数マップファイル.....	5
	(1) 収録されているデータの並び.....	5
	(2) S型マップ基本情報 xBASE.....	6
	(3) S型変数情報.....	6
	(4) 必須字面マップ.....	7
	(5) A型マップ基本情報 aBASE.....	7
	(6) A型変数情報 aVARA.....	7
	(7) A型ノード情報 aNODE.....	8
	(8) A型アーク情報 aARC.....	8
4	形態素ファイル.....	8
	(1) 形態素情報 jMORP.....	8
	(2) 形態素解析情報 jINFO.....	9
5	ALTJAWSを使った形態素解析処理 (morph).....	9
	(1) 関数 int fm_initialize (char[]).....	9
	(2) 関数 int fm_analyze (char[]).....	10
	(3) 関数 int fm_terminate ().....	10
	(4) 関数 int fm_display (FILE *).....	10
	(5) エラーコード.....	10
6	照合処理 (matching).....	11
	(0) モジュール関連.....	11
	(1) 関数 f_ATN.....	12
	(1) 関数 f_ATN.....	12
	(2) 関数 f_agent.....	12
	(3) 関数 f_agent_tester.....	13
	(4) 関数 f_vara.....	13
	(5) 関数 f_vara_node.....	13

(6) 関数 f_vara_arc 14
 (7) 関数 f_vars 14

1 はじめに

パターンパーサープログラムは、データベースに登録された文型パターンのうち、入力文に適合する文型パターンをすべて検索し、適合の仕方をすべて出力するプログラムである。

文型マップファイル、関数マップファイル、形態素ファイルのデータ構造定義と、形態素解析処理、照合処理の関数定義について述べる。

2 文型マップファイル

(1) 収録されているデータの並び

項番	データ	データの形式
a)	文型パターンファイル名	fgets で入力可能な形式の文字列
b)	関数マップファイル名	fgets で入力可能な形式の文字列
c)	文型マップ基本情報	pBASE
d)	文型マップ文字列の長さ	Int
e)	文型マップ文字列	d)で示されるバイト数の文字列('¥0'で区切られている)
f)	意味属性情報の個数	Int
g)	意味属性情報	f)で示される個数の pIMIZ
h)	ノード情報の長さ	Int
i)	ノード情報	h)で示されるバイト数のノードポインタリスト
j)	語尾関数情報の個数	Int
k)	語尾関数情報	j)で示される個数の gFUNC
l)	パターン情報	pBASE.all_patnで示される個数の pPATN
m)	パターン要素情報	pBASE.all_factで示される個数の pFACT
n)	パターンノード情報	pBASE.all_factで示される個数の pNode

(2) パターン全体を管理する情報 (pBASE)

```

struct pBASE{ 管理情報
    int    all_patn;    パターンの数
    int    all_fact;   要素情報の数
    int    all_node;   ノードの数
    int    all_jmap;   必須字面 確保件数 (patternでセット)
    
```



```

pPATN_t  *base_patn;    先頭パターン
pFACT_t  *base_fact;   先頭要素
pNODE_t  *base_node;   先頭ノード
short    *base_jmap;   必須字面マップ (matching で使用)

pNODE_t  **arclist;    ARCLIST
char     *pstring;     PSTRING;
char     *fstring;     FSTRING;
pIMIZ_t  *categories;  CATEGORIES
gFUNC_t  *funcg;       FUNCG

FILE     *fp;          文型パターンファイル・ディスクリプタ
};

```

(3) 1つのパターンの情報 (pPATN)

```

struct pPATN {  文型パターン
  char    id[MAX_PTID];  パターン ID
  char    filler;
  char    cnt_fact;      要素の数
  char    last_fn;      最終照合要素番号
  short   cnt_arc;      分岐するノード数 (bef 有りなら 1)
  short   cnt_jmap;     必須字面マップの個数
  short   *jmap;        必須字面マップ(ここから cnt_jmap 個のマップが続く)
  pFACT_t *top_fact;    先頭要素 (ここから cnt_fact 個の pFACT が続く)
  union {
    pNode_t *node;      分岐先ポインタ (cnt_arc = 1)
    pNode_t **list;     分岐先ポインタリスト (cnt_arc > 1)
  } arcp;
  int     fpos;         文型パターンファイル上の相対位置 (fseek で使用)
};

```

(4) パターン内の1つの要素の情報

```

struct pFACT {  パターン要素
  char    num;          要素番号
  char    type;         S A Y J / ! # $ Z M (*1)
  char    mode;         0=非照合要素 1=必須要素 2=任意要素 3=選択要素 (*2)
  char    vnum;         変数番号 type=S or A のみ
};

```

char	top;	先頭要素番号 (*3)
char	end;	最終要素番号 (*3)
char	snum;	選択要素のグループ番号
char	styp;	選択要素の区分 (1/2/3)
char	zmac;	字面関数配下の要素 (zmac=該当の 'Z' 要素番号)
uchar	*imag;	パターン上のイメージ (変数/関数名, 字面, 記号)
void	*ptr;	変数/関数定義領域ポインタ (*4)
pIMIZ_t	*imiz;	意味属性 type=S or A のみ
gFUNC_t	*gobi;	変数に従属する語尾関数
};		

- (*1) S : S型変数 / : 離散記号 Z : 字面関数
 A : A型変数 ! : 文節境界指定記号 M : マクロ関数
 Y : 様相関数 # : 範囲指定記号
 J : 字面 \$: 位置可変指定記号
 G : 語尾関数

(*2) 任意要素内の選択要素は mode=2

(*3) #n, \$n, 字面関数, マクロ関数が包括する要素

(*4) type = S Y xVARS を指す
 A / aVARA を指す

(5) 分岐ノード情報 (pNODE)

struct pNODE {		
int	nseq;	ノード番号
char	vsym;	位置可変記号情報 (\$n の n)
char	vseq;	位置可変記号情報 (出現順位)
short	cnt_arc;	fact の条件をクリアしたときの分岐数
pFACT_t	*fact;	自分の要素
union {		
pNODE_t	*node;	分岐先ポインタ (cnt_arc = 1)
pNODE_t	**list;	分岐先ポインタリスト (cnt_arc > 1)
} arcn;};		

(6) 語尾関数情報 (gFUNC)

```

struct gFUNC { 変数に従属する語尾関数
  char    gc;           関数の数
  char    *name[MAX_FUNC]; 関数名
  xVARS_t *ptr [MAX_FUNC]; 関数定義領域ポインタ
};

```

(7) 意味属性情報 (pIMIZ)

```

struct pIMIZ { 意味属性
  char  NIc; 登録個数 NI
  char  NKc; 登録個数 NK
  char  NYc; 登録個数 NY
  char  KRc; 登録個数 KR

  char  NIm[MAX_IMIZ]; 1 = NIx, NIy がマイナス値
  char  NKm[MAX_IMIZ]; 1 = NKx, NKy がマイナス値
  char  NYm[MAX_IMIZ]; 1 = NYx, NYy がマイナス値

  short NIx[MAX_IMIZ]; NI min
  short NIy[MAX_IMIZ];      max

  char  NKx[MAX_IMIZ]; NK min
  char  NKy[MAX_IMIZ]; NK max

  char  NYx[MAX_IMIZ]; NY min
  char  NYy[MAX_IMIZ]; NY mx

  char  KR [MAX_IMIZ][8];
};

```

3 関数マップファイル

(1) 収録されているデータの並び

項番	データ	データの形式
a)	バージョン情報	fgets で入力可能な形式の文字列

b)	マップ文字列の長さ	int
c)	マップ文字列の個数	int
d)	マップ文字列	b)で示されるバイト数の文字列('¥0'で区切られている)
e)	S型マップ基本情報	xBASE
f)	S型変数情報	xBASE.all_varsで示される個数のxVARS
g)	必須字面情報	xBASE.all_jmapで示される個数のxJMAP
h)	A型マップ基本情報	aBASE
i)	A型変数情報	aBASE.all_varaで示される個数のaVARA
j)	A型ノード情報	aBASE.all_nodeで示される個数のaNODE
k)	A型アーク情報	aBASE.all_arcで示される個数のaARC

(2) S型マップ基本情報 xBASE

struct {	管理情報
int all_vars;	関数の数
int all_jmap;	字面マップの数
xVARS_t *base_vars;	情報格納領域の先頭アドレス
xJMAP_t *base_jmap;	字面マップの先頭アドレス
} xBASE;	

(3) S型変数情報

struct xVARS {	
char type;	S=S型変数 G=語尾関数 Y=様相関数
uchar *name;	関数名 (FSTRING内)
xJMAP_t *jmap;	
char ckind;	't' or 'h' or 'x'
char cnot;	1=否定, 0=肯定
uchar *cvalu;	連結条件値 (ctype = 't' or 'h' のとき) (FSTRING内)
short cc;	条件 の数 (*1)
short vc [MAX_COND];	条件値の数 (*2)
char kind[MAX_COND][MAX_VALU];	条件タイプ (*3)
char proc[MAX_COND][MAX_VALU];	位置フラグ (*4)
char not [MAX_COND][MAX_VALU];	1=否定, 0=肯定
uchar *valu[MAX_COND][MAX_VALU];	条件値 (FSTRING内)

```
};
```

- (*1) 定義行数
- (*2) 1行中の条件値の数
- (*3) T=単語表記 H=標準表記 P=品詞コード G=語尾字面
- (*4) 0=現形態素が照合対象 1=次形態素が照合対象

(4) 必須字面マップ

```
struct xJMAP {                                字面マップ
  short    cc;                                条件の数      (*1)
  short    mc [MAX_COND];                    字面マップの数 (*1)
  short    map[MAX_COND][MAX_JMAP];          字面マップ
};
```

- (*1) 定義行数

(5) A型マップ基本情報 aBASE

```
struct {                                     管理情報
  int      all_vara;                          変数 の数
  int      all_node;                          ノードの数
  int      all_arc;                           ノードの数
  aVARA_t *base_vara;                        変数 領域
  aNODE_t *base_node;                        ノード領域
  aARC_t   *base_arc;                         アーク領域
} aBASE;
```

(6) A型変数情報 aVARA

```
struct aVARA {
  uchar    *name;                            A型変数名 (FSTRING 内)
  char     cnt_node;                          ノード数
  aNODE_t *top_node;                          最初のノード領域ポインタ
};
```

(7) A 型ノード情報 aNODE

```

struct aNODE {
    char    num;        始点ノード番号
    char    cnt_arc;    アークの数
    aARC_t *top_arc;    先頭アークへのポインタ
};

```

(8) A 型アーク情報 aARC

```

struct aARC {
    char    top;        始点ノード番号
    char    end;        終点ノード番号
    char    type;       条件タイプ (*1)
    char    pop;        1=ここで pop する
    char    opt_i;      意味属性制約参照 (* があれば 1)
    char    opt_g;      語尾関数参照 (^ があれば 1)
    uchar   *cond;      条件 (FSTRING 内) (単語表記/標準表記)
    void    *ptr;       変数/関数 へのポインタ (S 型変数/A 型変数/様相関数)
    aNODE_t *endp;     終点ノードポインタ
};

```

(*1) 条件タイプ

T=単語表記 H=標準表記 S=S型変数 A=A型変数 G=語尾関数 Y=様相関数
D=直接構造指定
p =機能ラベル (pop) j =機能ラベル (jump) ! =機能ラベル (!)

4 形態素ファイル

(1) 形態素情報 jMORP

```

struct jMORP {
    char    knum;        形態素一連番号
    char    flag;        文節境界フラグ (/=境界 +=非境界)
    char    tang[61];    単語表記
    char    stan[63];    ' ' + 単語表記 + ' '
};

```

short	NIc;	意味属性所持数 (NI)
short	NKc;	意味属性所持数 (NK)
short	NYc;	意味属性所持数 (NY)
short	KRc;	意味属性所持数 (KR)
int	cnt_info;	形態素解析情報の数
jINFO_t	info[MAX_jINFO];	形態素解析情報
};		

(2) 形態素解析情報 jINFO

struct jINFO {	形態素解析情報
char hink[5];	品詞
char nhyo[61];	標準表記
char katu[61];	活用形
char snhy[63];	' ' + 標準表記 + ' '
char skat[63];	' ' + 活用形 + ' '
char cnt_icat;	意味属性の有効数 (NI)
char cnt_kcat;	意味属性の有効数 (NK)
char cnt_yzok;	意味属性の有効数 (NY)
char cnt_krui;	意味属性の有効数 (KR)
struct {	
short icat[5];	意味属性 (NI)
char kcat[10];	意味属性 (NK)
short ycat[5];	用言カテゴリ (unuse)
short fcat[5];	(unuse)
} cat;	
char yzok[MAX_IMIZ];	意味属性 (NY)
char krui[MAX_IMIZ][8];	意味属性 (KR)
};	

5 ALTJAWS を使った形態素解析処理 (morph)

(1) 関数 int fm_initialize (char[])

処理	初期化
引数	類語辞書(aisam)ファイル名
戻値	0 = 正常終了

	-1 = エラー発生 (*2)
--	-----------------

(*2) エラー情報を標準エラーに出力する

(2) 関数 int fm_analyze (char[])

処理	ALTJAWS による形態素解析を行い結果をグローバル変数(*1)に格納する
引数	日本文
戻値	0 = 正常終了 -1 = エラー発生 (*2)

(*1) CNT_MORP 形態素数カウンタ
jBASE[] 形態素情報

(*2) エラー情報を標準エラーに出力する

(3) 関数 int fm_terminate ()

処理	ALTJAWS を終了する
戻値	0 = 正常終了 -1 = エラー発生 (*2)

(*2) エラー情報を標準エラーに出力する

(4) 関数 int fm_display (FILE *)

処理	形態素解析結果を表示する
引数	表示するファイルポインタ
戻値	0 = 正常終了 -1 = エラー発生 (*2)

(*2) エラー情報を標準エラーに出力する

(5) エラーコード

コード	説明
1	活用形コード値域エラー

2	有り得ない活用
3	標準表記が語尾より短い
4	標準表記の語尾が違う
5	有り得ない活用
6	区別不能
9	テーブルにない品詞コード

6 照合処理 (matching)

(0) モジュール関連

f_ATN	1. 基本経路作成
	2. foreach 形態素 { agent 起動 }

<p>1. f_agent</p> <p>(1) f_agent_tester (アーク照合)</p> <p>! / S Y A J</p> <ul style="list-style-type: none"> └─ 字面照合 ... 形態素を進める (標準表記は見ない) └─ f_vara └─ f_vars ... 形態素を進める └─ f_test_gobi ... 語尾関数付き S 型変数のとき実行する <p>(2) f_test_imizokusei (意味制約付き S 型変数なら意味制約をチェック)</p> <p>(3) f_agent_jkansu (字面関数配下の最後の要素なら字面関数の字面を充足したかチェック)</p> <p>(4) f_test_gobi (語尾関数付き S 型変数/様相関数なら語尾字面をチェック)</p> <p>(5) f_agent_update (経路情報更新 ... 分岐先の数 > 1 のとき、子供を出産)</p>
2. f_vara return=vara_node() の返り値 (pop のみ)
3. f_vara_node return=vara_arc() の返り値
4. f_vara_arc

5. f_test_imizokusei ... 形態素は進めない (*付きアークのとき)

T H S Y A !

自分のアークをチェック後に,

- (1) '´' 付きのアークなら f_test_gobi を実行
- (2) ans[]の形態素数だけ f_vara_node(arc_end の指すノード) を実行

return=vara_arc()のユニークな返り値

2. f_vars return=次に照合する形態素番号

T H P G

(1) 関数 f_ATN

引数	int flag	0 = 適合パターンが未出現状態 1 = 適合パターンが既出現状態
戻値	0 = 適合パターンでない 1 = 適合パターンである	
処理	形態素情報(jBASE)とパターン(PATN)を照合する 先頭の照合経路を生成	
	foreach (形態素) f_agent() 形態素に該当する経路のエージェントを起動	

(2) 関数 f_agent

引数	char kn pFACT_t *fact	形態素番号 パターン要素
戻値	0 = 適合 1 = 不適合	
処理	形態素情報(jBASE[kn])とパターン要素(fact)を照合する 照合履歴(kn:fact)があればそれを適用する 以下の照合処理で不適合なら不適合履歴を登録してリターン f_agent_tester() 形態素とパターン要素の照合	

	字面関数配下の最後の要素なら、これまでに字面を充足したかをチェック 語尾関数を伴う S 型変数/様相関数なら語尾字面をチェック (f_test_gobi) 適合履歴を登録 (f_set_history) 経路情報を更新 (f_agant_update)
--	---

(3) 関数 f_agent_tester

引数	char kn char fn pFACT_t *fact mINTF_t *intf	形態素番号 パターン要素番号 パターン要素 照合インタフェース
戻値	0 = 不適合 n = 適合 (次に照合する形態素の個数)	実際の形態素番号などは 引数 intf に格納する
処理	形態素情報(jBASE[kn])とパターン要素(fact)を照合する パターン要素の種別(fact->type)により照合処理を行う	
	文節境界指定記号	jBASE[kn]が文節境界であることのチェック
	離散記号	f_vara()
	S 型変数	f_vars() & 意味制約をチェック
	様相関数	f_vars()
	A 型変数	f_vara()
	字面	同一字面であることのチェック

(4) 関数 f_vara

引数	char kn char fn aVARA_t *vara mINTF_t *intf	形態素番号 パターン要素番号 A 型変数サブオートマトン 照合インタフェース
戻値	(引数 intf に格納する)	
処理	A 型変数照合処理 f_vara_node() を起動し照合 OK になったノードから pop 属性の結果を引数 intf に格納	

(5) 関数 f_vara_node

引数	char kn char fn aNODE_t *node	形態素番号 パターン要素番号 A 型変数ノード情報
----	-------------------------------------	---------------------------------

	mINTF_t *intf	照合インタフェース
戻値	(引数 intf に格納する)	
処理	形態素と、node の指す各アークを照合する foreach (node->各アーク) f_vara_arc()	

(6) 関数 f_vara_arc

引数	char kn char fn aARC_t *arc mINTF_t *intf	形態素番号 パターン要素番号 A型変数アーク情報 照合インタフェース
戻値	(引数 intf に格納する)	
処理	形態素と、arc の指すアークを照合する	
	'*' 付きアークなら、意味制約チェック f_imizokusei	
	アーク要素の種別(arc->type)により照合処理を行う	
	文節境界指定記号	jBASE[kn]が文節境界であることのチェック
	字面(単語表記)	jBASE[kn].tang と字面照合
	字面(標準表記)	jBASE[kn].info と字面照合
	S型変数	f_vars()
	様相関数	f_vars()
	A型変数	f_vara()
	pop	intf に pop マークを付与
	アーク照合が適合なら	
	語尾関数チェック	f_test_gobi()
	アークの指すノードを実行	f_vara_node()

(7) 関数 f_vars

引数	char kn char fn xVARS_t *vars	形態素番号 パターン要素番号 S型変数情報
戻値	-1 = 不適合 n = 次に照合する形態素番号	
処理	形態素と、S型変数を照合する	
	S型変数の種別により照合処理を行う	
	単語表記	jBASE[kn].tang と字面照合
	標準表記	jBASE[kn].info と字面照合 (活用形を含む)
	品詞	jBASE[kn].info と品詞照合

	語尾字面	jBASE[kn]. tang の語尾部分と字面照合
--	------	----------------------------

第3章 インストールマニュアル

1. はじめに

このドキュメントは「パターンパーサープログラム」を Linux システムにインストールするための下記の事項について記述しています。

- ・メディア
- ・収録ファイル
- ・インストール手順
- ・ファイルの解凍
- ・実行プログラムの作成

2. メディア

CD-ROM

3. インストール手順

次の手順でインストールしてください。

- (1) ファイルの解凍
- (2) 実行プログラムの作成

4. ファイルの解凍

4.1 解凍作業

次の手順で解凍してください。

- (1) 任意のディレクトリを作成する。
- (2) 作成したディレクトリに移動する。
- (3) tar コマンドにより解凍する。

[例] (1) `mkdir xxx(*1)`
(2) `cd xxx`
(3) `tar xvfz yyy(*2)/jpp2.tgz`

(*1) xxx : 任意のディレクトリ名

(*2) yyy : メディアをセットしたファイルシステム (ex: /mnt/cdrom)

4.2 解凍により作成されるファイル

- (1) src/ ソースプログラム・ディレクトリ
 - a) Makefile morph_alt 以外のコンパイル用 makefile
 - b) Makefile.morph_alt morph_alt のコンパイル用 makefile
 - c) common.h 共通ヘッダファイル
 - d) morph_alt.c 形態素解析プログラム (ALT-JAWS)

- e) morph_bun.c 形態素活用形付与プログラム
- f) morph_imi.c 形態素意味属性付与プログラム
- g) smap.c S型マップ作成プログラム
- h) amap.c A型マップ作成プログラム
- i) pattern.c 文型マップ作成プログラム
- j) matching.c 照合プログラム

(2) imizokusei/ 意味制約データ・ディレクトリ

- a) GoiTaikei.lis 日本語語彙大系・コード包含関係定義データ
- b) NI_NK.dat 意味属性データ : NI, NK
- c) NY.dat " : NY
- d) KR.dat " : KR
- e) IY.dat " : IY
- f) XREF.dat ALT品詞と意味属性の対応データ
- g) sem.dat 講談社・類語大辞典データ

(3) sample/ サンプルデータ・ディレクトリ

- a) def_atype.lis A型マップ作成パラメータ
- b) def_stype.lis S型マップ作成パラメータ
- c) jpp2.rc 照合実行パラメータ
- d) funcg 語尾関数・定義ファイル
- e) funcy 様相関数・定義ファイル
- f) risan 離散記号・定義ファイル
- g) vara A型変数・定義ファイル
- h) vars S型変数・定義ファイル

(4) jpp2.rc 照合実行パラメータ (実体 sample/jpp2.rc)

5 . 実行プログラムの作成

>>> ここでの作業は src ディレクトリで行います。
>>> 実行プログラムは src の親ディレクトリに作成されます。

5.1 morph_alt の作成

(1) Makefile.morph_alt の編集

コンパイルには ALT-J/E のライブラリが必要です。

Makefile.morph_alt の1行目で定義されている ALT-J/E のロケーションを、インストールするシステム用に変更してください。

Makefile.morph_alt の1行目 : ALTJE = /usr/local/altje

\$(ALTJE)が、下記に示すディレクトリを指すように指定してください。

dict/ linux-isam-xx.xx/ src/

(2) コンパイル

make -f Makefile.morph_alt を実行してください。

morph_alt が作成されます。

5.2 morph_alt 以外の実行プログラムの作成

make コマンドを実行してください。

下記の実行プログラムが作成されます。

morph_bun	形態素活用形付与プログラム
morph_imi	形態素意味属性付与プログラム
smap	S型マップ作成プログラム
amap	A型マップ作成プログラム
pattern	文型マップ作成プログラム
matching	照合プログラム

第4章 操作マニュアル

1. はじめに

このドキュメントは「拡張文型パターンパーサ」の操作に関する下記の事項について記述しています。

- ・処理の種類
- ・処理とファイルの関係
- ・形態素ファイルの作成 (morph_xxx)
- ・S型マップの作成 (smap)
- ・A型マップの作成 (amap)
- ・文型マップの作成 (pattern)
- ・照合 (matching)
- ・RC ファイルについて (廃止と追加)

2. 処理の種類

日本語パターンパーサは次の7種類の処理に分かれています。

- (1) 入力文前処理・形態素解析 (morph_alt)
- (2) " 活用形付与 (morph_bun)
- (3) " 意味属性付与 (morph_imi)
- (4) S型マップの作成 (smap)
- (5) A型マップの作成 (amap)
- (6) 文型マップの作成 (pattern)
- (7) 照合 (matching)

3. 処理とファイルの関係

	形態素データ			マップデータ		
	解析	文法	意味	S型	A型	文型
morph_alt						
morph_bun						
morph_imi						
smap						
amap						
pattern						
matching						

= 作成する

= 参照する

4. 形態素解析

(1) 解析データの作成 (morph_alt)

usage: morph_alt 日本文ファイル名 <結果は標準出力>

サンプル

入力 A018:太郎は千葉の支店から家に急いで帰った。

出力 (0) A018:太郎は千葉の支店から家に急いで帰った。

1. 太郎(1900)/は(7530)
2. 千葉(1900)/の(7410)
3. 支店(1100)/から(7410)
4. 家(1100)/に(7430)
5. 急いで(4100)6
6. 帰っ(2184,帰る)/た(7216)/。(0110)

(2) 文法レベルデータの作成 (morph_bun)

usage: morph_bun 品詞桁数(4or8) <入力は標準入力> <結果は標準出力>

morph_alt の出力結果

出力サンプル (0) A018:太郎は千葉の支店から家に急いで帰った。

1. /太郎(1900)
2. +は(7530)
3. /千葉(1900)
4. +の(7410)
5. /支店(1100)
6. +から(7410)
7. /家(1100)
8. +に(7430)
9. /急いで(4100)
10. /帰っ(2184,帰る)
11. +た(7216)
12. +。(0110)

(3) 意味レベルデータの作成 (morph_imi)

usage: morph_imi 品詞桁数(4or8) <入力は標準入力> <結果は標準出力>

morph_bun の出力結果

出力サンプル : INPUT=A018=0x7ffff=0xffff

太郎は千葉の支店から家に急いで帰った。

1. /太郎(1900)
2. +は(7530)
3. /千葉(1900)
4. +の(7410)
5. /支店(1100, {NI:431, NI:374, KR:4210u14, KR:4308u01})
6. +から(7410)
7. /家(1100, {NI:447, NI:865, NI:73, NI:387, KR:2408k00})
8. +に(7430)
9. /急いで(4100, {KR:3100f00})
10. /帰っ(2184, 帰る, {NY:18, NY:19, KR:2704a00, IY:7420})
11. +た(7216)
12. +。 ([P]0110)
13. /nil

意味属性は一部を省略しています

(4) 一括作成

morph_alt 日本文ファイル名 | morph_bun | morph_imi <結果は標準出力>

5 . S型マップの作成 (smap)

usage: smap ファイル名リスト [出力マップ名]

default = map.stype

ファイル名リスト: sample/def_stype.lis がサンプルです。

以下に内容を示します。

```
# smap に指定するファイル名リスト

./sample/funcg # 語尾関数定義ファイル名
./sample/funcy # 様相関数定義ファイル名
./sample/vars # S型変数定義ファイル名
```

6 . A型マップの作成 (amap)

usage: amap ファイル名リスト品詞桁数(4or8) [出力マップ名]

default = map.atype

ファイル名リスト: sample/def_atype.lis がサンプルです。

以下に内容を示します。

```
# amap に指定するファイル名リスト

./sample/vara # A型変数定義ファイル名
./sample/risan # 離散定義ファイル名
```

7. 文型マップの作成 (pattern)

```
usage: pattern patn [pmap goi ruigo]
      |         |   |   |
      |         |   |   |   類語辞書ファイル名 (in)
      |         |   |   |   default = ./imizokusei/sem.dat
      |         |   |   |
      |         |   |   |   語彙大系コードファイル名 (in)
      |         |   |   |   default = ./imizokusei/GoiTaikei.lis
      |         |   |   |
      |         |   |   |   出力マップファイル名 (out)
      |         |   |   |   default = map.文型パターン・ファイル名
      |         |   |   |
      |         |   |   |   文型パターン・ファイル名 (in)
```

patn 以外は省略可能です。

先行する引数を省略する場合は '-' を指定します。

ex) pattern bun_patn1 - - my_ruigo

8. 照合処理 (matching)

```
usage バッチ: matching pmap morph [Smap Amap RC]
      |         |   |   |   |
      |         |   |   |   |   RC ファイル名 (in)
      |         |   |   |   |   default = ./jpp2.rc
      |         |   |   |   |
      |         |   |   |   |   A型マップファイル名 (in)
      |         |   |   |   |   default ./map.atype
      |         |   |   |   |
      |         |   |   |   |   S型マップファイル名 (in)
      |         |   |   |   |   default ./map.stype
      |         |   |   |   |
      |         |   |   |   |   形態素ファイル名 (in)
      |         |   |   |   |
      |         |   |   |   |   文型パターンマップファイル名
```

usage 対話: matching -i [pmap morph Snap Amap RC]

各引数は '-' で省略可能)

結果は標準出力です。

照合処理では、文型パターンマップファイルの元になった文型パターンファイルを使用します。
(文型パターンマップファイルに、作成時の文型パターンファイル名が記録されています)

>>> 作成時の文型パターンファイルの移動/削除は行わないで下さい。

出力サンプル

INPUT=LJ98765=0x7fff=0x1fff

太郎は千葉の支店から家に急いで帰った。

1. /太郎(1900, {NI:48, NI:464, NK:69, NK:27})
2. +は(7530)
3. /千葉(1900, {NI:464, NI:364, NI:5, NI:367, NI:414, NK:11, NK:17, NK:27, NK:67, NK:98, NK:65})
4. +の(7410)
5. /支店(1100, {NI:431, NI:374, NK:88, KR:4210u14})
6. +から(7410)
7. /家(1100, {NI:447, NI:865, NI:73, NI:387, KR:2408k00})
8. +に(7430)
9. /急いで(4100, {KR:3100f00})
10. /帰っ(2184, 帰る, {NY:18, NY:19, KR:2704a00})
11. +た(7216)
12. +。([P]0110)
13. /nil

PATTERN=P0123=/N1(NI:4)は#1{/N2 に, /N3 から}/VE4.kako。=[N1, は, /, N3, から, N2,

に, /, VE4, .kako, 。]=0x78fc7=0xef3

N1=太郎=太郎=n(na(1))=0x3=0x1

N3=支店=支店=n(na(5))=0xc0=0x10

N2=家=家=n(na(7))=0x400=0x40

VE4=帰る=帰っ=ve(10)=0x18000=0x200

#1=[/N3 から/N2 に]=0xff8=0xfc

PATTERN=P0124=\$1^{/ADV1}/N2(NI:4)は{\$1/N3 に, \$1/N4 から}\$1/V5.kako。=[N2, は, /, N4, から, N3,

に, ADV1, V5, .kako, 。]=0x7ffc7=0xff3

N2=太郎=太郎=n(na(1))=0x3=0x1

N4=支店=支店=n(na(5))=0xc0=0x10

N3=家=家=n(na(7))=0x400=0x40

ADV1=急いで=急いで=adv(adve(9))=0x7000=0x100

V5=帰る=帰っ=v(ve(10))=0x18000=0x200

\$1=0

第5章 「簡易構造検索プログラム」利用説明書

目次

1 はじめに.....	1
2 簡易構造検索プログラムインストール方法.....	1
2.1 茶筌形態素解析結果変換プログラムのインストール方法.....	2
3 茶筌形態素解析結果変換プログラムの設定ファイル、品詞対応表、意味辞書.....	3
3.1 茶筌形態素解析結果変換プログラム設定ファイル.....	3
3.2 茶筌品詞対応表.....	3
3.3 意味辞書.....	4
4 茶筌形態素解析結果変換プログラムの入力と出力.....	5
4.1 入力.....	5
4.2 出力.....	6
5 茶筌形態素解析結果変換プログラム操作方法.....	6
6 簡易構造検索プログラムを使用した試験方法.....	7

1 はじめに

簡易構造検索プログラムとは、形態素解析プログラム「茶筌」の形態素解析結果を入力とし、意味類型パターン辞書からのパターン検索出力を行うプログラムである。

本資料では、簡易構造検索プログラムに下記の項目について説明する。

- ・ 簡易構造検索プログラムインストール方法
- ・ 茶筌形態素解析結果変換プログラムの設定ファイル、品詞対応表、意味辞書
- ・ 茶筌形態素解析結果変換プログラムの入力と出力
- ・ 茶筌形態素解析結果変換プログラム操作方法
- ・ 簡易構造検索プログラムを使用した試験方法

2 簡易構造検索プログラムインストール方法

簡易構造検索プログラムに必要なプログラムは以下の通り。

(1) Perl5.8(*1)

「茶筌品詞コンバートプログラム」を動作させるのに必要

(2) 形態素解析プログラム「茶筌」

日本語を形態素解析するプログラム。

(3) 茶筌形態素解析結果変換プログラム

茶筌で解析された形態素解析結果を入力とし、品詞を品詞対応表に従って 4 桁または 8 桁の品詞コードに変換し、文型照合プログラム「jpp2」の入力フォーマットに成形した形態素解析結果を出力するプログラム。

(4) 文型照合プログラム「jpp2」

形態素解析結果を入力とし、意味類型パターン辞書からのパターン検索を行うプログラム。

(*1) 茶筌形態素解析結果変換プログラムを動作させるのに必要。

上記、(1)(2)(4)のインストール方法については各プログラムが提供するインストール方法を参照のこと。

2. 1 茶筌形態素解析結果変換プログラムのインストール方法

(1) ファイルの解凍

次の手順で解凍を行う。

任意のディレクトリを作成する。

```
> mkdir xxx(*1)
```

(*1) xxx : 任意のディレクトリ名

作成したディレクトリに移動する。

```
> cd xxx
```

tar コマンドにより解凍する。

```
> tar xvfz yyy(*2)/morph_conv.tgz
```

(*2) yyy : メディアをセットしたファイルシステム (ex: /mnt/cdrom)

(2) 解凍により作成されるファイル

プログラム本体	: morph_conv
設定ファイル	: morph_conv.rc
意味辞書	: imizokusei/ (注1)
品詞対応表	: chase_to_xxx-ver00.dat

(注1)意味属性データは文型照合プログラム「jpp2」と同一のものを使用している。

(3) 解凍されたファイルのコピー

(2)で解凍されたファイル類をインストールしたいディレクトリにコピーし、「プログラム本体」に下記のコマンドで実行権を与える。

```
> chmod +x morph_conv
```

プログラム実行の際は、設定ファイルはプログラムを実行するカレントディレクトリに必ず置くこと。

また、設定ファイルには「意味辞書」及び「品詞対応表」のパスを記載するようになっており、「意味辞書」「品詞対応表」は設定ファイルに記載されたパスに置くこと。

3 茶筌形態素解析結果変換プログラムの設定ファイル、品詞対応表、意味辞書

茶筌形態素解析結果変換プログラムの設定ファイルと品詞対応表、意味辞書の記述方法について説明する。

3.1 茶筌形態素解析結果変換プログラム設定ファイル

設定ファイルの記載内容は以下の通り。

```
; コメント(*1)
品詞対応表. =品詞対応表名(*3)
意味属性付与=ON または OFF(*2)
意味属性辞書フォルダ=意味辞書フォルダ(*3)
```

(*1)半角セミコロン「;」以降改行まではコメントとする。

(*2)形態素解析結果に意味属性を付与するかどうかのフラグ

意味属性を付与する場合 = ON

意味属性を付与しない場合 = OFF

(*3)品詞対応表名、意味辞書のあるフォルダ名を記載する。

<記述例>

```
; 茶筌形態素解析結果変換プログラム
品詞対応表. =./chase_to_xxx-ver00.dat
意味属性付与=OFF ; 意味属性は付与しない
意味属性辞書フォルダ=/usr/local/imizokusei
```

3.2 茶筌品詞対応表

茶筌品詞対応表のフォーマットは以下の通り。

```
; コメント
番号(*1)<tab>茶筌品詞(*2)<tab>茶筌活用形(*3)<tab>変換する品詞コード
```


- (*1)対応関係を管理するために便宜的に記載している番号。プログラムでは使用していないため、ユーザが任意な番号を付与してよい。
- (*2)形態素プログラム「茶筌」が出力する全角文字列の品詞。
「品詞名+活用型」で記述する。（例）動詞-自立サ変・スル
- (*3)形態素プログラム「茶筌」が出力する全角文字列の活用形。
活用しない語の場合は何も記述しない。
- (*4)変換後の品詞コード。半角「4桁」または「8桁」の英数字記号で記述する。
変換後の品詞コードは「文型照合プログラム jpp2」の検索条件として使用されるため、「文型照合プログラム jpp2」の定義ファイルの条件にあった品詞を記載すること。

<記述例>

No.	品詞	活用形	変換する品詞コード
1	記号-読点		02100000
2	形容詞-非自立形容詞・イ段	連用テ接続	31140000
3	動詞-自立サ変・スル	仮定形	26380000

3.3 意味辞書

名詞意味辞書ファイル「IM.dat」、用言意味辞書ファイル「IY.dat」の2種類が必要で、各ファイルの記載内容は次の通り。

(*)意味辞書は「文型照合プログラム jpp2」と同じものを使用している。

<名詞意味辞書ファイル：IM.dat>

表記<space>品詞<space>IM:名詞意味属性コード(*1)

(*1)表記に対し、複数の意味属性がある場合はカンマ区切りで複数記述を行う。

[例]

意志強堅 1240 IM:16410
意志的 1240 IM:16410
意思 1100 IM:14120,IM:15150
意字 1100 IM:14300
意識 1220 IM:15110,IM:15170

<用言意味辞書ファイル：IY.dat>

表記< <space>IY:用言意味属性コード(*1)

(*1)表記に対し、複数の意味属性がある場合はカンマ区切りで複数記述を行う。

[例]

```

あどけなげだ IY:A320
あふれる IY:8110
あぶれる IY:5630, IY:7400
あほうだ IY:A340, IY:A390

```

4 茶筌形態素解析結果変換プログラムの入力と出力

4.1 入力

茶筌形態素解析結果変換プログラムの入力は形態素解析プログラム「茶筌」の出力結果とし、以下のフォーマットで出力されたものとする。

<入力フォーマット>

```

表記出現形<tab>表記基本形<tab>よみ出現形<tab>よみ基本形<tab>品詞<tab>活
用型<tab>活用形<ret>
.....
EOS

```

[例]

彼	彼	カレ	カレ	名詞-代名詞-一般		
の	の	ノ	ノ	助詞-連体化		
お母さん	お母さん	オカアサン	オカアサン	名詞-一般		
が	が	ガ	ガ	助詞-格助詞-一般		
ああ	ああ	アア	アア	副詞-助詞類接続		
若い	若い	ワカイ	ワカイ	形容詞-自立	形容詞・アウオ段	基本形
と	と	ト	ト	助詞-格助詞-引用		
は	は	ハ	ハ	助詞-係助詞		
思わ	思う	オモワ	オモウ	動詞-自立	五段・ワ行促音便	未然形
なかつ	ない	ナカツ	ナイ	助動詞 特殊・ナイ	連用夕接続	
た	た	タ	タ	助動詞 特殊・タ	基本形	
。	。	。	。	記号-句点		
EOS						

4.2 出力

出力は文型照合プログラム jpp2 の入力となる。そのため、jpp2 の入力フォーマットで出力は行われ、下記の通りとする。

<出力フォーマット>

```
INPUT=文 ID=
日本文
形態素番号. +表記出現形(品詞コード,表記基本形(*1){意味属性(*2)})
:
形態素番号. /nil
```

(*1)基本形がない場合は“ ,表記基本形 ”は出力しない。

(*2)意味属性がない場合は“ {意味属性} ”は出力しない。

[例]

```
INPUT=00000001=
彼のお母さんがああ若いとは思わなかった。
1. +彼(17100000/17200000{IM:11131,IM:11211})
2. +の(11000000)
3. +お母さん(11000000{IM:11212,IM:11220})
4. +が(11000000)
5. +ああ(41E00000)
6. +若い(31060000{IY:A300})
7. +と(11000000)
8. +は(11000000)
```

5 茶筌形態素解析結果変換プログラム操作方法

(1) 設定ファイルをプログラム実行ディレクトリに置く。
設定ファイルに記載されている各ファイルのパスが適切であるか確認する。

(2) 以下のコマンドを実行する。
morph_conv < 茶筌形態素解析結果ファイル > 出力ファイル名

[例]

```
morph_conv < test.input > test.out
```

6 簡易構造検索プログラムを使用した試験方法

簡易構造検索プログラムを使用した試験は下記の手順で行う。

- (1) 「文型照合プログラム jpp2」の定義ファイルの準備
- (2) 「文型照合プログラム jpp2」の意味属性データの準備
- (3) 「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」の品詞対応表の準備
- (4) 「茶筌」による形態素解析の実行
- (5) 「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」による茶筌品詞の変換
- (6) 「文型照合プログラム jpp2」による意味類型パターン辞書の検索

(1) 「文型照合プログラム jpp2」の定義ファイルの準備
「文型照合プログラム jpp2」の定義ファイルを準備する。
定義ファイルで使用する品詞コードは茶筌品詞コンバートプログラムでコンバートする品詞と同じ体系を使用して定義を行うようにする。

(2) 「文型照合プログラム jpp2」の意味属性データの準備
「文型照合プログラム jpp2」の意味属性データ「IM.dat」「IY.dat」を準備する。
意味属性データは茶筌品詞コンバートプログラムでも使用されるが、「IM.dat」に記載される品詞コードは茶筌品詞コンバートプログラムでは使用していない。

(3) 「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」の品詞対応表の準備
「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」の品詞対応表の準備する。
対応表に記述する変換後の品詞は(1)の jpp2 定義ファイルで使用される品詞と同じ品詞体系を使用する。

(4) 「茶筌」による形態素解析の実行
「茶筌」により、日本文を入力として、形態素解析を実行する。
実行の際の出力フォーマットは「茶筌品詞コンバートプログラム morph_conv」の入力フォーマットになるようにオプション指定をする。

(5) 「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」による茶筌品詞の変換
(4)の出力結果を入力として、「茶筌形態素解析結果変換プログラム morph_conv」を実行する。

(6) 「文型照合プログラム jpp2」による意味類型パターン辞書の検索
(5)の出力結果を入力として、「文型照合プログラム jpp2」による意味類型パターン辞書の検索を行い、検索結果を出力する。

【注意事項】

- ・ jpp2 の定義ファイル、意味辞書データ、品詞コンバートプログラムの品詞対応表は必要に応じてユーザによりに内容を書き換えること。
- ・ 内容を書き換える際は、jpp2 と品詞コンバートプログラムの品詞体系は同じになるようにすること。また、意味辞書も同一の意味辞書を使用するようにすること。
- ・ 「茶釜」の出力フォーマットは品詞コンバートの入力フォーマットを合わせること。

以上

参考資料: 品詞と活用形のコード

morph_cabocha 用テーブル

2007.4/1 tokuhisa@ike.tottori-u.ac.jp

* /usr/local/lib/chasen の grammar, ctype, cform よりラベル名を列挙し, 通し番号を付与

* 2つのシートに分けて収録

1つめは, 品詞コードの主要部, 2つめは, 活用形

* 主要部のシート(chasen_ラベル変換テーブル)

grammar のラベルは, マイナス記号を境界として, 最大4分割し, 品詞コードの左から4桁ぶんに対応

ctype のラベルは, 中黒記号を境界として, 最大2分割し, 品詞コードの左から5, 6桁目に対応

cform のラベルは, 品詞コードの左から7桁目に対応. 詳細は活用形のシート

品詞コードの左から8桁目は予備

ラベルに対して番号はユニークに決まるが, 番号に対してラベルはユニークに決まるとは限らない.

1桁目と2, 3, 4桁目の数字の組に対して, ラベルの組はユニークに決まる.

たとえば, 「自立」ならば「1」であるが, 「1」に対するラベルは「名詞」, 「自立」など複数ある. しかし, 1桁目を固定するとき, たとえば, 「41……」ならば「形容詞-自立」とラベルが決まる.

表の文字の色

青文字: 表を左の品詞コードの桁を縦に読み, 一つ右の桁を縦に読み, という順でみたとき, 表内で2回目以上出現したラベルであることを表す.

赤文字: 本表の1つ前のバージョンと大きく異なる番号.

* 活用形のシート(chasen_活用形テーブル)

活用形のB列のラベルと, C列の番号とが対応

chasen_ラベル変換テーブル

			5 五段	D サ行	3A00 5Dx0	
				I uring	3A00 5Ix0	
4 形容詞	1 自立		4 形容詞	1 アウオ段	4100 41x0	
				2 イ段	4100 42x0	
	8 非自立		4 形容詞	1 アウオ段	4800 41x0	
				2 イ段	4800 42x0	
	A 接尾		B 不変化型		4800 B0x0	
			4 形容詞	1 アウオ段	4A00 41x0	
				2 イ段	4A00 42x0	
5 副詞	1 一般				5100 0000	
	2 助詞類接続				5200 0000	
6 連体詞					6000 0000	
7 接続詞					7000 0000	
8 助詞	1 格助詞	1 一般			8110 0000	
		2 引用			8120 0000	
		3 連語			8130 0000	
		2 接続助詞				8200 0000
		3 係助詞				8300 0000
		4 副助詞				8400 0000
		5 間投助詞				8500 0000
		6 並立助詞				8600 0000
		7 終助詞				8700 0000
		8 副助詞 / 並立助詞 / 終助詞				8800 0000
		A 連体化				8A00 0000
		B 副詞化				8B00 0000
		9 特殊				8900 0000
9 助動詞			5 五段	J uringアル	9000 5Jx0	
				K uring特殊	9000 5Kx0	
		4 形容詞	2 イ段		9000 42x0	
		9 特殊	1 ナイ		9000 91x0	
			3 タイ		9000 93x0	
			4 タ		9000 94x0	
			5 ダ		9000 95x0	
			6 デス		9000 96x0	
			7 ジャ		9000 97x0	
			8 マス		9000 98x0	
			9 ス		9000 99x0	
			A ヤ		9000 9Ax0	
			A 下二	E uring		9000 AEx0
		C 文語	B ベシ		9000 CBx0	
			C ゴトシ		9000 CCx0	
			D ナリ		9000 CDx0	
			F マジ		9000 CFx0	
			G シム		9000 CGx0	
			H キ		9000 CHx0	
			I ケリ		9000 CIx0	
			W ル		9000 CWx0	
			L リ		9000 CLx0	
				B 不変化型		9000 B0x0
A 感動詞					A000 0000	
B 記号	1 一般				B100 0000	
	2 句点				B200 0000	
	3 読点				B300 0000	
	4 空白				B400 0000	
	5 アルファベット				B500 0000	
	6 括弧開				B600 0000	
	7 括弧閉				B700 0000	
C その他	1 間投				C100 0000	
D フィラー					D000 0000	
E 非言語音					E000 0000	
F 語断片					F000 0000	
0 未知語						

* 茶釜の活用形定義(forms.cha)に「*」と記述してあったもの

chasen_活用形テーブル

< 第 3 部 >

意味検索プログラム・ファイル説明書

第 1 章 アルゴリズム説明書

目次

1 はじめに.....	1
2 意味検索プログラムの処理フロー.....	2
3 モジュールごとのアルゴリズム概要.....	3
4 文法意味分類コード付与におけるアルゴリズム詳細.....	4

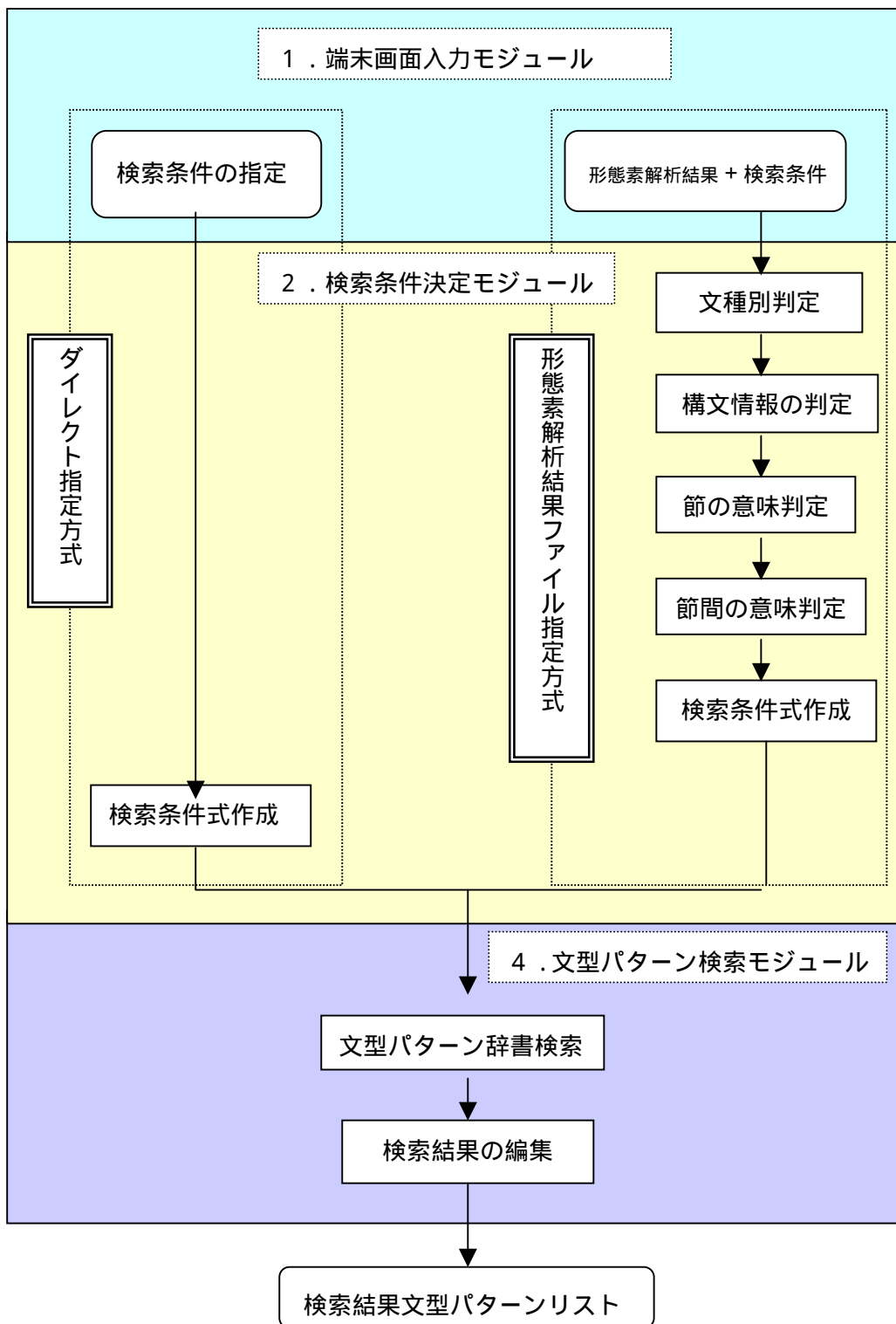
1 はじめに

意味検索プログラムは、DB (mysql4.0.2) に登録されている「意味類型パターン辞書ファイル」データを対象に、それに付与されている「統語分類コード」、「意味分類コード」、「節間 KW (キーワード)」を組み合わせる検索を行うプログラムである。

本資料では、意味検索プログラムの意味分類付与におけるアルゴリズムについて説明する。

2 意味検索プログラムの処理フロー

意味検索プログラムの処理フローは以下の通り。



3 モジュールごとのアルゴリズム概要

モジュールごとのアルゴリズム概要を以下の表に示す。

表：アルゴリズム概要

モジュール構成		アルゴリズム概要	
1	入出力制御モジュール	端末との応答、ファイルへの入出力を行う	
	1-1 端末画面入出力ルーチン	端末と応答、ファイルへの入出力を行う。	
	1-2 ファイル入出力ルーチン	ファイルからの検索条件の入力、ファイルへの結果の書き出しを行う。	
2	検索条件指定モジュール	入力の指定に基づき、文型パターンに対する検索条件を決定する。	
	2-1	ダイレクト指定条件判定ルーチン	ダイレクト指定モードのとき、検索条件を決定する。
		2-1-1 検索 KW 入力ルーチン	検索用の KW を読み込み、それらの KW が適切であるかどうかを判定し、検索条件式を作成する。
	2-2	形態素解析結果ファイル入力による判定ルーチン	日本文提示モードのとき、検索条件を決定する。
		2-2-1 形態素解析結果の読み込みと条件入力ルーチン	形態素解析結果の読み込みと検索条件指定文を読み込む。
		2-2-2 文種別判定ルーチン	形態素解析結果から、文種別を判定すると共に、検索条件の適切性を判定する。
		2-2-3 構文情報判定ルーチン	入力文の構文情報を調べ、統語構造第 1 分類、第 2 分類を決定する。
		2-2-4 節の意味判定ルーチン	用言意味分類体系による意味辞書を使用し、節の意味分類コードを決定する。
2-2-5 節間の意味判定ルーチン		意味分類パターン辞書を使用して、節間の意味分類コードを決定する。	
2-3	検索条件作成ルーチン	検索条件式を作成する。	
3	文型パターン検索モジュール	検索式に適合する文型パターンを検索する。	
4	検索結果出力モジュール	検索結果として得られた文型パターンと関連情報を編集して、端末又はファイルに出力する。	

4 文法意味分類コード付与におけるアルゴリズム詳細

文法意味分類コード付与における処理は下表のように分割して実施している。

	処 理 順 番	処 理 内 容	実行関数名
↓	1	形態素解析結果の取得	action_morphfile_in
	2	文種別 & 接続埋め込み情報の取得	get_bunshubetu
	3	統語構造第 1 分類の取得	get_tougo_one
	4	節の意味分類の取得	GetBunruiSetsulmi
	5	統語構造第 2 分類、節間意味分類、節間 KW の取得	GetBunruiTwo [†] PutlmiCodeBySono [†]

[†]Per モジュールとして作成されている関数

上記処理内容ごとに、アルゴリズム詳細を説明する。

1 . 形態素解析結果の取得

形態素解析結果ファイルから形態素情報を読み込む。

形態素解析結果は構造体に格納し、またファイルへの出力も実行する。

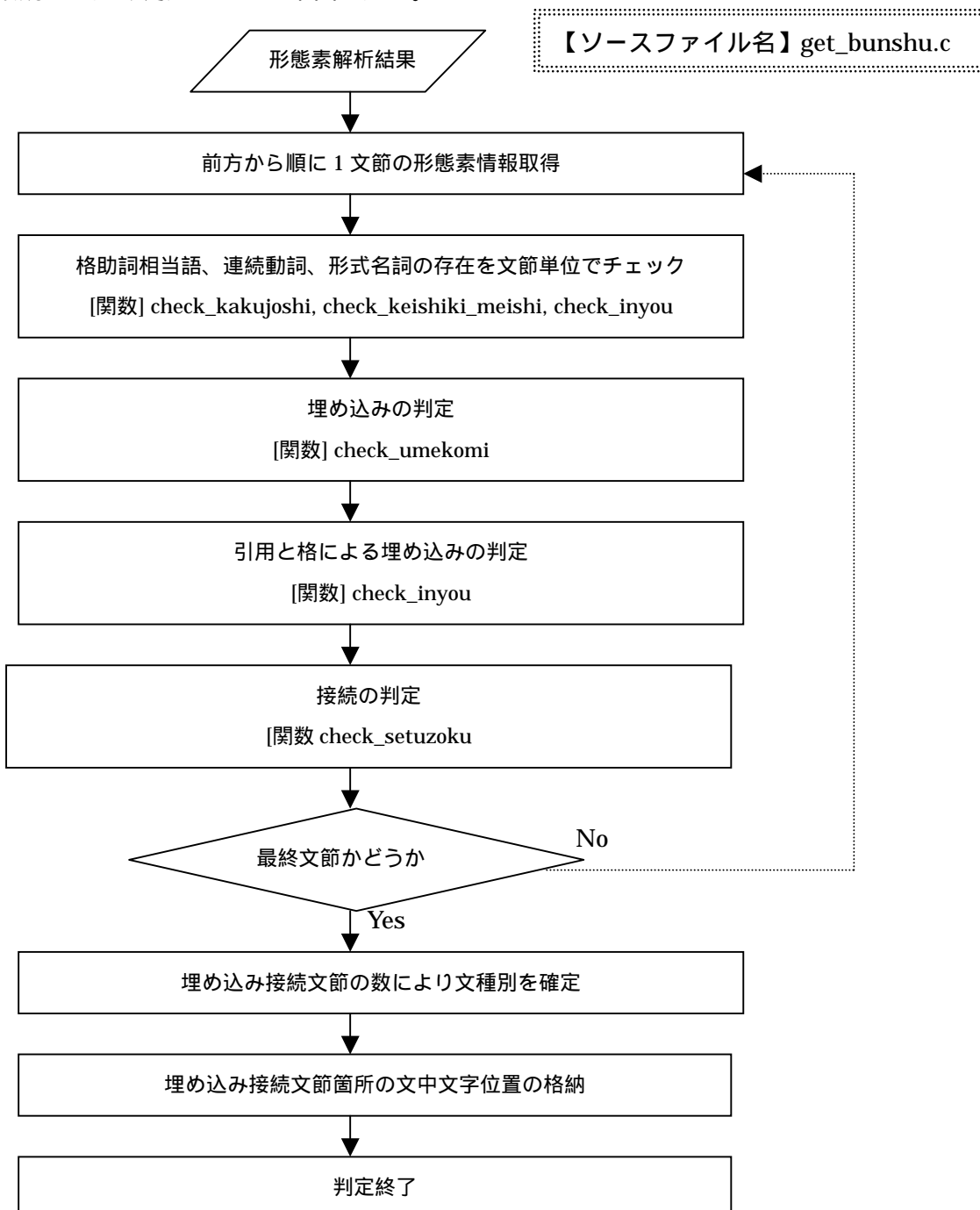
構造体に格納したデータ及び、出力ファイルは以降の処理で使用される。

【ソースファイル名】 imi_morph.c

2. 文種別 & 接続埋め込み情報の取得

形態素解析結果構造体を参照し、接続埋め込み箇所の判定をし、判定した接続埋め込みの数により文種別を決定する。

接続埋め込み判定フローは下図の通り。



3. 統語構造第1分類の取得

埋め込み文節、接続文節の組み合わせにより統語構造第1分類を決定する。

統語構造第1分類は、文種別「5」の場合のみ付与される。

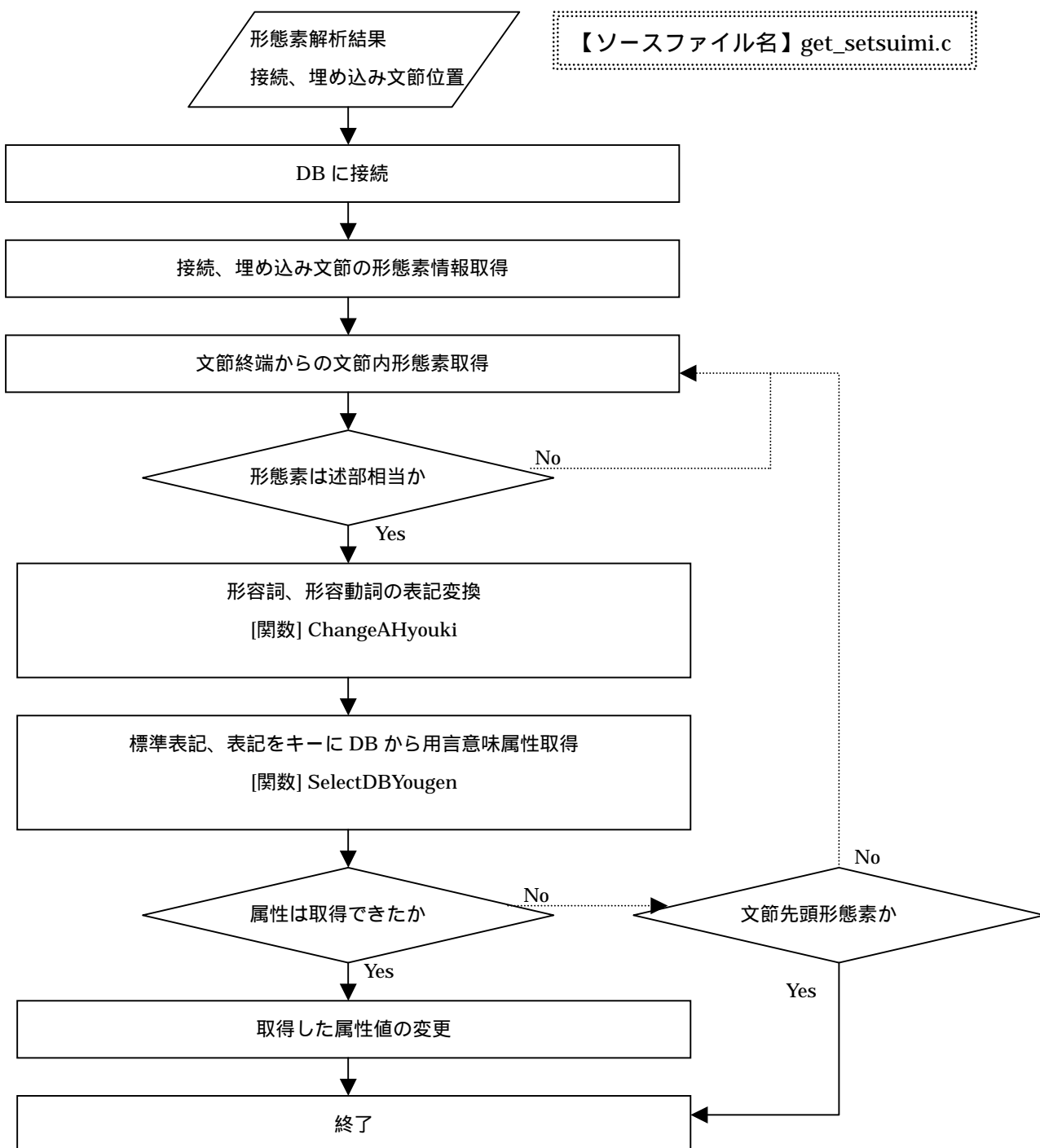
埋め込み、接続文節と統語構造第1分類の組み合わせは以下の通り。

第一節	第二節	統語構造第1分類
埋め込み	接続	従
接続	埋め込み	主
上記以外		0

【ソースファイル名】get_tougo.c

4. 節の意味分類の取得

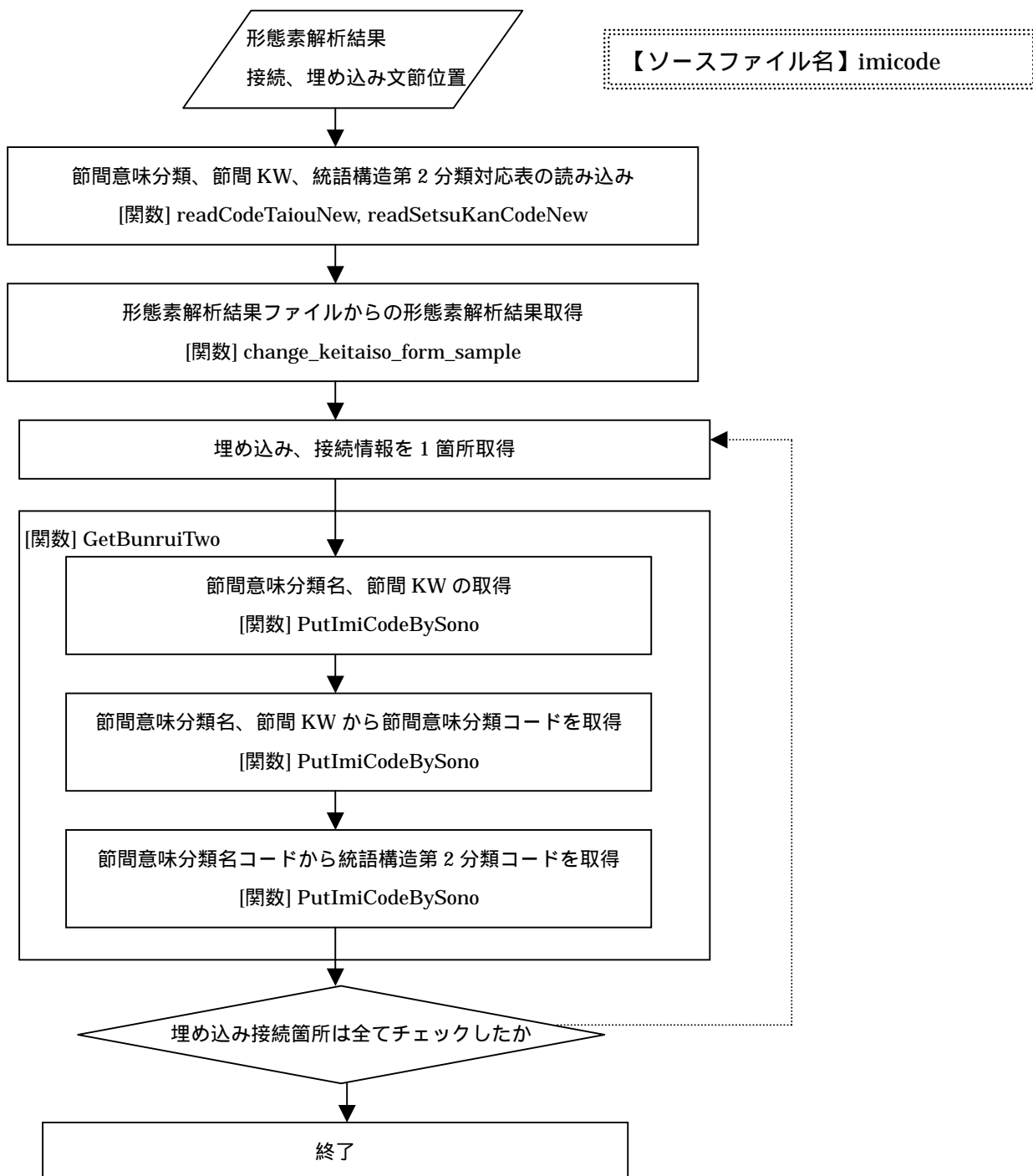
接続、埋め込みに該当する文節及び、最終文節の用言を参照し、節の意味分類を決定する。
 節の意味分類判定フローは下図の通り。



5 . 統語構造第 2 分類、節間意味分類、節間 KW の取得

接続、埋め込みに該当する文節とその前後の文節のとの関係から、節間意味分類コード、節間 KW を決定する。決定した節間意味分類コードより統語構造第 2 分類を決定する。

統語構造第 2 分類、節間意味分類、節間 KW 判定フローは以下の通り



- ・ 節間意味分類コードから決定される統語構造第 2 分類の組み合わせは、以下の通り。

節節間意味分類コード (上 2 桁)	統語構造第 2 分類
FU	副
HR	並
HS	補
MS	名

- ・ 節間意味分類名、節間 KW の判定条件は「 [関数] PutImiCodeBySono」の中で定義されている。

第2章 機能仕様書

目次

1	はじめに.....	1
2	文型パターン意味検索プログラム構成.....	1
3	設定ファイル.....	1
4	機能仕様.....	2
4.1	全体制御、端末入力制御モジュール機能仕様.....	2
4.1.1	機能詳細項目.....	2
4.1.2	機能詳細.....	2
(1)	入力.....	2
(2)	検索条件式作成方法選択.....	3
(3)	ダイレクト入力方式による検索条件式の作成.....	3
(4)	形態素解析結果指定方式による検索条件式の作成.....	5
(5)	ファイル入力方式による検索条件式の作成.....	5
(6)	DB検索モジュールの実行.....	6
(7)	検索継続判定.....	6
4.2	文法意味分類コード付与モジュール機能仕様.....	7
4.2.1	機能詳細項目.....	7
4.2.2	機能詳細.....	7
(1)	文種別コードの付与.....	7
(2)	統語構造第1分類.....	7
(3)	統語構造第2分類、節間意味分類、節間KWの付与.....	7
(4)	節の意味分類の付与.....	8
(5)	ダイレクト検索条件の作成.....	8
4.3	DB検索モジュール機能仕様.....	8
4.3.1	機能詳細項目.....	8
4.3.2	機能詳細.....	9
(1)	入力.....	9
(1-1)	設定ファイル.....	9
(1-2)	検索条件式.....	9
(1-3)	検索条件ファイル.....	10
(2)	検索式解析.....	10
(2-1)	木構造検索について.....	10
(3)	意味類型パターンDB検索.....	12
(4)	検索結果の成形.....	13
(5)	検索結果の出力.....	13

1 はじめに

文型パターン意味検索プログラムは、DB (mysql4.0.2) に登録されている「意味類型パターン辞書ファイル」データを対象に、それに付与されている「統語分類コード」、「意味分類コード」、「節間 KW (キーワード)」を組み合わせることで検索を行うプログラムである。

本資料では、文型パターン意味検索プログラムを構成する各モジュールについての機能仕様について記載する。

文型パターン意味検索プログラムの各種モジュールに関する設計書に関しては、下記資料を参照。

- ・(5) 【別紙 3-1】文型パターン意味検索プログラム設計書
- ・(5) 【別紙 3-2】文法意味分類付与プログラム設計書

2 文型パターン意味検索プログラム構成

文型パターン意味検索プログラムの構成は下記の通り。

No.	構成	機能
1	設定ファイル	プログラムの動作に必要な環境設定が記述される。
2	全体制御、端末入力制御モジュール	プログラム全体を処理手順に従って制御する。また、端末との応答を行い、検索条件の決定を行う。
3	文法意味分類情報付与モジュール	10 種類の文法意味分類情報を付与する。
4	DB 検索モジュール	検索条件に従って DB を検索し、改良型意味類型パターンファイル内容を表示する。

3 設定ファイル

設定ファイル名、設定ファイル記述内容は下記の通り。

【設定ファイル名】 imisearch.conf

(*)設定ファイル名は変更不可能とし、プログラム実行カレントディレクトリに置くこととする。

設定ファイル記述内容については、「(5) 【別紙 3-3】設定及び検索条件等について」を参照。

4 機能仕様

4.1 全体制御、端末入力制御モジュール機能仕様

機能概要	プログラム全体を処理手順に従って制御する。また、端末との応答を行い、検索条件の作成を行う。	
入出力	入力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定ファイル ・ [引数]検索条件ファイル (検索条件と検索項目値が記述されたファイル) ・ [引数]形態素解析結果ファイル (検索条件と形態素解析結果が記述されたファイル)
メインフロー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検索条件式作成方法選択 ・ ダイレクト入力方式による検索条件式の作成 ・ 形態素解析結果ファイル指定方式による検索条件式の作成 ・ ファイル入力方式による検索条件式の作成 ・ DB 検索モジュールの実行 ・ 検索継続判定 	

4.1.1 機能詳細項目

- (1) 入力
- (2) 検索条件式作成方法選択
- (3) ダイレクト入力方式による検索条件式の作成
 - (3-1) 検索条件の設定
 - (3-2) 検索項目値の設定
- (4) 形態素解析結果指定による検索条件式の作成
 - (4-1) 文法意味分類コードの付与
- (5) ファイル入力方式による検索条件式の作成
 - (5-1) ダイレクト検索条件ファイルによる検索条件式の作成
 - (5-2) 形態素解析結果ファイルによる検索条件式の作成
- (6) DB 検索プログラムの実行
- (7) 検索継続判定

4.1.2 機能詳細

- (1) 入力
 - ・ 入力は「設定ファイル」「検索条件ファイル」「形態素解析結果ファイル」の3種類がある。
 - ・ 「検索条件ファイル」「形態素解析結果ファイル」は引数として入力され、「検索条件ファイル」「形態素形跡結果ファイル」のどちらか一方が引数として入力される。
 - ・ カレントディレクトリにある「imisearch.conf」を設定ファイルとし、設定ファイルから必要な情報を取得する。

< 設定ファイルより取得する情報 >

- ・ DB 名
- ・ DB ユーザ名
- ・ DB パスワード
- ・ DB 検索プログラム名
- ・ 文型意味分類コード付与プログラム名
- ・ データパス

- ・ 文型意味分類コード付与結果出力ファイル名

(2) 検索条件式作成方法選択

- ・ 引数より、検索条件作成方法を選択する。

	引数	検索条件作成方法
1	なし	「ダイレクト指示方式」または「日本文入力方式」
2	-c 検索条件ファイル	ファイル入力方式
3	-j 形態素解析結果ファイル	ファイル入力方式

- ・ 引数「なし」の場合、端末入力に、「ダイレクト指示方式」か「形態素形跡結果ファイル指定方式」の選択画面を表示し、選択された結果より検索方式を決定する。

(3) ダイレクト入力方式による検索条件式の作成

ユーザーにより端末入力から「検索条件の入力」「検索値の入力」の順で入力を行い、入力された結果より、検索条件式を作成する。

(3 - 1) 検索条件の設定

- ・ 10 種類の文法意味分類のうち、どの意味分類を使用するのか「使用する場合 : Y」 or 「使用しない場合 : N」の 2 者選択の入力をユーザーにより行う。
- ・ 「使用する : Y」とした分類が、木構造を持つ場合、下記の(a) ~ (e)よりいずれか 1 つの選択をユーザーにより行う。
 - (a) 木構造検索をしない
 - (b) 入力値の子 node を全てを検索
 - (c) 入力値の親 node 全てと入力値の子 node 全てを検索
 - (d) 入力値より上 n 階層までの親 node との子 node 全てを検索
 - (*)階層数「n」の値の入力もユーザーにより行う。階層数は検索項目によって異なるため、入力可能な値の範囲は検索項目ごとに異なる。
 - (e) 入力値と同階層の node を検索
- ・ 入力された検索条件により、検索条件式を作成する。

作成する検索条件の形式は「(5) 【別紙 3-3】設定及び検索条件等について」を参照。

【エラー処理】

- ・各項目の設定において、誤った値が入力された場合、エラーメッセージを表示し、その項目の入力開始時点に戻る。
- ・10種類の検索条件について、全て「使用しない」とした場合、エラーメッセージを表示し、検索条件設定画面開始時点に戻る。

(3-2) 検索項目値の設定

- ・「(3-1) 検索条件の設定」において「使用する：Y」と選択された項目に対してのみ検索項目値をユーザーにより入力してもらう。
- ・文種別が検索条件に設定されている場合、入力された文種別の値によって、検索項目値の入力が不要な項目が存在する。
不要な項目となった場合、検索項目値入力時にメッセージを表示し、ユーザーからの入力を行えないようにする。
- ・1つの項目に関する検索条件値の最大入力個数は限度を設け、各項目ごとに限度数は異なる。
- ・検索条件値において、下記の値は全項目共通値とする。

値	内容
0	DBに登録されている値がNULL
*	検索項目として無視する

(*)検索項目値による、入力不必要項目の組み合わせ、最大入力数については(5) 【別紙3-3】設定及び検索条件等について」を参照、

- ・入力された検索条件値により、検索条件値式を作成する。
作成する検索条件値の形式は「(5) 【別紙3-3】設定及び検索条件等について」を

参照。

【エラー処理】

- ・入力された検索項目値が、その検索項目の値として定義されているものかどうか、DB登録内容と比較してチェックを行う。チェックしてエラーの場合、メッセージを表示しもう一度値の入力画面を表示する。
文種別のみは、DB登録内容との比較は行わず、「1~5」の整数値であるかどうかの判定のみを行う。

入力値チェックに使用するDBテーブル名、カラム名は下記の通り。

No.	項目名	テーブル名	カラム名
1	統語構造第1	crest_tougo_code	code
2	統語構造第2	crest_tougo_code	code
3	第1従属節意味	crest_yougen_imicode	code
4	第2従属節意味	crest_yougen_imicode	code

5	主節意味	crest_yougen_imicode	code
6	第1節間意味	crest_cb_imicode_kw	code
7	第2節間意味	crest_cb_imicode_kw	code
9	第1節間KW	crest_cb_kw	code
9	第2節間KW	crest_cb_kw	code

テーブル定義の詳細は(5) 【別紙3-4】DBテーブル定義」を参照

- ・検索項目値が全て任意「*」であった場合、1つ以上「*」以外の検索項目値を入力するようメッセージを表示し、検索項目値入力開始時点に戻る。

(4) 形態素解析結果指定方式による検索条件式の作成

ユーザーにより端末入力から「検索条件」「形態素解析結果ファイル名」の順で入力を行い、入力された形態素解析結果ファイルの内容をもとに「文法意味分類コード付与プログラムによる分類コードを付与」を行い、付与した結果より検索条件式を作成する。

「検索条件」の入力については「(3-1)検索条件の設定」を参照。

(4-1) 文法意味分類付与

- ・検索条件と、形態素解析結果ファイルを引数に文法意味分類コード付与プログラムを起動する。

【エラー処理】

- ・日本文に半角文字が含まれていた場合、エラーを表示し、もう一度日本文入力画面を表示する。
- ・文法意味分類付与結果において、文法意味分類コードが検索指定した全ての項目に対し未付与であった場合、別の日本文を入力するようメッセージを表示し、検索は行わず、再度日本文入力画面を表示する。

(5) ファイル入力方式による検索条件式の作成

引数として、「ダイレクト検索条件ファイル」「形態素解析結果ファイル」の2種類のうちいずれかが入力される。

< 起動コマンド形式 >

【引数 = 「ダイレクト検索条件ファイル」の場合】

プログラム名 c ダイレクト検索条件ファイル

【引数 = 「形態素解析結果ファイル」の場合】

プログラム名 j 形態素解析結果ファイル名

検索条件ファイルについては、「(5) 【別紙3-3】設定及び検索条件等について」を参照。

(5-1) ダイレクト検索条件ファイルによる検索条件式の作成

- ・ ダイレクト検索条件ファイルが入力された場合、検索条件式の作成は行わず、ダイレクト検索条件ファイルを引数に、DB 検索プログラムを起動する。

(5 - 2) 形態素解析結果ファイルによる検索条件式の作成

- ・ 形態素解析結果ファイルが入力された場合、「検索条件」「形態素解析結果」を 1 条件、1 文分の形態素解析結果ずつ取得し、「文法意味分類コード付与プログラム」を起動し、ダイレクト検索条件ファイルを作成する。
- ・ 形態素解析結果ファイルに入力された全ての日本語に対し、上記処理を繰り返す。

【エラー処理】

日本語検索条件ファイルにおいて、日本語行の前方に検索条件行が存在しない場合、その日本語に対しては、エラーメッセージを出力し、検索は行わず、引き続き処理を継続する。

(6) DB 検索モジュールの実行

上記 (3) (4) (5) で作成された「ダイレクト検索条件ファイル」を引数に DB 検索モジュールを実行する。

(7) 検索継続判定

- ・ 検索が終了したら、「ファイル入力方式」の場合はそのままプログラムを終了する。
- 「ダイレクト入力方式」「日本語提示方式」の場合、入力端末に下記のいずれかの選択をするための画面表示を行う。
 - ・ 検索継続[n]
 - ・ 終了[q]
 - ・ 検索条件変更[c]

【検索継続が選択された場合】

「ダイレクト入力方式」であれば、検索条件値設定画面を表示する。「日本語提示方式」であれば、日本語入力画面を表示する。

【終了が選択された場合】

そのまま、プログラムを終了する。

【検索条件変更が選択された場合】

検索条件設定画面を表示する。

4.2 文法意味分類コード付与モジュール機能仕様

機能概要	「検索条件」「形態素解析結果ファイル」より、検索条件で検索するとなっている項目に対し、文法意味分類コードを付与する。	
入出力	入力	・ [引数]検索条件 形態素解析結果ファイル
メインフロー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文種別コードの付与 ・ 統語構造第1分類の付与 ・ 統語構造第2、節間意味分類、節間 KW の付与 ・ 節の意味分類の付与 ・ ダイレクト検索条件ファイルの作成 	

引数として入力される

4.2.1 機能詳細項目

- (1) 文種別コードの付与
- (2) 統語構造第1分類コードの付与
- (3) 統語構造第2分類、節間意味分類、節間 KW の付与
- (4) 節の意味分類の付与
- (5) ダイレクト検索条件ファイルの作成

4.2.2 機能詳細

(1) 文種別コードの付与

引数として入力された形態素結果ファイルを使用して、「埋込み部」「接続部」を判定し、その判定結果より、文種別を付与する。

文種別コードは検索条件で使用する、使用しないにかかわらず、必ず付与を行う。

(2) 統語構造第1分類

(1) で文種別「5」となった場合のみ、統語構造第1分類を付与する。

(3) 統語構造第2分類、節間意味分類、節間 KW の付与

- ・ (1) で判定された「埋込み部」「接続部」、文種別より、「埋込み部」「接続部」となった文節及び、その前方の文節の形態素解析結果をもとに、節間意味分類を付与する。
付与された節間意味分類と「節間意味分類コード体系 ver4.0」をもとに、節間 KW を付与する。
さらに、「統語構造第2分類、節間意味分類と節間分類タイプ対応表」を使用し、統語構造第2分類を付与する。
- ・ 文種別が「1」「3」の場合は、「第1節間の意味分類」「第1節間 KW」のみを付与し、文種別が「2」「4」「5」の場合は、「統語構造第2分類」「第1節間の意味分類」「第2節間意味分類」「第1節間 KW」「第2節間 KW」を付与する。

(4) 節の意味分類の付与

- ・(1) で判定された「埋込み部」「接続部」の形態素情報を使用し、節の意味分類を付与する。
但し、「主節の意味分類」は最終文節の形態素解析結果を使用し、意味分類の付与を行う。
- ・文種別が「1」「3」の場合は、「第1従属節の意味分類」のみを付与し、文種別が「2」「4」「5」の場合は、「第1節の意味分類」「第2節の意味分類」を付与する。
- ・「主節の意味分類」は全ての文種別に対し、付与を行う。

(5) ダイレクト検索条件の作成

- ・上記(1)～(4)で付与された分類コードより検索項目値を作成する。
作成された検索項目値と、引数で入力された検索条件よりダイレクト検索条件ファイルを作成する。ダイレクト検索条件ファイルは設定ファイルにかかれた「意味分類類推結果出力ファイル」のファイル名で出力される。
- ・分類コードが付与できなかった項目に対しては、いずれも「*」を検索項目値とする。
ダイレクト検索条件ファイルについては「(5) 【別紙3-3】設定及び検索条件等について」を参照。

4.3 DB検索モジュール機能仕様

機能概要	検索式に合致するレコードを意味類型パターンDBより検索する		
入出力	標準入出力	入力	<ul style="list-style-type: none"> ・設定ファイル ・検索条件式(検索条件と検索項目値から構成) ・検索条件ファイル (検索条件と検索項目値が記述されたファイル)
		出力	<ul style="list-style-type: none"> ・検索性数 ・検索したレコード内容
メインフロー	<ul style="list-style-type: none"> ・設定ファイルの読み込み ・検索式読み込み ・検索式解析 ・意味類型パターンDB検索 ・検索結果の成形 ・検索結果の出力 		

4.3.1 機能詳細項目

(1) 入力

- (1-1) 設定ファイル
- (1-2) 検索条件式
- (1-3) 検索条件ファイル

(2) 検索式解析

(3) 意味類型パターンDB検索

- (4) 検索結果の成形
- (5) 検索結果の出力

4.3.2 機能詳細

(1) 入力

- ・ 入力は「設定ファイル」「検索条件式」「検索条件ファイル名」の3種類がある。
- ・ 「検索条件式」「検索条件ファイル名」はそれぞれ引数で入力される。
- ・ 「検索条件式」「検索条件ファイル名」のいずれかを下記のように起動コマンドの引数として入力される。

<p>< 起動コマンド形式 ></p> <p>【引数 = 「検索条件式」の場合】</p> <p style="padding-left: 40px;">プログラム名 検索条件式</p> <p>【引数 = 「検索条件ファイル」の場合】</p> <p style="padding-left: 40px;">プログラム名 f 検索条件ファイル名</p>
--

(1-1) 設定ファイル

- ・ カレントディレクトリにある「imisearch.conf」を設定ファイルとし、設定ファイルから必要な情報を取得する。

< 設定ファイルより取得する情報 >

- ・ DB 名
 - ・ DB ユーザ名
 - ・ DB パスワード
 - ・ 検索結果出力項目
 - ・ 最大出力件数
- ・ 「検索結果出力項目」「最大出力件数」が設定ファイルに記述されていない場合「デフォルト値」で設定を行う。

< デフォルト値 >

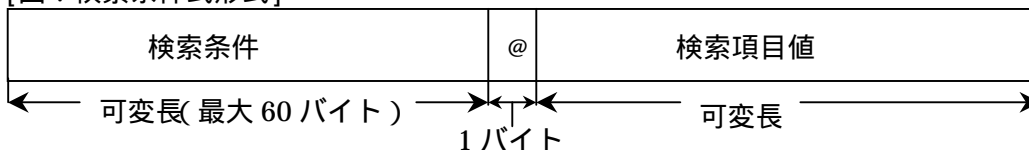
検索結果出力項目	BUNID	ON
	GENBUN	ON
	WL	ON
	PL	ON
	CL	ON
	IMIBUNRUI	ON
最大出力レコード数	MAX	OFF

(1-2) 検索条件式

- ・ 検索条件式は、「検索条件」と「検索項目値」から構成される。

引数として入力される検索条件式は、1 検索式のみとし、記述形式は下図の通り。

[図：検索条件式形式]



(*)検索条件、検索項目値フォーマットは「(5) 【別紙 3-3】設定及び検索条件等について」参照

(1 - 3) 検索条件ファイル

- ・ 引数として入力される検索条件ファイル1ファイルのみとし、ダイレクト検索条件ファイルとする。

ダイレクト検索条件ファイルについては「(5) 【別紙 3-3】設定及び検索条件等について」

を参照。

(2) 検索式解析

- ・ 入力された検索式を解析し、意味類型パターン DB を検索するための SQL 文を作成する。
検索式については「(5) 【別紙 3-3】設定及び検索条件等について」を参照。

(2 1) 木構造検索について

木構造をもつ以下の項目の検索においては、検索条件式の内容に基づき、その属性値の上位ノード、下位ノード、同位ノードの属性値に対しても検索を行う。

【木構造を持つ項目】

- ・ 第 1 従属節の意味 ・ 第 2 従属節の意味 ・ 主節の意味
- ・ 第 1 節間の意味 ・ 第 2 節間の意味 ・ 第 1 節間 KW
- ・ 第 2 節間 KW

親ノード、子ノード、同位ノードは下記の方法で検索する。

【用言意味分類/節間意味分類コードの場合

検索項目：第 1,2 従属節の意味、主節の意味、第 1,2 節間意味】

- < 使用する DB テーブル名 >
- 第 1,2 従属節の意味、主節の意味：crest_yougen_imicode
 - 第 1,2 節間意味：crest_cb_imicode_kw
- テーブル定義の詳細は「(5) 【別紙 3-4】DB テーブル定義」を参照

(*)以下の「code」「code_p」「end_flag」はテーブル内のカラム名

・上位ノードを取得する場合

検索値が「code」と一致したレコードの「code_p」が1つ上位ノードの分類コードとする。

取得したcode_pと一致する「code」を検索し、検索したレコードの「code_p」を、さらに上位の分類コードとする。

「code_p」=「0」の場合、それ以上上位ノードは存在しない。

・下位ノードを取得する場合

検索値が「code_p」と一致するレコードの「code」を1つ下位ノードの分類コードとする。

取得した「code」と一致する「code_p」を検索し、検索したレコードの「code」をさらに下位の分類コードとする。

「end_flag」=「0」の場合、それ以上下位のノードは存在しない。

・同位ノードを取得する場合

検索値が「code」と一致するレコードの「code_p」を取得する。

取得した「code_p」と同じ「code_p」であるレコードを検索し、そのcodeを同位ノードの分類コードとする。

【節間 KW の場合 検索項目：第 1,2 節間 KW】

<使用する DB テーブル名>

crest_cb_kw、crest_cb_imicode_kw

(*)テーブル定義の詳細は「(5) 【別紙 3-4】DB テーブル定義」を参照

(注意) 木構造の構成は、節間意味分類コードと全く同じとなっている。

(*) 以下の「kw」「code」「code_p」「end_flag」はテーブル内のカラム名

・上位ノードを取得する場合

「crest_cb_kw」テーブルで、検索値が「kw」と一致するレコードを検索し、検索したレコードの「code」を取得する。

取得した「code」と同じ「code」であるレコードを「crest_cb_imicode_kw」テーブルより検索し、検索したレコードの「code_p」を取得する。取得した「code_p」と同じ「code」であるレコードを「crest_cb_kw」より検索し、検索したレコードの「kw」を上位の分類コードとする。

「crest_cb_imicode_kw」での検索において、「code_p」=「0」の場合、それ以上上位ノードは存在しない。

・下位ノードを取得する場合

「crest_cb_kw」テーブルで、検索値が「kw」と一致するレコードを検索し、検索したレコードの「code」を取得する。取得した「code」と同じ「code_p」であるレコードを「crest_cb_imicode_kw」より検索し、検索されたレコードの「code」を取得する。取得した「code」と一致するレコードを「crest_cb_kw」より検索し、検索したレコードの「kw」を検索値の下位の分類コードとする。

「crest_cb_imicode_kw」での検索において、「end_flag」=「0」の場合、それ以上下位のノードは存在しない。

・同位ノードを取得する場合

「crest_cb_kw」テーブルで、検索値が「kw」と一致する「code」を取得する。取得した「code」と同じ「code_p」であるレコードを「crest_cb_imicode_kw」より検索する。検索したレコードの「code」を取得し、取得した「code」の「code_p」と同じ「code_p」であるレコードを「crest_cb_imicode_kw」より検索し、検索したレコードの「code」を取得する。取得した「code」と同じ「code」であるレコードを「crest_cb_kw」より検索する。検索したレコードの「kw」を同位ノードの分類コードとする。

(3) 意味類型パターン DB 検索

- ・作成した SQL 文を DB に発行し、レコードの検索を行う。
- ・検索の際は以下の件数のカウントを行い、検索結果として出力可能にしておく。

検索されたレコードの文 ID 異なり数 (= 検索したレコード数)

検索されたレコードのパターン ID 異なり数

- ・パターン ID 異なり数のカウントは日本語パターン、英語パターンの 2 種類それぞれに対し行い、単語、句、節のレベルは関係なくカウントする。

- ・検索件数は、設定ファイルに記述される「最大出力件数」とは関係なく、常に全件検索した結果の件数を表示するようにする。

(4) 検索結果の成形

検索したレコード内容を下記のフォーマットに成形する。

成形する項目は、設定ファイルに出力指定が記述されている項目のみを使用する。

また、成形する件数は設定ファイルに記述された最大出力レコード数の分だけ

成形が行われていれば問題なく、それ以上成形はしてもしなくとも良い。

【検索結果フォーマット】

```

文 ID <ret>
日本語原文 <ret>
英語原文 <ret>
<ret>
単語レベル日本語 PID : 単語レベル日本語パターン <ret>
単語レベル英語 PID : 単語レベル英語パターン <ret>
<ret>
句レベル日本語 PID : 句レベル日本語パターン <ret>
句レベル英語 PID : 句レベル英語パターン <ret>
<ret>
節レベル日本語 PID : 節レベル日本語パターン <ret>
節レベル英語 PID : 節レベル英語パターン <ret>
<ret>
文種別= 文種別 <tab> 統語第 1 = 統語構造第 1 分類 <tab> 統語第 2 = 統語構造第 2 分類 <ret>
第 1 従節意味= 第 1 従属節の意味分類 <tab> 第 2 従節意味= 第 2 従属節意味 <tab>
主節意味= 主節の意味分類 <ret>
第 1 節間意味= 第 1 節間意味 <tab> 第 2 節間意味= 第 2 節間意味 <ret>
第 1 節間 KW= 第 1 節間 KW <tab> 第 2 節間 KW= 第 2 節間 KW <ret>
----<ret>
    
```

(5) 検索結果の出力

検索結果として、下記の内容を標準出力に出力する。

出力の際は、設定ファイルに記述された最大出力件数分のみ出力を行う。

検索件数は、全データを検索した結果の件数を表示すること。

検索条件

検索項目値

検索されたパターン ID 異なり数 (日本語パターン異なり、英語パターン異なり)

検索された文 ID 異なり数

検索された文型パターン（検索結果フォーマット）

【出力フォーマット】

【検索条件】 入力された検索条件 <ret>
【検索項目値】 入力された検索項目値 <ret>
【検索件数】 日本語パタン ID 異なり数 / 英語パタン ID 異なり数 / 文 ID 異なり数 <ret>
【出力件数設定】 最大出力件数 <ret>

成形した検索結果

第3章 インストールマニュアル

1. はじめに

このドキュメントは「意味検索プログラム」を Linux システムにインストールするための下記の事項について記述しています。

- ・メディア
- ・収録ファイル
- ・インストール手順
- ・ファイルの解凍
- ・実行プログラムの作成
- ・DB 構築

2. メディア

CD-R

Format : 655MB

Access : Linux & Windows

3. 収録ファイル

ファイル名 : ImiSearch.tgz

形式 : tar + gzip の圧縮ファイル

4. インストール手順

次の手順でインストールしてください。

- (1) Mysql4.0 のインストール
- (2) Perl5.8 のインストール
- (3) ファイルの解凍
- (4) 意味検索 PG 用 Perl ライブラリのコピー
- (5) 実行プログラムの作成
- (6) Mysql での DB 構築

5. Mysql4.0 のインストール

Mysql4.0 がインストールマシンにインストールされていない場合、Mysql のインストールを行って下さい。

6 . Perl5.8 のインストール

Perl5.8 がインストールマシンにインストールされていない場合、Perl5.8 のインストールを行って下さい。

7 . ファイルの解凍

7.1 解凍作業

次の手順で解凍してください。

- (1) 任意のディレクトリを作成する。
- (2) 作成したディレクトリに移動する。
- (3) tar コマンドにより解凍する。

[例] (1) mkdir xxx(*1)
(2) cd xxx
(3) tar xvfz yyy(*2)/ImiSearch.tgz

(*1) xxx : 任意のディレクトリ名

(*2) yyy : メディアをセットしたファイルシステム (ex: /dev/cdrom)

7.2 解凍により作成されるファイル

src/ ソースファイル

Makefile	メイクファイル
common.h	ヘッダファイル
action_prg.h	
dbaccess.h	
dbsearch.h	
imi_morph.h	
imisearch.h	
set_val.h	
common.c	ソースプログラム
action_prg.c	
dbaccess.c	
dbsearch.c	
imi_morph.c	
imisearch.c	
set_val.c	

perl/ perl ソースファイル

imibunrui 意味分類コード付与プログラム

lib/ 意味検索 PG 用 Perl ライブラリ

imibunrui/
 GetBunrui.pm ライブラリファイル
 GetBunsyu.pm
 ReadFunc.pm
 GetBunruiSetsulmi.pm
 PutImiCode.pm
 PutImiCodeNew.pm
 SubFuncs.pm

data/ データ

ImiCode.lis 統語構造第2分類、節間意味分類と節間分類タイプ対応表
Tanbun_ImiBunrui_ver0.2.dat 節の意味分類体系 ver2.0
sahen_verb.lis サ変動詞活用リスト
SetsukanImiBunrui_Ver6.00.dat 節の意味分類体系 ver6.0
UnTargetAJ.lis 節の意味分類付与対象外形態素リスト

DB/ DB データ

ImiPatDict_ver05.dmp 意味検索 PG 用 DB dump ファイル

sample/ サンプル

sample.condition ダイレクト検索条件ファイルサンプル
sample.Japanese 日本文検索条件ファイルサンプル

doc/ ドキュメント

html/ HTML 形式設計書(全体制御モジュール、入力制御モジュール、DB 検索モジュール)

8 . 意味検索 PG 用 Perl ライブラリのコピー

意味検索 PG 用 Perl ライブラリ「perl/lib/imibunrui」をディレクトリごと Perl ライブラリのあるディレクトリにコピーして下さい。その後、コピーしたライブラリの実行権を与えて下さい。

```
> cp -r xxx(*1)/perl/lib/imibunrui Perl ライブラリのあるディレクトリ  
> chmod -R +x Perl ライブラリのあるディレクトリ/imibunrui
```

xxx=ファイルを解凍したディレクトリ

9 . 実行プログラムの作成

>>> ここでの作業は src ディレクトリで行います。

9.1 コンパイル

make コマンドを実行してください。

9.2 コンパイルにより作成されるファイル

imisearch	全体制御 端末制御プログラム
dbsearch	DB 検索プログラム

10 . DB 構築

10.1 新規 DB の作成

Mysql にログインし、DB の新規作成を行います。

```
Mysql> create database xxx(*1)
```

(*1) 意味検索 DB で使用するための DB 名
DB 名はどのような名前でも構いません。

10.2 データ登録

意味検索 PG 用 DB dump ファイルを使用して、10
コマンドラインより、次のコマンドを実行して下さい。

```
> mysql -u xxx(*1) -pyyy(*2) zzz(*3) < vv(*4)/DB/ImiPatDict_ver05.dmp
```

(*1) xxx=MysqlDB にアクセスするためのユーザー名
(*2) yyy=MysqlDB にアクセスするためのパスワード
(*3) zzz=10.1 で作成した DB 名
(*4) vv=ファイルを解凍したディレクトリ

以上

第4章 操作マニュアル

0. はじめに

このドキュメントは「意味検索プログラム」の操作に関する下記の事項について記述しています。

1. 設定ファイル
2. 意味検索プログラムによる検索(imisearch)
3. DB へのデータ登録
4. 節間意味分類付与規則の変更

1. 設定ファイル

「意味検索プログラムによる検索」または、「DB 検索プログラムによる検索」を行うには設定ファイルが、プログラム実行ディレクトリにあることが必要で、設定ファイル名は「imisearch.conf」でなければいけません。設定ファイルに記述すべき内容については「[別紙 3-3] 設定ファイルについて」を参照して下さい。

2. 意味検索プログラムによる検索(imisearch)

2.1 コマンド

```
imisearch [arg1 arg2]
```

arg1 = オプション <input>

- ・ ダイレクト検索条件ファイルでの検索の場合 =「 -c 」
- ・ 形態素解析結果ファイルでの検索の場合 =「 -j 」

arg2 = ダイレクト検索条件ファイル又は、形態素解析結果ファイル <input>

(*)「ダイレクト検索条件ファイル」「形態素解析結果ファイル」については「[別紙:3-3] 設定及び検索条件等について」を参照して下さい。

ex) imisearch -c sample.condition

2.2 デフォルト

arg1 arg2 は省略可能です。

省略した場合は「ダイレクト指定」又は「形態素解析結果ファイル指定方式」による検索を行います。

3. DBへのデータ登録

以下の内容についての、DBへのデータ登録手順について記述します。

- ・ パターンの更新
- ・ パターンに付与されている文法意味情報の更新
- ・ 各文法意味情報大系の更新

(*)DBへ登録するデータ定義詳細については「【別紙：3-4】DBテーブル定義」を参照して下さい。

3.1 パターン更新

パターンの内容を更新する場合は、下記のテーブル、カラムの内容を更新して下さい。

更新対象テーブル&カラム

テーブル名	カラム名	内容
crest_grm_imidict	pid_wj	単語レベル日本語パターン ID
	pid_we	単語レベル英語パターン ID
	pid_pj	句レベル日本語パターン ID
	pid_pe	句レベル英語パターン ID
	pid_cj	節レベル日本語パターン ID
	pid_ce	節レベル英語パターン ID
crest_jpat	pid	パターン ID
	pat	日本語パターン
crest_epat	pid	パターン ID
	pat	英語パターン

(*)「crest_grm_imidict」は標本文単位で1レコードになっています。同一のパターンIDが複数レコードに登録されている場合もあります。

3.2 パターンに付与されている文法意味情報の更新

パターンに付与されている文法意味情報を更新する場合は、下記のテーブル、カラムの内容を更新して下さい。

更新対象テーブル&カラム

テーブル名	カラム名	内容
crest_grm_imidict	bun_kind	文種
	tougo1	統語構造第1分類
	tougo2	統語構造第2分類
	sbr_imi1	第1従属節の意味
	sbr_imi2	第2従属節の意味
	main_imi	主節の意味
	cb_imi1	第1節間の意味
	cb_imi2	第2節間の意味
	cb_kw1	第1節間のKW
	cb_kw2	第2節間のKW

(*)「crest_grm_imidict」は標本文単位で1レコードになっています。同一のパターンIDが複数レコードに登録されている場合もあります。

3.3 各文法意味情報体系の更新

「文種別」以外の9種類の文法意味情報の体系を更新する場合、各情報ごとに以下のテーブルの更新を行って下さい。

更新対象テーブル&カラム

文法意味情報	テーブル
統語構造第1分類	crest_tougo_code
統語構造第2分類	crest_tougo_code
節の意味分類	crest_yougen_imicode
節間意味分類	crest_cb_imicode_kw
節間KW	crest_cb_imicode_kw crest_cb_kw

(注意)「節間KW」を新規登録する際は、必ずそのKWに対応する「節間意味分類」とセットで登録しなければなりません。「節間意味分類」を登録する場合は、その節間意味分類に対応する節間KWがなくても登録可能です。

第 5 章 文法意味分類付与プログラム説明書

目次

1	はじめに.....	1
2	ファイル構成.....	2
3	関数一覧.....	2
	(1) ReadFunc.pm : 各種データ読み込みライブラリ関数一覧	2
	(2) GetBunsyu.pm : 文種別付与ライブラリ関数一覧	2
	(3) GetBunrui.pm : 統語構造第 1 分類、統語構造第 2 分類付与ライブラリ関数一覧.....	2
	(4) GetBunruiSetsulmi.pm : 節の意味分類付与ライブラリ関数一覧	3
	(5) PutImiCode.pm : 節間意味分類、節間 KW 付与ライブラリ関数一覧	3
	(6) SubFuncs.pm : その他ライブラリ関数一覧	3
4	関数説明.....	3
	(1-1) readCodeTaiou	3
	(1-2) readSetsuKanCode	4
	(1-3) ReadHensuuList	4
	(1-4) ReadSahenList	4
	(1-5) ReadImizokuseiList	4
	(1-6) ReadUntargetAJ	4
	(1-7) CheckFileName	4
	(2-1) GetBunsyubetu	5
	(2-2) syubetu_set	5
	(2-3) change_keitaiso_form	5
	(2-4) change_keitaiso_form_sample	5
	(2-5) change_struct_info	5
	(3-1) GetBunruiOne	6
	(3-2) GetBunruiTwo	6
	(3-3) GetSetsulmiBunruiKW	7
	(3-4) MakeSecondBunruiForm	7
	(4-1) GetBunruiSetsulmi	7
	(4-2) GetKeitaisoNHyoun	7
	(4-3) GetNhyouki	8
	(4-4) ChangeHyounki	8
	(4-5) ChangeAHyounki	8
	(5-1) PutImiCodeByNao	8
	(6-1) GetTargetKeitaiso	9
	(6-2) CheckKeitaisoPoint	9
5	データファイル一覧.....	9

6 データファイル記述形式.....	10
(1) ImiCode.lis	10
(2) SetsukanImiBunrui_Ver4.01.dat	10
(3) Tanbun_ImiBunrui_ver0.2.dat	10
(4) UnTargetAJ.lis	11
(5) sahen_verb.lis	11

1 はじめに

文法意味分類付与モジュールは、日本文提示方式において、入力された日本文に対し下記の 10 種類の文法意味分類を付与するものである。

文種別

統語構造第 1 分類

統語構造第 2 分類

第 1 従属節の意味

第 2 従属節の意味

主節の意味

第 1 節間の意味

第 2 節間の意味

第 1 節間 KW

第 2 節間 KW

2 ファイル構成

文法意味分類情報付与モジュールは、下記のプログラムファイルより構成される。

No.	ファイル名	説明
(0)	imibunrui	メインプログラム
(1)	ReadFunc.pm	各種データ読み込みライブラリ
(2)	GetBunsyu.pm	文種別付与ライブラリ
(3)	GetBunrui.pm	統語構造第 1 分類、統語構造第 2 分類付与ライブラリ
(4)	GetBunruiSetsuImi.pm	節の意味分類付与ライブラリ
(5)	PutImiCode.pm	節間意味分類、節間 KW 付与ライブラリ
(6)	SubFuncs.pm	その他ライブラリ

3 関数一覧

文型意味情報付与モジュールの関数一覧は、下記の通り。

(1) ReadFunc.pm : 各種データ読み込みライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
1 - 1	readCodeTaiou	統語構造第 2 分類と節間意味分類の対応表を読み込む
1 - 2	readSetsuKanCode	節間意味分類名と節間意味分類コードの対応表を読み込む
1 - 3	ReadHensuuList	既に変数化されているデータの読み込み
1 - 4	ReadSahenList	表記変更の必要のあるサ変動詞リストを読み込む
1 - 5	ReadImizokuseiList	用言意味分類の読み込み
1 - 6	ReadUntargetAJ	用言意味分類付与対象外形容詞の読み込み
1 - 7	CheckFileName	ファイルの存在を確認する

(2) GetBunsyu.pm : 文種別付与ライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
2 - 1	GetBunsyubetu	形態素解析結果より文種別を付与する
2 - 2	syubetu_set	文種別を判定する
2 - 3	change_keitaiso_form	名詞、用言意味属性付き形態素解析結果を読み込む
2 - 4	change_keitaiso_form_sample	形態素解析結果を読み込む
2 - 5	change_struct_info	接続埋込み情報の変換を行う

(3) GetBunrui.pm : 統語構造第 1 分類、統語構造第 2 分類付与ライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
3 - 1	GetBunruiOne	統語構造第 1 分類を付与する

3 - 2	GetBunruiTwo	統語構造第 2 分類を付与する。節間意味分類コード、節間 KW を取得する。
3 - 3	GetSetsuImiBunruiKW	節間意味分類コードと節間 KW を格納する
3 - 4	MakeSecondBunruiForm	統語構造第 2 分類のフォーマット整形をする

(4) GetBunruiSetsulmi.pm : 節の意味分類付与ライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
4 - 1	GetBunruiSetsuImi	節の意味分類を取得する。
4 - 2	GetKeitaisoNHyou	形態素情報の作成と標準表記の作成をし、節の意味分類を付与する。
4 - 3	GetNhyouki	活用させた標準表記の取得
4 - 4	ChangeHyouki	品詞を参照して、表記、よみ、標準表記に活用語尾を付与する
4 - 5	ChangeAHyouki	形容詞、形容動詞関係の表記を変更する

(5) PutImiCodeNew.pm : 節間意味分類、節間 KW 付与ライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
5 - 1	PutImiCodeBySono	形態素解析結果より、節間意味分類、節間 KW に必要な節間分類タイプを付与する。

(6) SubFuncs.pm : その他ライブラリ関数一覧

No.	関数名	概要
6 - 1	GetTargetKeitaiso	節間意味コード付与用における指定された範囲での形態素を取得
6 - 2	CheckKeitaisoPoint	指定した位置を開始とする形態素が存在するかチェックする

4 関数説明

文型意味情報付与モジュールの関数説明は、下記の通り。

(1-1) readCodeTaiou

処理	統語構造第 2 分類と節間意味分類の対応表を読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] 対応表名 2= \$CodeTaiou [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-2) readSetsuKanCode

処理	節間意味分類名と節間意味分類コードの対応表を読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] 対応表名 2= \$SetsuCode [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-3) ReadHensuuList

処理	既に変数化されているデータの読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] 変数化データリスト 2= \$vardata [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-4) ReadSahenList

処理	表記変更の必要のあるサ変動詞リストを読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] サ変動詞リスト名 2= \$sahen [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-5) ReadImizokuseiList

処理	節の意味分類を読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] 意味分類体系ファイル 2= \$refIMIZOKUSEI [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-6) ReadUntargetAJ

処理	用言意味分類付与対象外形容詞の読み込み、連想配列に格納する。
引数	1=\$file [IN] 対象外形容詞リスト 2= \$rfUNTARGET [OUT] 読み込みデータ格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(1-7) CheckFileName

処理	ファイルの存在を確認する。 ファイルが存在しなかった場合、プログラムを終了する。
引数	1=\$file [IN] 確認対象ファイル名
戻り値	なし

(2-1) GetBunsyubetu

処理	形態素解析結果を読み込み、読み込んだ内容から、文種別の取得、埋込み接続情報の取得を行う。 読み込んだ形態素解析結果は連想配列に格納する。
引数	1=\$infile [IN] 形態素解析結果ファイル名 2=\$rKEITAIISO_HASH [OUT] 形態素解析情報格納連想配列リファレンス
戻り値	1=文種別 2=埋め込み、接続情報 <埋込み、接続情報> フォーマット：識別(*1):開始位置:該当箇所文字長 (*1)識別：「埋込」or「接続」

(2-2) syubetu_set

処理	埋込み箇所、接続箇所のカウント結果より、文種別の判定を行う。
引数	1= \$Set [IN] 埋込み、接続箇所カウント結果連想配列
戻り値	1=文種別

(2-3) change_keitaiso_form

処理	日本語文型パターン照合プログラムフォーマット(*1)の形態素解析結果を読み込み、連想配列及び、配列に格納する。
引数	1= \$infile [IN] 形態素解析結果ファイル 2= \$rKEITAIISO [OUT] 形態素解析結果格納配列リファレンス 3= \$rKEITAIISO_HASH [OUT] 形態素解析結果格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(*1) 日本語文型パターン照合プログラムフォーマットについては、「文型パターン照合プログラム機能仕様書 (2003年12月25日 独立行政法人科学技術振興機構)」の「2.1 形態素解析」を参照。

(2-4) change_keitaiso_form_sample

処理	形態素解析結果を読み込み、連想配列及び、配列に格納する。
引数	1= \$infile [IN] 形態素解析結果ファイル 2= \$rKEITAIISO [OUT] 形態素解析結果格納配列リファレンス 3= \$rKEITAIISO_HASH [OUT] 形態素解析結果格納連想配列リファレンス
戻り値	なし

(2-5) change_struct_info

処理	接続埋込み情報の変換を行う
引数	1= \$struct [IN] 変換前接続埋込み情報(*1) 2= \$rKEITAIISO [IN] 形態素解析結果格納配列リファレンス

戻り値	1=変換後の接続埋込み情報(*2)
-----	-------------------

(*1) 変換前接続埋込み情報

= 文節番号:接続埋め込むフラグ^(†1)

(†1) 接続埋め込むフラグ: 1=埋め込み/2=接続

(1文に2箇所以上接続部、埋込み部が存在する場合は半角スラッシュ「/」で連結)

<例> 1文1箇所の場合 = 5:1 1文2箇所の場合 = 1:2/4:1

(*2) 変換後の接続埋め込み情報

= 接続埋め込み識別^(†1):接続埋込み部開始文字位置:接続埋め込み部長

(†1) 接続埋め込み識別: 埋=埋め込み/接=接続

(1文に2箇所以上接続部、埋込み部が存在する場合はタブで連結)

<例> 1文1箇所の場合 = 埋:10:5 1文2箇所の場合 = 埋:5:5 接:11:6

(3-1) GetBunruiOne

処理	埋込み、接続情報から、統語構造第1分類を付与する。
引数	1= \$struct [IN] 埋込接続情報(*) (*)埋込み接続情報については、「(2-1) GetBunsubetu」を参照
戻り値	1=付与した統語構造第1分類

(3-2) GetBunruiTwo

処理	形態素解析結果情報より、節間意味分類、節間KWを取得する。 取得した節間意味分類より、統語構造第2分類を付与する。
引数	1= \$struct [IN] 埋込接続情報(*1) 2= \$bunsyu [IN] 文種別 3= \$rKeitaiso [IN] 形態素解析結果格納連想配列リファレンス(*2) 4= \$CodeTaiou [IN] 統語構造第2分類と節間意味分類の対応格納連想配列リファレンス(*3) 5= \$SetsuKanCode [IN] 節間意味分類名と分類コードの対応格納連想配列リファレンス(*4)
戻り値	1=付与した統語構造第1分類

(*1) 埋込み接続情報については、「(2-1) GetBunsubetu」を参照

(*2) 「(2-4)change_keitaiso_form_sample」で格納した形態素結果格納連想配列

(*3) 「(1-1)readCodeTaiou」で格納した対応表格納連想配列

(*4) 「(1-2)readSetsuKanCode」で格納した対応表格納連想配列

(3-3) GetSetsulmiBunruiKW

処理	節間分類タイプより、節間意味分類、節間 KW を付与する。
引数	1=\$setsu_type [IN] 節間分類タイプ 2=\$struct [IN] 埋込み、接続フラグ (1=埋込、2=接続) 3=\$CodeTaiou [IN] 統語構造第2分類と節間意味分類の対応格納連想配列リファレンス (*1) 4=\$SetsuKanCode [IN] 節間意味分類名と分類コードの対応格納連想配列リファレンス (*2)
戻り値	1=付与した統語構造第1分類

(*1) 「(1-1) readCodeTaiou」で格納した対応表格納連想配列

(*2) 「(1-2) readSetsuKanCode」で格納した対応表格納連想配列

(3-4) MakeSecondBunruiForm

処理	付与した統語構造第2分類のフォーマットの整形をする
引数	1=\$bunrui [IN] 第1従属節、第2従属節の統語構造を格納した連想配列リファレンス
戻り値	1=整形した統語構造第2分類コード

(4-1) GetBunruiSetsulmi

処理	形態素解析結果、埋込み接続情報より節の意味分類を取得する。
引数	1=\$rKeitaiso [IN] 形態素結果連想配列リファレンス(*1) 2=\$bunid [IN] 文 ID 3=\$rIMIBUNRUI [IN] 節の意味分類格納連想配列リファレンス(*2) 4=\$rUNTARGET [IN] 付与対象外形容詞格納連想配列リファレンス(*3) 5=\$rStruct [IN] 埋込み、接続情報配列リファレンス 6=\$bunsyu [IN] 文種別
戻り値	1=取得した節の意味分類コード

(*1) 「(2-4) change_keitaiso_form_sample」で格納した、形態素結果格納連想配列

(*2) 「(1-5) ReadImizokuseiList」で格納した、節の意味分類格納連想配列

(*3) 「(1-6) ReadUntargetAJ」で格納した、付与対象外形容詞格納連想配列

(4-2) GetKeitaisoNHyou

処理	節の意味分類付与に必要な箇所の形態素情報のみを取得し、節の意味分類を付与する。
引数	1=\$rKeitaiso [IN] 形態素解析結果連想配列リファレンス(*1) 2=\$bunid [IN] 文 ID 3=\$start [IN] 節の意味分類付与対象箇所開始文字位置 4=\$end [IN] 節の意味分類付与対象箇所終端文字位置

	5=\$keitaiso [OUT] 対処箇所形態素文字列リファレンス
	6=\$all_nhyouki [OUT] 対処箇所標準表記文字列リファレンス
	7=\$zokusei [OUT] 付与した節の意味分類文字列リファレンス
	8=\$imizokusei [IN] 節の意味分類格納連想配列リファレンス(*2)
	9=\$target [OUT] 節の意味分類を取得した形態素情報格納連想配列
	10=\$UnTarget [IN] 付与対象外形容詞格納連想配列リファレンス(*3)
戻り値	1=節の意味分類が付与できなかった形態素表記又は標準表記

(*1) 「(2-4)change_keitaiso_form_sample」で格納した、形態素結果格納連想配列

(*2) 「(1-5) ReadImizokuseiList」で格納した、節の意味分類格納連想配列

(*3) 「(1-6) ReadUntargetAJ」で格納した、付与対象外形容詞格納連想配列

(4-3) GetNhyouki

処理	終止形に変換した標準表記を取得する
引数	1=\$shyouki [IN] 表記 2=\$shinshi [IN] 品詞 3=\$nhyouki [IN] 標準表記
戻り値	1=終止形変換した標準表記

(4-4) ChangeHyouki

処理	品詞を参照して、表記、よみ、標準表記に活用語尾を付与する。
引数	1=\$shinshi [IN] 品詞 2=\$shyouki [IN] 表記 3=\$yomi [IN] よみ 4=\$nhyouki [IN] 標準表記終始形
戻り値	なし

(4-5) ChangeAhyouki

処理	形容詞、形容動詞系の表記を変更する。
引数	1=\$shinshi [IN] 品詞 2=\$shyouki [IN] 表記
戻り値	1=変更後の表記

(5-1) PutImiCodeBySono

処理	形態素解析結果より、節間意味分類、節間 KW に必要な節間分類タイプを付与する。
引数	1=\$struct_info [IN] 接続埋め込み情報(*1) 2=\$KEITAISO [IN] 形態素解析結果リスリファレンス 3=\$SetCode [IN] 節間意味分類名&節間キーワードと節間意味分類コー

	ド対応格納ハッシュリファレンス 4=\$Shinshi_keta_num [IN] 品詞桁数
戻り値	1=節間意味分類格納リスト

(*1) 接 or 埋:接続 or 埋め込み該当文節開始文字位置:接続 or 埋め込み該当文節番号

(ex.)接:12:5

(6-1) GetTargetKeitaiso

処理	指定された範囲での形態素解析結果を取得する。
引数	1= \$bunid [IN] 文 ID 2= \$keitaiso [OUT] 取得した形態素格納文字列リファレンス(*1) 3= \$start [IN] 取得対象文字開始位置 4= \$struct_count_flag [IN] 接続、埋め込みの順番 5= \$bunsyu [IN] 文種別 6=埋込、接続情報 [IN] 埋込み、接続情報 7= \$rkeitaiso [IN] 形態素解析結果格納連想配列リファレンス(*2)
戻り値	1=付与した節間分類タイプ格納配列

(*1) 取得した形態素解析結果の記述形式は「(5-1) 形態素解析結果文字列」を参照。

(*2) 「(2-4)change_keitaiso_form_sample」で格納した、形態素結果格納連想配列

(6-2) CheckKeitaisoPoint

処理	指定した位置を開始とする形態素が存在するかチェックする。存在しなかった場合、指定した位置に対し前方で一番近い形態素開始位置を取得する。存在した場合は下された位置をそのまま形態素開始位置として取得する。
引数	1= \$rkeitaiso [IN] 形態素解析結果連想配列リファレンス(*1) 2= \$point [IN] チェックする位置
戻り値	1=形態素開始位置

(*1) 「(2-4)change_keitaiso_form_sample」で格納した、形態素結果格納連想配列

5 データファイル一覧

文型パターン意味検索モジュールで使用するデータファイル一覧は下記の通り。

No.	ファイル名	説明
(1)	ImiCode.lis	統語構造第 2 分類、節間意味分類と節間分類タイプ対応表
(2)	SetsukanImiBunrui_Ver 4.01.dat	節間意味分類コード体系 ver4.0
(3)	Tanbun_ImiBunrui_ver0 .2.dat	節の意味分類体系 ver2.0
(4)	UnTargetAJ.lis	節の意味分類付与対象外形態素リスト
(5)	sahen_verb.lis	サ変動詞活用リスト

6 データファイル記述形式

(1) ImiCode.lis

- ・統語構造第2分類、節間意味分類と節間分類タイプ対応表。
- ・統語構造第2分類、節間意味分類、節間 KW 付与で使用する。

【記述形式】

節間分類タイプ<tab>統語構造第2分類<tab>節間意味分類

(例)

副詞節	副	必然・習慣
副詞節	副	同時
副詞節	副	瞬時

(2) SetsukanImiBunrui_Ver6.09.dat

- ・節間意味分類コード体系 ver4.0 を分類コード単位で収録したファイル。
- ・節間意味分類コード、節間 KW 付与で使用する。

【記述形式】

節間意味分類大分類名<tab>節間分類タイプ<tab>節間意味分類コード<tab>節間 KW

(例)

補足節(補語相当節)	コト型	HSa100	こと、ということ
補足節(補語相当節)	強調構文	HSa201	～のは～だ

(3) Tanbun_ImiBunrui_ver0.2.dat

- ・節の意味分類体系 ver2.0 を単語単位で収録したファイル。
- ・節の意味分類付与で使用。

【記述形式】

第一分類名<tab>第二分類名<tab>第三分類名<tab>第四分類名<tab>第一分類コード<tab>第二分類コード<tab>第三分類コード<tab>第四分類コード<tab>単語表記<tab>ALT 意味属性

(注意) 節の意味分類コードは第一分類コード(1桁)、第二分類コード(1桁)、第三分類コード(1桁)、第四分類コード(1桁)を結合した4桁の分類コードである。

(例)

知覚と情緒の表現	知覚感覚		1	1	0	0	嗅ぎ付ける	1241(知覚)
知覚と情緒の表現	知覚感覚	五感	1	1	1	0	かいま見る	1483(聞)

き)

(4) UnTargetAJ.lis

- ・ 節の意味分類付与対象外である形態素情報を記載したリスト。
- ・ 節の意味分類付与の際に使用する。

【記述形式】

表記(品詞, 標準表記) または、
表記(品詞)

(例)

くない(3107)

たことが無い(3106, ことがない)

(5) sahen_verb.lis

- ・ サ変動詞活用形リスト。
- ・ 節の意味分類付与の際に使用する。

【記述形式】

#コメント
表記

(例)

「いただく」

いただか

いただき

いただく

< 付属資料 1 > 設定及び検索条件等について

2007/3/23 NTT-AT

1. 設定ファイル[imisearch.conf] について
2. 検索条件式、検索条件ファイルについて
3. 検索項目について

1. 設定ファイル[imisearch.conf] について

No.	記述項目	設定ファイル記述形式	デフォルト値	説明
1	使用する DB 名	DB=DB 名	必須	
2	DB に接続するユーザ名	USER=ユーザ名	必須	
3	DB に接続するパスワード	PASSWD=パスワード	必須	
4	検索結果出力項目	BUNID=ON/OFF	ON	・文 ID の出力をするか、しないかを設定
		GENBUN=ON/OFF	ON	・日英原文の出力をするか、しないかを設定
		WL=ON/OFF	ON	・単語レベルパタン ID、単語レベルパタンの出力をするか、しないかを設定
		PL=ON/OFF	ON	・句レベルパタン ID、句レベルの出力をするか、しないかを設定
		CL=ON/OFF	ON	・節レベルパタン ID、節レベルパタンの出力をするか、しないかを設定
		IMIBUNRUI=ON/OFF	ON	・10 種類の意味分類コードを出力するか、しないかを設定
5	最大出力レコード数	MAX=レコード数/OFF	OFF	・出力するレコード数を設定

		[レコード数=半角数字]		・右辺値=OFFの場合、検索した全てのレコードを出力
6	DB 検索プログラム	dbsearch_pg=プログラム名	./dbsearch	・文型パターン意味 DB を検索するプログラム
7	意味分類コード付与プログラム	imibunrui_pg=プログラム名	./perl/imibunrui	・日本語より 10 種類の意味分類コードを付与するプログラム
8	データファイルディレクトリ	data_path=プログラム名	./data	プログラムで使用する各種データファイルが存在するパス
9	形態素結果出力ファイル	morph_out_file=ファイル名	必須	形態素解析結果出力ファイル名 (注)書き込み許可のあるファイルパスを記述すること。
10	意味分類類推結果出力ファイル	imibunrui_out_file =ファイル名	必須	意味分類類推結果出力ファイル名 (注)書き込み許可のあるファイルパスを記述すること。
	品詞桁数設定	hinshi_size= 品 詞 桁 数 (4or8)	必須	指定できる品詞桁数は「4」または「8」のみ
11	コメント	行頭半角シャープ「#」		

2. 検索条件式、検索条件ファイルについて

DB 検索の際に使用される、検索条件式は「検索条件」と「検索項目値」から構成される。

検索条件ファイルには、「検索条件」と「検索項目値」が記述された「ダイレクト検索条件ファイル」と「検索条件」と「日本語」が記述された「日本語検索条件ファイル」の 2 種類がある。

これら、「検索条件」「検索項目値」「ダイレクト検索条件ファイル」「日本語検索条件ファイル」について説明する。

【項目】

1. 検索条件

- 2. 検索項目値
- 3. ダイレクト検索条件ファイル
- 4. 日本文検索条件ファイル

【説明】

1. 検索条件

【検索条件表記フォーマット】

第 1 項目条件,第 2 項目条件,……,第 10 項目条件

【各項目条件フォーマット】

第 1 条件;第 2 条件

- ・ 各項目検索条件は半角カンマ「,」を区切りとする。
- ・ 設定項目は 10 項目固定とし、項目の並び順も固定とする。

[表 2：検索項目名一覧]

	検索項目名
第 1 項目条件	文種別
第 2 項目条件	統語構造第 1 分類
第 3 項目条件	統語構造第 2 分類
第 4 項目条件	第 1 従属節の意味分類
第 5 項目条件	第 2 従属節の意味分類
第 6 項目条件	主節の意味分類

第 7 項目条件	第 1 節間の意味分類
第 8 項目条件	第 2 節間の意味分類
第 9 項目条件	第 1 節間 K W
第 10 項目条件	第 2 節間 K W

- ・ 項目条件の第 1 条件と第 2 条件は半角セミコロン「;」を区切りとする。
- ・ 第 1 条件、第 2 条件の入力値と意味は以下の通り。

< 第 1 条件 AND/OR 検索 >

2004 年 10 月 29 日、鳥取大村上先生との打ち合わせにより、項目間の「ON」

「OFF」のみ条件として設定するとし、「ON」である項目は AND 検索を行うこととなった。

入力値	意味
A	検索対象項目
F	検索対象外項目

< 第 2 条件 木構造検索 >

入力値	意味
D0	入力値の子 node を全てを検索
U0	入力値の親 node 全てと入力値の子 node 全てを検索
Un	入力値より上 n 階層までの親 node との子 node 全てを検索
S0	入力値と同階層の node を検索
FF	木構造検索を使用しない

【検索条件例】

A;FF , F;FF , F;FF , A;D0 , A;U3 , A;S0 , A;FF , A;U0 , F;FF , A;U1

[項目解説]

第 1 項目条件	A;FF	検索対象で、木構造使用しない
第 2 項目条件	F;FF	検索対象外
第 3 項目条件	F;FF	検索対象外
第 4 項目条件	A;D0	検索対象で、入力値の子 node を全てを検索
第 5 項目条件	A;U3	検索対象で、入力値より上 3 階層までの親 node との子 node 全てを検索
第 6 項目条件	A;S0	検索対象で、入力値と同階層の node を検索
第 7 項目条件	A;FF	検索対象で、木構造検索を使用しない
第 8 項目条件	A;U0	検索対象で、入力値の親 node 全てと入力値の子 node 全てを検索
第 9 項目条件	F;FF	検索対象外
第 10 項目条件	A;U1	検索対象で、入力値より上 1 階層までの親 node との子 node 全てを検索

2 . 検索項目値

【検索条件表記フォーマット】

第 1 項目検索値,第 2 項目検索値,……,第 10 項目検索値

【各項目検索値フォーマット】

値 1/値 2/値 3:…

- ・ 各項目検索条件は半角カンマ「,」を区切りとする。
- ・ 1つの項目に複数検索値がある場合半角スラッシュ「/」を区切りとし、「OR」条件で検索を行う。
- ・ 設定項目は10項目固定とし、項目の並び順も固定とする。
(項目一覧は[表2：検索項目名一覧]を参照)
- ・ 各項目の設定値は、別紙「 」を参照。
ただし、全項目共通値は以下の通りとする。

入力値	意味
0	項目値が空のレコードを検索
*	任意

【検索項目値例】

2, *, 副副/副並, 1123/100/101, *, *, HS0001/HS0002, HS0015, ト型/ノ型, ままに

[項目解説]

第 1 項目条件	2	文種別
第 2 項目条件	*	統語構造第一分類
第 3 項目条件	副副/副並	統語構造第二分類
第 4 項目条件	2123/1100/1101	第一従属節の意味
第 5 項目条件	*	第二従属節の意味
第 6 項目条件	*	主節の意味
第 7 項目条件	HS0001/HS0002	第一節間の意味
第 8 項目条件	HS0015	第二節間の意味
第 9 項目条件	ト型:ノ型	第一節間の KW
第 10 項目条件	ままに	第二節間の KW

3. ダイレクト検索条件ファイル

- ・検索条件ファイルには、検索条件と検索項目値が以下に示す形式で記述される。

【検索条件ファイルフォーマット】

- ・ 1 行 1 検索条件または 1 検索項目値とし、複数行記述可能とする。
- ・ [condition] で始まる行を検索条件とし、それ以外は検索項目値とする。
- ・ [condition] 行で検索条件の変更を行い、以降の検索項目値はその条件に基づき検索を行う。

- ・ファイル中では検索項目値行の前方に必ず[condition]行が存在することとする。
- ・「#」から行端まではコメントとする。

[検索条件ファイル 例]

```
# sample
[condition] A;FF , F;FF , F;FF , A;D0 , A;U3 , A;S0 , A;FF , A;U0 , F;FF , A;U
2 , *,副副:副並, 2123:1100:1101, *,*, HS0001:HS0002, HS0015, ト型:ノ型, ままに
2 , *,副副:副並, 2123:1100:1101, *,*, HS0001:HS0002, HS0015, ト型:ノ型, ままに
# 条件変更
[condition] A;FF , A;FF , A;FF , A;D0 , A;U3 , A;S0 , A;FF , A;U0 , F;FF , A;U
2 , *,副副:副並, 1123:1100:1101, *,*, HS0001:HS0002, HS0015, ト型:ノ型, ままに
2 , *,副副:副並, 1123:1100:1101, *,*, HS0001:HS0002, HS0015, ト型:ノ型, ままに
```

4 . 形態素解析結果ファイル

- ・形態素解析結果ファイルには、検索条件と日本文が以下に示す形式で記述される。

【形態素解析結果ファイル形式】

- ・ 1 行 1 検索条件または複数行の形態素解析結果の記述を可能とする。
- ・ [condition]で始まる行を検索条件とし、それ以外は形態素解析結果とする。
- ・ [condition]行で検索条件の変更を行い、以降の日本文はその条件に基づき検索を行う。
- ・ ファイル中では形態素解析結果の前方に必ず[condition]行が存在することとする。
- ・ 「#」から行端まではコメントとする。

<形態素解析結果ファイル形式>

```
# コメント行  
[condition] 検索条件式  
-----  
(0) 日本文  
文節番号. 形態素情報 1(*1)/形態素情報 2...
```

(*1)形態素情報：表記(品詞)又は表記(品詞,標準表記)

(形態素解析結果例)

sample1

[condition] A;FF, F;FF, F;FF, A;D0, A;U3, A;S0, A;FF, A;U0, F;FF, A;U

(1)

(0) 牛というものは有用な動物です。

1. 牛(1100)/と(7420)
2. いう(2397,言う)
3. もの(1100)(1800)/は(7530)
4. 有用な(3217,有用だ)
5. 動物(1100)/です(7246)/。(0110)

(0) あの建物はああ見えても新しい

1. あの(4200)/建物(1100)/は(7530)
2. ああ(1110)
3. 見え(2213,見える)/ても(7630)
4. 新しい(3106)/。([P]0110)

sample2

[condition] A;FF, F;FF, F;FF, F;FF, F;FF, A;S0, A;FF, A;U0, F;FF, A;U

(2)

(0) 青筋を立てて怒った

1. 青筋(1100)/を(7430)
2. 立て(2413,立てる)/て(7630)
3. 怒っ(2184,怒る)/た(7216)/。([P]0110)

(1) の条件で検索

(2) の条件で検索

< 注意事項 >

「imisearch」コマンドを引数なしで起動した際の「形態素解析結果ファイル指定検索」の場合、指定する形態素解析結果ファイルは[condition]行以外は、上記フォーマットと同じとする。

[condition]行は記載されていても、いなくともどちらでも良い。

但し、検索条件は端末入力で指定した条件を使用するため、ファイル中の[condition]行は無視して検索が行われる。

3. 検索項目について

記号:「-」=検索対象外

項目 NO	1	2	3
項目名	文種別	統語構造第一分類	統語構造第二分類
付与分類名	文種別[5 種類]	統語構造第一分類[2 種類]	統語構造第二分類[18 種類]
木構造の有無	×	×	×
木構造階層数	-	-	-
検索値フォーマット	半角数字固定長(1 バイト [1~5])	全角固定長(2 バイト)	全角可変長(最長 4 バイト)
最大検索値入力数	1	2	5
付与の有無	文種別=1	-	
	文種別=2	-	
	文種別=3	-	
	文種別=4	-	
	文種別=5		

項目 NO	4	5	6
項目名	第一節従属の意味	第二節従属節の意味	主節の意味
付与分類名	用言意味分類[370 種類]		
木構造の有無			
木構造階層数	4		
検索値フォーマット	半角英数字固定長(4 バイト)		
最大検索値入力数	5	5	5
付与の有無		-	
		-	

項目 NO	7	8	9	10
項目名	第一節間の意味	第二節間の意味	第一節間 KW	第二節間 KW
付与分類名	節間意味分類[141 種類]		節間 KW[148 種類]	
木構造の有無				
木構造階層数	3		3	
検索値フォーマット	半角英数字固定長(6 バイト)		半角、全角混合可変長	
最大検索値入力数	5	5	5	5
付与の有無		-		-
		-		-

< 付属資料2 > DBテーブル定義

2007/3/23 NTT-AT

1. 文法意味分類コード関連

1-1 文法意味分類辞書テーブル

[crest_grm_imidict]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQU	型	バイト数	備考
1 文ID	bun_id	主		x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00
2 表示用文ID	bun_id_disp			x		varchar	255	日英同一文を半角コロン「:」で連結した文ID。日英同一標本文が存在しない場合は「文ID」カラムと同一の値を登録。 検索結果で出力する文IDは「表示用文ID」を使用
3 単語レベル日本語パターンID	pid_wj					char	11	半角英数字記号 (例)WJ000004-00
4 単語レベル英語パターンID	pid_we					char	11	半角英数字記号 (例)WE000004-00
5 句レベル日本語パターンID	pid_pj					char	11	半角英数字記号 (例)PJ000004-00
6 句レベル英語パターンID	pid_pe					char	11	半角英数字記号 (例)PE000004-00
7 節レベル日本語パターンID	pid_cj					char	11	半角英数字記号 (例)CJ000004-00
8 節レベル英語パターンID	pid_ce					char	11	半角英数字記号 (例)CE000004-00
9 文種	bun_kind			x		int	1	「1～5」の整数値
10 統語構造第1分類	tougo1					varchar	255	全角、半角記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)副/従
11 統語構造第2分類	tougo2					varchar	255	全角、半角記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)副副/副従
12 第1従属節の意味	sbr_imi1					varchar	255	用言意味分類コード 半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)10A0/2001
13 第2従属節の意味	sbr_imi2					varchar	255	用言意味分類コード 半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)10A0/2001
14 主節の意味	main_imi					varchar	255	用言意味分類コード 半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)10A0/2001
15 第1節間の意味	cb_imi1					varchar	255	節間意味分類コード 半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)HSa100/FUm201
16 第2節間の意味	cb_imi2					varchar	255	節間意味分類コード 半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)HSa100/FUm201
17 第1節間のKW	cb_kw1					varchar	255	全角、半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)より(も)
18 第2節間のKW	cb_kw2					varchar	255	全角、半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)より(も)
19 コメント	comment					text		全角、半角英数字記号

2. 文法記述部関連

2-1 標本文テーブル

[crest_genbun]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 文ID	bun_id	主		x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00
2 日本語標本文	genbun_j			x		text		全角文字列
3 英語標本文	genbun_e			x		text		半角英数字記号

2-2 日本語パターンテーブル

[crest_jpat]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 パターンID	pid	主		x		char	11	半角英数字記号 レベル[W/P/C]+言語[J]+数字4桁+「-」+2桁枝番 (例)WJ000004-00
2 日本語パターン	pat			x		text		全角、半角英数字記号

2-3 英語パターンテーブル

[crest_epat]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 パターンID	pid	主		x		char	11	半角英数字記号 レベル[W/P/C]+言語[E]+数字4桁+「-」+2桁枝番 (例)WJ000004-00
2 英語パターン	pat			x		text		半角英数字記号

3. 文法意味分類コード関連

3-1 用言意味分類コードテーブル

[crest_yougen_icode]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 用言意味分類コード	code	主		x		char	4	半角英数字記号 (例)10A0
2 ノード名	node_name					varchar	255	全角文字列 (例)上方向移動
3 階層番号	level			x		int	2	上位から数えた階層数 最上位階層を「1」とし、1段下層に下がるごとに+1される。
4 親ノード分類コード	code_p			x		char	4	1階層上位の親ノードの分類コード 最上位ノード(親ノードなし)の場合「0」 半角英数字記号 (例)10A0
5 末端ノードフラグ	end_flag			x		int	1	1=再末端のノード(子ノードがない) 0=最末端のノードでない(子ノードがあり)

3-2 節間意味分類コード、節間KW

テーブル

[crest_cb_icode_kw]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 節間意味分類コード	code	主		x		char	6	半角英数字記号 (例)HSa100
2 ノード名	node_name					varchar	255	全角文字列 (例)強調構文
3 階層番号	level			x		int	2	上位から数えた階層数 最上位階層を「1」とし、1段下層に下がるごとに+1される。
4 節間KW	kw					varchar	255	全角、半角英数字記号 (例)より(も) (*節間KWは節間意味分類コードに対し付与されているので、階層構造等は節間意味分類コードと同じになる。 (*節間KWは1つの節間意味分類コードに対して複数存在するため、複数ある場合は、全角読点「、」で連結して記述する。 (例)発言、指摘、報告、噂、不平、電話、質問
5 親ノード分類コード	code_p			x		char	6	1階層上位の親ノードの分類コード 最上位ノード(親ノードなし)の場合「0」 半角英数字記号 (例)HSa100
6 末端ノードフラグ	end_flag			x		int	1	1=再末端のノード(子ノードがない) 0=最末端のノードでない(子ノードがあり)

3-3 統語構造第1,2分類コード

[crest_tougo_code]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
統語構造第1分類コード	code	主		x		varchar	255	全角日本語文字列 (例)副副
種類	kind			x		int	1	統語構造第1分類コードの場合=1 統語構造第2分類コードの場合=2
付与可能文種別コード	bun_kind					int	1	'1~5'の整数値

節間KWテーブル

[crest_cb_kw]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
節間kw	kw			x		varchar	255	全角、半角英数字記号 (例)より(も) (注)テーブル中に同一の節間KWであるレコードが存在する
節間意味分類コード	code					varchar	6	半角英数字記号 (例)HSa100 (注)テーブル中に同一の節間意味分類コードであるレコードが存在する

3-4 用言意味分類体系テーブル

[crest_yougen_dict]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 用言意味分類コード	code	主-1		x		char	4	半角英数字記号 (例)10A0
2 単語表記	hyouki	主-2		x		varchar	255	全角文字列 (例)可能だ

3-5 文法意味分類付与対象外形態

[crest_untarget_keitaiso]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 単語表記	hyouki	主-1		x		varchar	255	全角文字列 (例)ほうがよい
2 品詞	hinshi	主-2				char	2	品詞コード上位2桁 半角英数字 (例)31
3 単語表記	nhyouki					varchar	255	全角文字列 (例)ほうが良い
3 付与対象外文法意味分類	untarget_code			x		int	2	下記のいずれか1つの数字が登録される '0'=文種別 '1'=統語構造第1 '2'=統語構造第2 '3'=第1従属節の意味分類/第2従属節の意味分類/主節の意味分類 '4'=第1節間意味分類/第2節間意味分類 '5'=第1節間KW/第2節間KW

4. 分類コード付与状況

4-1 統語構造第1分類付与テーブル [crest_grant_tougo1]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 統語構造第1分類	code			x		char	2	全角日本語文字列 (例)従
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-2 統語構造第2分類付与テーブル [crest_grant_tougo2]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 統語構造第2分類	code			x		char	4	全角日本語文字列 (例)副従
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-3 第1従属節意味分類付与テーブル [crest_grant_sbr_imi1]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第1従属節意味分類コード	code			x		char	4	全角日本語文字列 (例)11A0
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-4 第2従属節意味分類付与テーブル [crest_grant_sbr_imi2]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第2従属節意味分類コード	code			x		char	4	全角日本語文字列 (例)11A0
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-5 主節意味分類付与テーブル [crest_grant_main_imi]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第2従属節意味分類コード	code			x		char	4	全角日本語文字列 (例)11A0
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-6 第1節間意味分類コード付与
テーブル

[crest_grant_cb_imi1]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第1従属節間意味分類コード	code			x		char	6	全角日本語文字列 (例)HSa100
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-7 第2節間意味分類コード付与
テーブル

[crest_grant_cb_imi2]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第1従属節間意味分類コード	code			x		char	6	全角日本語文字列 (例)HSa100
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-8 第1節間KW付与テーブル

[crest_grant_cb_kw1]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第1節間KW	code			x		varchar	255	全角、半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)より(も)
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

4-9 第2節間KW付与テーブル

[crest_grant_cb_kw2]

項目	名称	キー	索引	NULL	UNIQ	型	バイト数	備考
1 第2節間KW	code			x		varchar	255	全角、半角英数字記号 値が複数ある場合は、半角スラッシュ「/」を区切りとして連結 (例)より(も)
2 文ID	bun_id			x		char	11	半角英数字記号 (例)AC000004-00

第 6 章 DB 及び意味分類付与ルールの更新方法

目次

1 はじめに.....	1
2 DB 更新方法.....	1
2.1 意味類型パターンファイルについて.....	1
2.2 各項目との対応と DB 登録方法について.....	2
3 意味分類付与のチューニングについて.....	2
3.1 意味分類付与におけるソース名と関数一覧.....	3
3.2 節間意味分類のコード変更、類推処理変更について.....	3

1 はじめに

本資料では、文型パターン意味検索プログラムが使用する DB の更新方法と意味分類付与のチューニングアップ方法について説明する。

2 DB 更新方法

本項では、意味類型パターンファイルの内容を DB に反映する方法を説明する。

2.1 意味類型パターンファイルについて

意味類型パターンファイルのフォーマットは以下の通り。

《フォーマット》

文 ID^(*)<tab>文種^(*)<tab>パタン化フラグ^(*)

単語レベル日本語パタン ID^(*):単語レベル日本語パタン<tab>単語レベル英語パタン ID^(*):単語レベル英語パタン

句レベル日本語パタン ID^(*):句レベル日本語パタン<tab>句レベル英語パタン ID^(*):句レベル英語パタン

節レベル日本語パタン ID^(*):節レベル日本語パタン<tab>節レベル英語パタン ID^(*):節レベル英語パタン

文法的・意味的分類コード^(*)

英語構文情報^(*)

パタングループラベル^(*)

上記フォーマット及び下記項目説明ともに太字下線となっている項目が意味検索プログラム DB に登録する項目

(*)文 ID:「ヘッダー(半角英字 2 桁)」+「ヘッダー内ユニーク番号(半角数字 6 桁)」+「半角ハイフン」+「枝番(半角数字 2 桁)」

() 日英原文がともに同一の文 ID は半角コロンで連結して記載

(ex.) AC000018-00、AD001204-00:AE000002-01

(*2)文種：半角数字「1」～「5」

(*3)パタン化フラグ：

単語変数化フラグ(1桁)+句変数化フラグ(1桁)+節変数化フラグ(1桁)の3桁フラグ

・それぞれのレベルの変数化を行なった場合 = 「1」 行なっていない場合 = 「0」

(例) 単語レベル、句レベルの変数化は行なったが、節レベルは行なっていない場合

変数化フラグ = 「110」

(*4)パタン ID：

汎化レベル識別+言語識別+各レベル、言語パタン内での通し番号(6桁固定長)+「-2桁枝番」

() 同一パターンには同一パターン ID が付与される。

・汎化レベル識別

単語レベル：「W」、句レベル：「P」、節レベル：「C」

・言語識別 = 日本語：「J」、英語：「E」

(例) 単語レベル日本語パタン ID

パタン ID = WJ000001-00、WE000001-00

(*5) 文法的・意味的分類コード

【フォーマット】

文種別<tab>統語構造第1分類<tab>統語構造第2分類<tab>第1従属節の意味<tab>第2従属節の意味<tab>主節の意味<tab>第1節間の意味<tab>第2節間の意味<tab>第1節間KW<tab>第2節間KW

(*6)英語構文情報

【フォーマット】

英語構文コード<tab>英語構文名<tab>英語構文キーワード

(*7) 日本語、英語グループラベル

【フォーマット】

日本語グループラベル<tab>英語グループラベル

2.2 各項目との対応とDB登録方法について

意味類型パターンの各項目と、DB項目との対応及び値の登録方法については、

「(5) 【別紙：5-1】意味類型パターンとDBの項目対応と登録方法」を参照。

3 意味分類付与のチューニングについて

形態素解析結果より類推される10種類の意味分類は複数のプログラムによって類推処理が行われている。

下記に各意味分類を類推しているソース名と関数名一覧を記載する。

また、節間意味分類付与処理については、類推処理の判定方法や付与すべき意味分類コードの変更方法手順について説明する。

3.1 意味分類付与におけるソース名と関数一覧

意味分類付与におけるソース名と関数一覧は下記別紙を参照。

「(5) 【別紙：5-2】意味分類付与におけるソース名と関数一覧」を参照。

3.2 節間意味分類のコード変更、類推処理変更について

節間意味分類の類推方法の変更や、付与する意味分類コードを変更するには、以下の手順で変更を行う。

(1) 節間意味分類コードの変更

節間意味分類コードの変更は「対応表」「DB」の両方に変更を実施する。

(1-1) 対応表の変更

以下の対応表名に変更を行う。

【対応表名】data/SetsukanImiBunrui_Ver6.00.dat

(フォーマット)

節の種類(*1)<tab>意味分類名<tab>節間キーワード<tab>節間意味分類コード

(*1)節の種類

下記4種類のいずれかとする。

補足節（補語相当節）	名詞修飾節（連体節）
副詞節（副詞的連用節）	並列節（並列型連用節）

(注意)「意味分類名」「節間キーワード」「節間意味分類コード」についてはフォーマットの制限はないが、原則、節間意味分類コード体系に則って記述をする。

(1-2) DB 登録データの変更

各パターンに付与されている節間意味分類コードの変更追加を行う。

【変更対象テーブル】crest_grm_imidict

【変更カラム名】cb_imi1、cb_imi2、cb_kw1、cb_kw2

(2) 節間意味分類コードの類推条件の変更

節間意味分類コードの類推は以下の関数により処理されている。

【ソース名】PutImiCodeNew.pm

【関数名】PutImiCodeBySono

上記関数では、接続埋め込み箇所に該当する形態素の表記と品詞の条件を指定を行い「節間意味分類名」「節間キーワード」の両方の判定を行っている。

(記述ポイント1)

判定の際は、多義の出力を認め、条件分岐も多義を出力するよう定義されている。判定された「節間意味分類名」「節間キーワード」をキーとして(1 - 1)に記載した「対応表」から「節間意味分類コード」を取得する。そのため、関数内で記述される「節間意味分類名」「節間キーワード」は対応表に記載されているものを使用しなければいけなくなっている。

(記述ポイント2)

各条件式は、文節単位の形態素結果の並びで判定を行っており、文型パターン意味検索プログラムの入力形態素のフォーマットを前提に条件式の記述を行うようにする。

(記述ポイント3)

条件を指定する形態素の箇所は、接続、埋め込み該当箇所をベースにしている。そのため、条件を指定したい形態素の箇所を変更するには、埋め込み、接続の類推処理で接続埋め込み位置の認定を変更するか、または、節間意味分類付与の条件指定において変更するかのいずれか、または両者の変更が必要となる。「接続埋め込み」の認定方法を変更した場合、「節間意味分類」の認定にも影響がないかどうか確認する必要がある。

以上

< 付属資料3 > 意味類型パターンとDBの項目対応と登録方法

2007/3/23 NTT-AT

文法意味分類辞書テーブル [テーブル名: crest_grm_imidict]

(*)文ID単位で1レコードを登録する。但し、文IDがコロんで連結されている場合は、文IDをコロんで分割して、それぞれを1レコードとして登録

カラム名		意味類型パターン項目名	登録方法	備考
bun_id	必須	文ID	文IDにコロンが含まれる場合、分割したうちの個々のID。 文IDにコロンがない場合は、文IDそのまま登録。	
bun_id_disp	必須	文ID	文IDそのまま登録。	検索結果表示では、この文IDが表示される。
pid_wj		単語レベル日本語PID	PIDそのままを登録。	
pid_we		単語レベル英語PID	PIDそのままを登録。	
pid_pj		句レベル日本語PID	PIDそのままを登録。	
pid_pe		句レベル英語PID	PIDそのままを登録。	
pid_cj		節レベル日本語PID	PIDそのままを登録。	
pid_ce		節レベル英語PID	PIDそのままを登録。	
bun_kind		文種別	文法的・意味的分類コードの文種別をそのまま登録。	
tougo1		統語構造第1分類	文法的・意味的分類コードの統語構造をそのまま登録。	
tougo2		統語構造第2分類	文法的・意味的分類コードの統語構造第2分類の「,」を「/」に置き換えて登録。	
sbr_imi1		第1従属節の意味	文法的・意味的分類コードの第1従属節の意味「,」を「/」に置き換えて登録。	
sbr_imi2		第2従属節の意味	文法的・意味的分類コードの第2従属節の意味「,」を「/」に置き換えて登録。	
main_imi		主節の意味	文法的・意味的分類コードの主節の意味「,」を「/」に置き換えて登録。	
cb_imi1		第1節間の意味	文法的・意味的分類コードの第1節間の意味「,」を「/」に置き換えて登録。	
cb_imi2		第2節間の意味	文法的・意味的分類コードの第2節間の意味「,」を「/」に置き換えて登録。	
cb_kw1		第1節間のKW	文法的・意味的分類コードの第1節間のKW「,」を「/」に置き換えて登録。	
cb_kw2		第2節間のKW	文法的・意味的分類コードの第2節間のKW「,」を「/」に置き換えて登録。	
comment				

日本語パターンテーブル [crest_jpat]

(*)「文法意味分類辞書テーブル:crest_grm_imidict」に登録されている日本語パターンをレベルに関係なく登録する。

カラム名		意味類型パターン項目名	登録方法	備考
pid	必須	単語or句or節日本語パターンID	パターンIDをそのまま登録。但し、同一パターンIDの登録はしないようにすること。	
pat	必須	単語or句or節日本語パターン	パターンをそのまま登録。	

英語パターンテーブル [crest_epat]

(*)「文法意味分類辞書テーブル:crest_grm_imidict」に登録されている英語パターンをレベルに関係なく登録する。

カラム名		意味類型パターン項目名	登録方法	備考
pid	必須	単語or句or節英語パターンID	パターンIDをそのまま登録。但し、同一パターンIDの登録はしないようにすること。	
pat	必須	単語or句or節英語パターン	パターンをそのまま登録。	

< 付属资料 4 > 意味分類付与におけるソース名と関数一覧

2007/3/23 NTT-AT

意味分類付与処理を行っている関数名とその関数が記載されているソース名、関数の概要は以下の通り。

No	付与対象 意味分類	ソース名	関数名	関数概要
1	文種別	get_bunshu.c	get_bunshubetu	形態素解析結果が格納された構造体を受け取り、文種及び埋込接続位置を判定する。
2	統語構造 第一分類	GetBunrui.pm	GetBunruiOne	接続、埋め込みの位置関係から統語構造第一分類を判定する。
3	統語構造 第二分類	GetBunrui.pm	GetBunruiTwo [参照データ] ImiCode.lis	接続、埋め込み情報と節間意味分類コードより統合構造第二分類を判定する。 判定の際は節間意味分類コードと統語構造第二分類コードの対応表「data/ImiCode.lis」を使用する。
4	第1従属節 の意味	get_setsuimi.c	GetBunruiSetsuImi [参照データ] DB ・テーブル名 crest_yougen_dict crest_untarget_keitaiso	形態素の表記をキーに、DB から表記に付与されている節の意味分類を取得する。
5	第2従属節 の意味			
6	主節の意 味			

7	第1節間意味分類	PutImiCodeNew.pm	PutImiCodeBySono [参照データ]	接続埋め込み箇所の位置と形態素結果から節間意味分類名と節間キーワードを判定する。
8	第2節間意味分類		SetsukanImiBunrui_Ver6.00.dat	節間意味分類名と節間キーワードの組合せで節間意味分類コードを決定する。
9	第1節間キーワード			節間意味分類コード決定の際は節間意味分類、キーワード、節間意味分類コードの対応表
10	第2節間キーワード			「data/ SetsukanImiBunrui_Ver6.00.dat」を参照する。

以上